

平成 25 年 度

群馬大学大学教育・学生支援機構  
報 告 書



群馬大学大学教育・学生支援機構

# 「平成 25 年度 群馬大学 大学教育・学生支援機構」報告書 発刊にあたって

大学教育・学生支援機構

機構長 石 川 治

本学の大学教育・学生支援機構は、平成 23 年度から主に教養教育の企画・運営を担当する教育基盤センター、学生の大学生活全般を支援する学生支援センター、入試業務と入試広報を担当する学生受入センター、学生及び他の大学構成員の健康支援を主務とする健康支援総合センター、以上の 4 センター体制をとっています。さらに、総合情報メディアセンターと学内共同研究施設である国際教育・研究センターも修学に必須の組織として活動しています。これら全ての組織が大学の基幹的教育業務を担う重要な組織です。

平成 20 年度の中央教育審議会答申では大学卒業生（学士）が身に付けるべきもの（学士力）として、「人類の文化、社会と自然などに関する知識の理解，コミュニケーション・スキル，数量的スキル，論理的思考力，倫理観など」さまざまなものが挙げられています。しかし、短い大学生活の期間に全ての能力を過不足なく身に付けることは不可能です。従って、大学教育に求められることは、学生に「学び方を学ばせる」ことです。知識や技術は日々更新されますが、「学び方」を修得していれば鬼に金棒です。教育基盤センターが中心となり、平成 24 年度から開講した「学びのリテラシー」は大学教育の第一歩と言えます。また、グローバル化社会で活躍するためには国際共通語である英語によるコミュニケーション能力も不可欠です。習熟度別少人数英語教育の充実、留学経験を持つ学生数の増加計画は現在も進行中です。

少子高齢化に伴い、現在の 18 歳人口はピーク時の 6 割（120 万人）に減少し、入学定員が大学進学希望者数を上回る「大学全入時代」が到来しました。こうした中で、どのように群馬大学入学希望者を増やし、学ぶ意欲があり優れた資質を持つ学生を選抜していくかは大学の死活を握る重要課題です。教育カリキュラムに特色を持たせ、教養教育から専門教育に亘る一貫した教育を行い、これらを受験生に広くアピールする広報戦略を実行しなければなりません。一步、多様な選抜方法を併用することも求められており、それへの対応もしなければなりません。

本報告書の発刊目的は、「本機構を構成する各センターの業務や組織改革，業務のノウハウの伝承，大学構成員の共通認識の必要性などの観点から大きな効果が見込める」と元機構長・白井先生は報告書（19 年度版）の巻頭言で述べられています。報告書をまとめるということは、PDCA サイクルを実行する一要素です。今後とも、各センターは「学生のために」を合言葉として、他組織とも連携をとりながら学生及び社会のニーズに合った教育と支援を提供してまいりたいと思います。

最後になりますが、本報告書の作成に当たり、各センターの業務遂行している中でご協力頂いた教職員の皆様、また執筆してくださった方々に深く感謝申し上げます。

# 目 次

|          |                                      |           |
|----------|--------------------------------------|-----------|
| <b>1</b> | <b>教育基盤センター</b>                      | <b>1</b>  |
| 1.1      | 教育企画室                                | 1         |
| 1.2      | 教養教育部会                               | 4         |
| 1.2.1    | はじめに                                 | 4         |
| 1.2.2    | 平成 25 年度活動概要                         | 4         |
| 1.2.3    | 平成 25 年度活動内容                         | 5         |
| 1.3      | 外国語教育部会                              | 8         |
| 1.3.1    | はじめに                                 | 8         |
| 1.3.2    | 英語習熟度別クラス編成, および英語アチーブメントテスト         | 8         |
| 1.3.3    | TOEIC IP                             | 8         |
| 1.3.4    | TOEFL ITP                            | 9         |
| 1.3.5    | e-ラーニングの推進                           | 9         |
| 1.3.6    | ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験               | 9         |
| 1.3.7    | ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト              | 9         |
| 1.3.8    | 理工学部の英語教育カリキュラムについて                  | 10        |
| 1.3.9    | その他                                  | 11        |
| 1.4      | 教育推進部会                               | 12        |
| 1.4.1    | はじめに                                 | 12        |
| 1.4.2    | ベストティーチャー賞                           | 12        |
| 1.4.3    | 教養教育授業評価                             | 12        |
| <b>2</b> | <b>学生支援センター</b>                      | <b>59</b> |
| 2.1      | 入学料免除及び徴収猶予                          | 59        |
| 2.1.1    | 免除申請者数, 免除許可者数                       | 59        |
| 2.1.2    | 徴収猶予申請者数, 徴収猶予許可者数                   | 59        |
| 2.2      | 授業料免除及び徴収猶予                          | 59        |
| 2.2.1    | 免除申請者数, 免除許可者数                       | 59        |
| 2.2.2    | 徴収猶予申請者数, 徴収猶予許可者数                   | 59        |
| 2.3      | 寄宿料免除                                | 60        |
| 2.3.1    | 免除申請者数, 免除許可者数                       | 60        |
| 2.4      | 奨学金                                  | 60        |
| 2.4.1    | 日本学生支援機構奨学生数 (平成 25 年 10 月 1 日現在)    | 60        |
| 2.4.2    | 日本学生支援機構以外の奨学生数 (平成 25 年 10 月 1 日現在) | 60        |
| 2.5      | 学生相談体制及び学生相談                         | 60        |
| 2.5.1    | 学生相談体制                               | 60        |
| 2.5.2    | 主な相談事項                               | 60        |
| 2.5.3    | 学生相談アンケートの実施及び活用                     | 60        |
| 2.6      | 授業欠席状況調査                             | 61        |
| 2.6.1    | 授業欠席者数及び主な欠席理由                       | 61        |
| 2.6.2    | 実施方法, 時期                             | 61        |

|        |                          |    |
|--------|--------------------------|----|
| 2. 7   | 障害学生への支援                 | 61 |
| 2.7.1  | 障害学生数                    | 61 |
| 2.7.2  | 支援内容                     | 62 |
| 2. 8   | 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険 | 62 |
| 2.8.1  | 加入者数                     | 62 |
| 2.8.2  | 請求種別保険金請求件数              | 62 |
| 2. 9   | 通学証明書，旅客運賃割引証            | 62 |
| 2.9.1  | 発行枚数及び主な発行理由             | 62 |
| 2. 10  | 学生寮                      | 63 |
| 2.10.1 | 養心寮入寮者数                  | 63 |
| 2.10.2 | 啓真寮入寮者数                  | 63 |
| 2. 11  | 生活支援施設                   | 63 |
| 2.11.1 | 食堂                       | 63 |
| 2.11.2 | 売店                       | 63 |
| 2. 12  | 課外活動施設                   | 64 |
| 2.12.1 | 体育施設                     | 64 |
| 2.12.2 | 文化施設                     | 66 |
| 2.12.3 | 課外活動共用施設                 | 66 |
| 2.12.4 | 合宿所                      | 66 |
| 2. 13  | 学生団体及び主な活動               | 67 |
| 2.13.1 | 学生団体                     | 67 |
| 2.13.2 | 大学祭                      | 67 |
| 2.13.3 | 関東甲信越大学体育大会              | 67 |
| 2.13.4 | クラブ・サークルリーダーシップ研修会       | 67 |
| 2. 14  | 研修施設                     | 68 |
| 2.14.1 | 北軽井沢研修所                  | 68 |
| 2.14.2 | 草津セミナーハウス                | 68 |
| 2. 15  | 学生の就職支援                  | 69 |
| 2.15.1 | 進路状況及び主な就職先              | 69 |
| 2.15.2 | 全学就職ガイダンス・セミナーの開催        | 69 |
| 2.15.3 | キャリアカウンセリングの充実           | 69 |
| 2.15.4 | キャリアサポート室における情報収集環境の充実   | 69 |
| 2.15.5 | 就職支援の体制強化の充実             | 70 |
| 2.15.6 | 就職支援BOOKの作成・配付           | 70 |
| 2. 16  | 就業力育成支援室                 | 70 |
| 2. 17  | アルバイトの紹介体制の充実            | 70 |
| 2.17.1 | 主な紹介等件数                  | 71 |
| 2. 18  | 学生生活実態調査                 | 71 |
| 2. 19  | キャンパスニュース群の発行            | 71 |
| 2. 20  | 事件・事故                    | 71 |
| 2. 21  | 学生支援センター資料集              | 71 |



|          |                         |           |
|----------|-------------------------|-----------|
| <b>3</b> | <b>学生受入センター</b>         | <b>87</b> |
| 3.1      | はじめに                    | 87        |
| 3.2      | オープンキャンパス等              | 87        |
| 3.2.1    | 群馬大学オープンキャンパス           | 87        |
| 3.2.2    | 学部等オープンキャンパス            | 87        |
| 3.3      | 学生募集に係わる広報活動            | 87        |
| 3.3.1    | 出前説明会，出張模擬授業及び大学見学      | 87        |
| 3.3.2    | 進学相談会                   | 87        |
| 3.3.3    | ホームページ広報                | 88        |
| 3.3.4    | 高等学校等の教員を対象とした説明会       | 88        |
| 3.4      | 広報戦略の立案                 | 88        |
| 3.5      | 入学者の追跡調査                | 88        |
| 3.6      | その他                     | 88        |
| <b>4</b> | <b>健康支援総合センター</b>       | <b>93</b> |
| 4.1      | はじめに                    | 93        |
| 4.2      | 平成25年度年間業務実施概要          | 93        |
| 4.3      | 学生定期健康診断                | 94        |
| 4.3.1    | 学生定期健康診断状況              | 94        |
| 4.3.2    | 学生定期健康診断受検状況            | 94        |
| 4.3.3    | 健康診断時における精神保健調査         | 94        |
| 4.4      | 外国人留学生健康診断状況            | 95        |
| 4.5      | ウイルス性疾患抗体検査             | 95        |
| 4.6      | 健康支援総合センター利用者等          | 95        |
| 4.6.1    | 利用者数                    | 95        |
| 4.6.2    | 利用件数                    | 95        |
| 4.6.3    | 疾病領域別利用者数               | 96        |
| 4.6.4    | 医療機関紹介の診療科分類            | 96        |
| 4.6.5    | 薬剤別処方日数                 | 96        |
| 4.6.6    | 常備薬使用数                  | 96        |
| 4.7      | 健康相談・精神保健相談             | 96        |
| 4.7.1    | 健康相談・精神保健相談             | 96        |
| 4.7.2    | 精神保健相談者数                | 96        |
| 4.8      | 学外臨床心理士による心理カウンセリング数    | 97        |
| 4.9      | 教員による教養教育への参加等教育への参加状況  | 97        |
| 4.10     | 教員による健康管理に関する調査研究業務     | 97        |
| 4.11     | 健康支援総合センター主催の委員会等       | 98        |
| 4.12     | 平成25年度健康支援総合センター運営委員会委員 | 99        |
| 4.13     | 健康支援総合センターの全国委員会等出席     | 99        |
| 4.14     | 学内行事実施に伴う救護業務           | 99        |
| 4.15     | 出版・広報活動                 | 99        |
| 4.16     | 社会貢献活動                  | 100       |

|       |                                                     |     |
|-------|-----------------------------------------------------|-----|
| 4. 17 | その他の活動                                              | 100 |
| 4. 18 | キャンパス・ソーシャルケースワーカーの活動                               | 100 |
| 4. 19 | 健康維持・向上相談員の活動                                       | 100 |
| 4. 20 | 健康支援総合センターの抱える問題点と改善の方向性                            | 100 |
| 4. 21 | 健康支援総合センター資料集                                       | 101 |
|       | 資料1：平成25年度前橋地区学生定期健康診断日程表                           | 102 |
|       | 平成25年度桐生・太田地区学生定期健康診断日程表                            | 103 |
|       | 資料2：平成25年度学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区）                     | 104 |
|       | 平成25年度学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区）                         | 105 |
|       | 資料3：平成25年度精神保健調査                                    | 106 |
|       | 資料4：平成25年度外国人留学生健康診断結果                              | 107 |
|       | 資料5：平成25年度医学部1年ウイルス性疾患<br>（麻疹，風疹，水痘，流行性耳下腺炎）抗体価検査 他 | 108 |
|       | 資料6：平成25年度利用人数                                      | 109 |
|       | 資料7：平成25年度利用件数                                      | 110 |
|       | 資料8：平成25年度疾病領域別利用者数                                 | 111 |
|       | 資料9：平成25年度医療機関紹介の診療科分類                              | 112 |
|       | 資料10：平成25年度薬剤別使用数（処方日数による）                          | 113 |
|       | 資料11：平成25年度常備薬使用数                                   | 114 |
|       | 資料12：平成25年度健康相談・精神保険相談の対応内容                         | 115 |
|       | 資料13：平成25年度精神保健相談者数                                 | 116 |
|       | 資料14：平成25年度学外臨床心理士による心理カウンセリング報告                    | 117 |
|       | 資料15：第18回（平成25年度第1回）<br>健康支援総合センター運営委員会次第 他         | 118 |
|       | 資料16：平成25年度健康支援総合センター運営委員会委員名簿                      | 121 |

# 1 教育基盤センター

## 1.1 教育企画室

平成 23 年度から、教養教育及びこれに関連した教育体制のあり方を検討するために、教育基盤センターに教育企画室を新設し、センター長と連携して、教養教育に関する企画立案等を行っている。

平成 25 年度の議題内容は、次のとおりである。

【平成 25 年度】

| 回数 | 年 月 日             | 議 題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 平成 25 年 5 月 20 日  | 1. グローバル人材育成について<br>2. 中央図書館ラーニングコモンズと S A について<br>3. 教養教育の科目集団登録制度について<br>4. 文部科学大臣と大学等関係団体との意見交換について<br>5. 平成 25 年度国立大学法人群馬大学年度計画について<br>6. 教育企画室の今後の課題について<br>7. 今年度の会議開催予定について<br>8. その他                                                                                                                           |
| 2  | 平成 25 年 7 月 8 日   | 1. ナンバリング導入について<br>2. クォーター制導入について<br>3. 中央図書館ラーニングコモンズにおける S A について<br>4. 群馬大学学生に対する懲戒等の処分に関する基準(案)について<br>5. グローバル人材に関する特別経費要求(案)について<br>6. 第二期教育振興基本計画に対する本学の取り組みについて<br>7. その他                                                                                                                                     |
| 3  | 平成 25 年 9 月 9 日   | 1. 科目ナンバリング導入について<br>2. ポートフォリオ入力項目について<br>3. クォーター制導入について<br>4. 群馬大学学生の懲戒等に関する規則(案)について<br>5. グローバル人材に関する特別経費要求について<br>6. 群馬大学の男女共同参画推進基本計画(未定稿)について<br>7. 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について<br>8. その他                                                                                                                          |
| 4  | 平成 25 年 11 月 11 日 | 1. 「学びのリテラシー(1)」の授業評価結果について<br>2. 平成 25 年度中期計画実施状況調査について<br>3. 学びのリテラシー教材(情報倫理と守秘義務)について<br>4. 「学びのリテラシー 1」と「情報」の授業内容について<br>5. クォーター制等の導入について<br>6. 科目ナンバリングの導入について<br>7. 台風等自然災害における休講措置に関する申合せ(案)について<br>8. 群馬大学学生の懲戒等に関する規則(案)について<br>9. 学生調査票の取り扱いについて<br>10. 教育の内部質保証システムについて<br>11. 日本語入門科目の単位認定について<br>12. その他 |

|   |                  |                                                                                                                                       |
|---|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | 平成 25 年 12 月 5 日 | 1. 「科目ナンバリング」について                                                                                                                     |
| 6 | 平成 26 年 1 月 6 日  | 1. 平成 26 年度文部科学関係予算(案) 主要事項について<br>2. COC「地(知)の拠点整備事業」について<br>3. 「大学教育再生加速プログラム」について<br>4. 新入生ガイダンスについて<br>5. シラバスの英文表記について<br>6. その他 |
| 7 | 平成 26 年 2 月 3 日  | 1. COC「地(知)の拠点整備事業」について<br>2. 「大学教育再生加速プログラム」について<br>3. スーパーグローバルハイスクールについて<br>4. 群馬県との意見交換会について<br>5. 平成 27 年度概算要求について<br>6. その他     |
| 8 | 平成 26 年 3 月 3 日  | 1. COC「地(知)の拠点整備事業」について<br>2. 平成 27 年度概算要求について<br>3. その他                                                                              |

【平成 24 年度】(参考)

| 回数 | 年 月 日            | 議 題                                                                                                                                                                                                  |
|----|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 平成 24 年 4 月 9 日  | 1. 平成 25 年度以降の開放専門科目について(継続)<br>2. 平成 25 年度以降の教養教育科目履修要件の各学部での検討状況について<br>3. 平成 25 年度の学部別担当コマ数について<br>4. 現行授業題目の平成 25 年度以降の新授業科目への移行について<br>5. その他                                                   |
| 2  | 平成 24 年 5 月 14 日 | 1. 平成 25 年度以降の開放専門科目について(継続)<br>2. 平成 25 年度以降の教養教育科目履修要件の各学部での検討状況について(継続)<br>3. 平成 24 年度教養教育授業評価アンケートについて<br>4. 教養教育科目の学部別担当コマ数の割振りの基本方針について<br>5. 特別開放専門科目について<br>6. 健康支援総合センターからの依頼について<br>7. その他 |
| 3  | 平成 24 年 6 月 11 日 | 1. 平成 24 年度国立大学教養教育実施組織会議について<br>2. 日本語検定(5 月 2 日実施)の結果について<br>3. 群馬大学教養教育科目等に関する規則の一部改正(案)について<br>4. 平成 25 年度入学者からの教養教育開設コマ数(基準)について<br>5. グローバル人材育成推進事業について<br>6. その他                              |
| 4  | 平成 24 年 7 月 9 日  | 1. 新教務システムについて<br>2. 平成 26 年度以降のシラバスについて<br>3. 平成 25 年度「学びのリテラシー(2)」の学部別担当コマ数について<br>4. 平成 25 年度以降の科目委員会の構成及び科目集団登録制について<br>5. その他                                                                   |

|   |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | 平成 24 年 10 月 15 日 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 26 年度概算要求及び平成 25 ～ 30 年度設備導入計画について</li> <li>2. グローバル人材育成推進について</li> <li>3. 平成 25 年度教養教育履修手引について</li> <li>4. 平成 25 年度からの開放専門科目について</li> <li>5. 平成 25 年度入学生用のカリキュラムマップ作成について</li> <li>6. 平成 25 年度「学びのリテラシー (1)」の開講準備について</li> <li>7. 今後の各学部等及び非常勤講師の担当コマ数について</li> <li>8. その他</li> </ol> |
| 6 | 平成 24 年 11 月 16 日 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 26 年度概算要求及び平成 25 ～ 30 年度設備導入計画について ( 継続 )</li> <li>2. グローバル人材育成推進について</li> <li>3. 全学 FD 連続講演会について</li> <li>4. 「学びのリテラシー (2)」について</li> <li>5. 今後の各学部等及び非常勤講師の担当コマ数について ( 継続 )</li> <li>6. その他</li> </ol>                                                                                |
| 7 | 平成 24 年 12 月 3 日  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバル人材育成推進について ( 継続 )</li> <li>2. 「学びのリテラシー (2)」のシラバスについて</li> <li>3. 新旧授業科目の読み替えと新授業科目名の英語表記について</li> <li>4. メディアセンターのマスタープラン ( ラーニングコモンズ ) について</li> <li>5. その他</li> </ol>                                                                                                             |
| 8 | 平成 25 年 1 月 7 日   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 25 年度以降の科目委員会について</li> <li>2. 教育基盤センター専任教員の教員評価について</li> <li>3. シラバスの充実について</li> <li>4. 平成 26 年度施設整備費等概算要求について</li> <li>5. その他</li> </ol>                                                                                                                                              |
| 9 | 平成 25 年 2 月 4 日   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教養教育科目名等の英語表記について</li> <li>2. 教養教育科目の非常勤講師について</li> <li>3. 平成 26 年度施設整備費等概算要求について ( 報告 )</li> <li>4. メディアセンター図書館本館内におけるラーニングコモンズの図面について</li> <li>5. その他</li> </ol>                                                                                                                        |

## 1.2 教養教育部会

### 1.2.1 はじめに

教養教育部会は、平成 23 年度の機構改革によって、大学教育センター共通教育企画部を母体として発足した組織である。これまでの共通教育企画部は初年次の共通・教養教育に関する企画・立案も担ってきたが、新組織の教養教育部会は、新組織の教育企画室が企画・立案したものを実施・運営するための調整など、実務的な役割を主として担う組織になった。構成メンバーは部会長、副部会長、教育基盤センター副センター長、外国語教育部会長、科目委員会（学びのリテラシー、総合科目、情報、スポーツ・健康、人文・社会科学、自然科学）の各委員長（6 名）、学生支援センター（就業力育成支援室）、国際教育・研究センター、生体調節研究所からそれぞれ 1 名、各学部教務委員（教育学部、社会情報学部及び理工学部はそれぞれ 1 名、医学部は 2 名）からなる 18 名である。任期の定めのある部会員（科目委員会委員長及びセンター長指名の者）については 2 年任期の 1 年目となるため、部会長、副部会長及び一部の科目委員会委員長が交代した。

なお、25 年度からの教養教育カリキュラム改訂に伴って科目区分が変更されたため、科目委員会の名称が一部変更された。

### 1.2.2 平成 25 年度活動概要

教養教育部会は原則として毎月 1 回の定例会をもち、教養教育実施のための諸問題について討議している。平成 25 年度は 2 年任期の部会員の交代期であったため、5 月に第一回の部会をもち、8 月の休会を除き、平成 26 年 3 月まで計 10 回の定例会議をもった。

25 年度の大きな課題は、新たに実施された教養教育カリキュラムの円滑な運用であった。平成 25 年度教養教育部会の主な通常業務は下記の通りであった。

- 1) 次年度教養教育科目開講コマ数の確定
- 2) 次年度教養教育実施体制（担当教員などの確定）について承認
- 3) 次年度教養教育科目等の時間割の確定
- 4) 次年度学年暦の作成・承認
- 5) 非常勤講師（ゲスト講師を含む）採用のための審査
- 6) 教養教育科目の授業に係わる経費などの承認
- 7) 合宿研修費要求に関する審査
- 8) TA の採用に関する審査
- 9) 障害を有する入学志願者との事前相談についての報告
- 10) 放送大学との単位互換科目（追加・変更分）についての報告
- 11) 協定を結ぶ他大学との単位互換科目（追加・変更分）についての報告
- 12) 交換留学生の教養教育科目履修についての報告

これらの通常業務に関係した主な項目及びそれ以外の項目を月別に示した。

- 4 月 新入生のオリエンテーションの実施
- 5 月 「ウォークラリー」を実施  
交換留学生の前期教養教育科目履修届についての報告
- 6 月 教養教育関係予算案の承認  
平成 26 年度学部別担当コマ数に関する基本方針を承認  
教養教育科目における追試験に関する申し合わせ案を承認  
平成 26 年度学年暦案の提示  
「教養教育の科目集団登録制度」の廃止案を承認



- 7月 文化講演会の開催  
前期期末試験の実施  
平成 26 年度学年暦案の決定
- 9月 科目ナンバリング導入方針について承認
- 10月 平成 26 年度教養教育実施体制案の提示
- 11月 放送大学との単位互換科目（追加・変更分）についての報告  
交換留学生の後期教養教育科目履修届についての報告
- 12月 平成 26 年度教養教育実施体制について承認
- 1月 協定を結ぶ他大学との単位互換科目（追加・変更分）についての報告
- 2月 後期期末試験の実施
- 3月 平成 26 年度新入生オリエンテーション計画の作成  
平成 26 年度 TA の採用計画案について承認  
平成 26 年度教養教育科目等授業時間割の確定

### 1.2.3 平成 25 年度活動内容

通常の活動は例年通り行い、報告及び審議を進めた。

#### 1) 新・教養教育カリキュラムの実施

平成 23 年度より準備を進めてきた新たな教養教育カリキュラムを実施した。授業科目及び科目区分は「資料 1-1」の通りである。教養教育に相当する全学共通科目は「教養基盤科目（学士力育成）」と「教養育成科目」からなり、前者はほとんど必修、後者は選択必修となった。

#### ①「教養基盤科目（学士力育成）」について

特筆すべきは、「学びのリテラシー（1）」、「学びのリテラシー（2）」の開講である。「学びのリテラシー（1）」は、大学生に必要とされる日本語力、レポート作成、プレゼンテーション能力の向上を目的とし、全学必修科目として1年次前期に配当した。授業クラスは学部や学科ごとに編成され、授業は学生の所属学部の専任教員が、各学部・学科の実情に合わせて担当する。

「学びのリテラシー（2）」は、前期の「学びのリテラシー（1）」をふまえて、後期に開講される。授業教員が専門としている分野を中心に、課題の見つけ方、分析の仕方、発表の方法、文章のまとめ方など、各学問分野に共通する能力の向上を目指す科目であり、選択必修科目である。

選択必修であった「学修原論」が母体であるが、「学びのリテラシー（2）」はすべて後期の開講としたため、これまで前期の「学修原論」担当者には、後期開講に変更してもらう必要が生じた。しかし、学期変更は困難とする教員も多く、必要コマ数は確保できたものの、学生にとって選択の自由度がかなり制限されることとなった。そのため後期開始時に授業題目の選択に多くの時間を要することが予想されることから、学生には前期終了時に履修希望届を提出させ、夏季休業期間に可能な限り希望に添う形で振り分けを行い、後期開始時に履修する授業題目を確定させた。開講コマ数を増やすことが今後の課題である。

また、「英語」は習熟度別クラス編成と少人数教育を進め、すでに実施している社会情報学部、理工学部に加えて、医学部医学科で実施し、教育学部では少人数教育を実施した。

情報教育についても従来の教育内容を改め、科目名も「情報処理入門」から「情報」に改めた。

#### ②「教養育成科目」について

「教養育成科目」については、分野ごとの授業科目名を「〇〇科目群」とし、各科目群を構成する個々の授業については「授業題目」として示すこととした。



また、従来の「総合科目」を再編し、健康科学に関わるものを「健康科学科目群」として編入した。

## 2) ウォークラリーについて

ウォークラリーを5月2日(木)に実施し、全学部1年生(約98%)が参加した。ウォークラリー終了後に実施した「日本語検定」も無事に終了した。

## 3) 平成25年度文化講演会について

今年度の文化講演会を以下の通り実施した。なお、一般にも公開した。

○開催日時：7月2日(火) 16時～17時30分

○会場：荒牧地区 教養教育棟 GB155 大講義室

○講師：荻原健司氏

(ノルディック複合五輪金メダリスト／前参議院議員／北野建設(株)スキー部 GM)

○演題：「スポーツ選手の人材育成—ソチオリンピックに向けて—」

参加者は484名で、盛況のうちに終了した。参加者の内訳は以下の通りであった。

スポーツ・健康「健康教育」受講学生 355名

総合科目群「群馬大学・学」受講学生 92名

授業以外の本学学生 12名

教職員 21名

一般参加者 4名

## 4) 平成25年度防災訓練について

10月23日(水) 午前10時から、大地震発生と教養教育棟での出火を想定して防災訓練が行われた。教室からの避難とともに、校庭では消火器を使つての消火訓練も行われた。

## 5) 「教養教育科目における追試験に関する申合せ」について

学生からの追試験申請については、規則上、各学部の手続きを経て追試験の可否を判断しており、その決定までには相当の時間を要していた。特に前期試験については、夏季休業期間にかかるため、追試験の決定は9月以降となり、当該学生にとっては不利益が生じていた。

そこで、「病気その他やむを得ない事情」による申請であることが、診断書あるいは証明書類によって明らかな場合には、関係委員会の審議を経て承認されたものと見なして、ただちに追試験を許可することとした。平成25年6月24日の教育基盤センター運営委員会(第3回)の審議を経て、同日から施行された。

## 6) ゲスト講師申請について

教養教育科目の授業に関して、授業担当教員が同席すること及び規定の回数を条件として、講義のみをゲスト講師に委嘱することができるが、平成25年度中に2つの改定を行った。

一つは、従来「総合科目」「外国語」に限定されていたゲスト講師の委嘱を、教養教育カリキュラムの改定に伴い、すべての教養教育科目を対象としたこと、もう一つは、本学教職員はゲスト講師となることはできないことに関して、非常勤講師に限ってはゲスト講師として委嘱できるものとしたという点である。

## 7) 科目集団登録制度の廃止について

科目集団登録とは、約10年前、教養教育の実施運営に際して定められた制度である。附属病院を除く全学部の全教員が、必ず1つの科目集団に所属することとし、教養教育への参加意識を高めるとともに、科目委員会委員を選出しやすくすることが目的であった。しかし、学部によってこの制度の受け止め方が異なり、科目集団そのものが形骸化しており、機能し

ているとは言い難い状況にある。そこで、「全教員が教養教育にかかわること」を前提として、この制度の廃止を提案し、平成 25 年 6 月 24 日の教育基盤センター運営委員会（第 3 回）において承認された。

#### 8) 台風等による授業の休講に関する取り扱いについて

台風の接近により、全学で平成 25 年 10 月 16 日（水）の授業が休講となったことへの対応として、「月曜日授業振替の予備日」として予定していた平成 26 年 1 月 29 日（水）を 10 月 16 日の補講日とした。

資料 表 1－1：

【全学共通科目】

| 科目区分              | 授業科目              |
|-------------------|-------------------|
| 教養基盤科目<br>(学士力育成) | 学びのリテラシー（１）       |
|                   | 学びのリテラシー（２）       |
| 教養育成科目            | 英語                |
|                   | スポーツ・健康           |
|                   | 情報                |
|                   | 就業力 <sup>注)</sup> |
| 教養育成科目            | 人文科学科目群           |
|                   | 社会科学科目群           |
|                   | 自然科学科目群           |
|                   | 健康科学科目群           |
|                   | 外国語教養科目群          |
|                   | 総合科目群             |

【学部別科目】（医学部，理工学部）

| 学部学科    | 科目区分                  |
|---------|-----------------------|
| 医学部医学科  | 専門基礎科目                |
| 医学部保健学科 | 専門基礎科目                |
| 理工学部    | 専門基礎科目（基盤教育科目）        |
|         | 専門基礎科目<br>（理学系基盤教育科目） |
|         | 専門基礎科目（入門科目）          |

注）教育学部と医学部では開講されません

## 1.3 外国語教育部会

### 1.3.1 はじめに

平成 25 年度、外国語教育部会は、前年度同様、全学の外国語教育の改善に取り組んだ。4 月には新入生を対象に英語プレイスメントテストを実施し、社会情報学部、医学部、理工学部の学生について、英語習熟度別クラス編成を行なった。また社会情報学部・理工学部の学生には前期・後期終了時期に英語アチーブメントテストを行い、授業効果・学生の英語力向上の度合いを計測した。

例年同様、TOEIC IP の実施、TOEFL ITP の実施、e-ラーニングの推進も行なった。さらに、ドイツ語およびフランス語の技能検定試験、年度末共通テスト、アチーブメントテストを実施し、受講学生の学力向上の度合いを客観的に計測した。

また、今年度より全学部において、1 クラスを 40 名以下とすることができた。来年度は教育学部にもプレイスメントテストを実施し、全学的に習熟度別クラス編成を行う予定である。

### 1.3.2 英語習熟度別クラス編成、および英語アチーブメントテスト

英語習熟度別のクラス編成は、平成 19 年度に行なったアンケート調査によって確認された、教員側のきわめて高い期待と受講生の一定の希望に基づき、平成 20 年度から、希望する学部・学科のクラスを対象として正式に実施され始めたもので、最終的には学部を問わず全学のクラスに導入されることが望まれる。

平成 21 年度より、社会情報学部 1 年・2 年、保健学科看護学専攻 1 年（保健 A・B クラス）、工学部応用化学・生物化学科 1 年の英語クラスにおいて習熟度別クラス編成が行われたが、平成 22 年度には、翌年度以降、工学部すべての学科に対して実施することが計画され、そのため 22 年度末には、社会情報学部及び工学部の全一年次生に対して、アチーブメントテストを実施した。このデータをもとに、23 年度の 4 月には両学部の全新生に対して、プレイスメントテストを行い、習熟度別クラス編成を行った。

平成 24 年度もこの方策を継承したが、本年度はさらに、社会情報学部、（工学部より改組された）理工学部に留まらず、医学部（医学科・保健学科）の全新生に対してもプレイスメントテストを実施し、1 クラス 40 名以下の習熟度別クラスを編成することが可能になった。

プレイスメントテスト 平成 25 年 4 月 1 日（月）

|                                       |     |         |       |
|---------------------------------------|-----|---------|-------|
| 14：00～15：30                           | 受験者 | 医学部医学科  | 108 名 |
| 14：40～16：10                           | 受験者 | 社会情報学部  | 104 名 |
| 16：30～18：00                           | 受験者 | 医学部保健学科 | 164 名 |
| 16：30～18：00                           | 受験者 | 理工学部    | 537 名 |
| 監督：社会情報学部より 2 名、医学部より 6 名、理工学部より 11 名 |     |         |       |

### 1.3.3 TOEIC IP

群馬大学では平成 15 年度から TOEIC IP を、「選択英語 AI」「選択英語 AII」と連動させながら継続的に実施しており、外国語教育部会が中心となって、多くの学生の TOEIC 受験を促している。

実施は年 2 回（7 月／1 月）で、平成 21 年度からは、申し込み手続を群馬大学で直接行うことにより、受験料を低く抑えることが可能になった。平成 25 年度の実施日時、参加者数は以下の通りである。

1 回目：平成 25 年 7 月 17 日（水；17:40～20:10）実施：参加者 200 名

2回目：平成26年1月29日（水；17:40～20:10）実施：参加者 681名

### 1.3.4 TOEFL ITP

海外留学を希望する学生にとってTOEFLの成績が要求されることが多いため、群馬大学では平成20年度から、TOEFL ITPを荒牧キャンパスで年2回（6月若しくは7月と、12月若しくは1月）実施することとした。平成25年度の日程と受験者数は以下の通りであった。

1回目：平成25年7月3日（月；17:40～20:10）実施：参加者 38名

2回目：平成26年1月22日（水；17:40～20:10）実施：参加者 515名

なお、今年度の学年末におけるTOEFL実施は、異例なものとなった。全学の一年次生に義務化したため、全学部から多くの教員が監督者となった。「グローバル化」を目指す我が国では、「入試をTOEFLにせよ」という意見がマスコミで報道されるなど、学生の実態・高校卒業時および大学一年次の語学力からすれば学力計測にそぐわないTOEFLの利用が促された。本学における全学実施の背景には、このような「グローバル化」の動向があるものと思われるが、学生の英語学習のモチベーションを高めるという目的のためは、やはり別のテストが良いであろう、という結論に至った。

### 1.3.5 e-ラーニングの推進

e-ラーニングを推進するために、平成25年度も前年度に引き続きALC NetAcademy2の説明会（4月10日）を開催した。このe-ラーニングのシステムは、TOEICの得点向上に直結するため、とりわけ就職および進学にTOEICを必要としている理工学部の学生には、これまで以上の利用を促さねばならない。そのため、荒牧キャンパスのみならず桐生キャンパスの二年次生以上の学生の利用を促進すべきであることから、今年度は桐生キャンパスにおいても、同様に説明会が開催された。

### 1.3.6 ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験

群馬大学では、外国語教育部会が実施主体となって、ドイツ語、フランス語担当教員の協力のもと、群馬大学を会場にして、周辺地域の受験希望者がドイツ語技能検定試験、フランス語技能検定試験を受験できるよう継続的に努力してきており、平成25年度もドイツ語技能検定試験（5級～1級）およびフランス語技能検定試験（5級～1級）を、荒牧キャンパスにおいて実施した。実施日時と受験者数は以下の通りである。

#### ドイツ語技能検定試験

実施日時：秋季試験：平成25年11月23日（祝）全級（5・4・3・2・準1・1）

学内外の総受験者数：53名（複数級併願者含む）

群馬大学生受験者数：10名（内数。ただし書類に学校名を記入していない場合はこれにカウントされないため正確な数値ではない）

#### フランス語技能検定試験

実施日時：春季試験：平成25年6月23日（日）5, 4, 3, 準2, 2, 1級

学内外の総申込者数：60名（複数級併願者含む）

実施日時：秋季試験：平成25年11月24日（日）5, 4, 3, 準2, 2, 準1級

学内外の総申込者数：115名（複数級併願者含む）

### 1.3.7 ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト

外国語教養科目のうち、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語などの印欧語



族の言語学習は、中学での英語授業時間の短縮、高校での英文法授業の簡略化に伴い、同系語族の文法を論理的に理解する貴重な機会となってきている。だがいかんせん英語の学力自体が（さらには言語能力自体が）低下している昨今の大学生にとっては、英語以外の外国語は、学んだところで身につかない（短絡的には「話せないから意味がない」）科目と見なされがち科目ともなってきている。その種の短絡性をアカデミズムの観点から批判したところで、これは我が国の文化レベル全体に関わる深刻な問題が背景としてあるため、英語以外の外国語軽視の動向は一朝一夕で解決できる事態ではない。だがせめて、大学で学ぶ学問に関しては、その学習の達成度が、客観的に測れるシステムがあることが望ましい。

外国語教養科目のうち、専任教員が在籍しているドイツ語およびフランス語については、学生たちの学習意欲を向上させるために、またその学習の進捗を図るために、21年度以来実施している共通のアチーブメントテストを本年度も実施した。（週2回1年間4単位（学習時間年間120時間\*）履修可能な学部学科のうち、週1回分を専任教員が担当するクラスで年度末最終授業時に共通問題で実施（試験時間：ドイツ語45分、フランス語30分\*\*））

#### ドイツ語共通アチーブメントテスト

実施日 平成26年1月27日（月） 教育学部L7・L8クラス13名受験  
実施日 平成26年1月31日（金） 医学部医学科49名受験  
実施日 平成26年1月29日（水） 社会情報学部Aクラス15名受験  
実施日 平成26年2月3日（月） 社会情報学部Bクラス7名受験

#### フランス語共通アチーブメントテスト

実施日 平成26年2月10日（月） 教育学部L1～L4クラス30名受験  
実施日 平成26年2月10日（月） 教育学部L5～L8クラス50名受験  
実施日 平成26年2月4日（火） 医学部医学科21名受験  
実施日 平成26年2月5日（水） 社会情報学部18名受験

21年度以来本年度に至るまでの実施結果からおおむね以下のことが得られている。

\*4単位（120時間）を履修する学生については、平均得点が全国のドイツ語技能検定3級ないしフランス語技能検定3級合格者の最低得点とほぼ同等である。

\*クラスサイズが30名を超えると得点が下がり始める傾向がある。

また今年度は、医学部医学科のドイツ語において、4単位履修者と2単位履修者の得点比較を行ったが、4単位履修者の平均点が2単位履修者の平均点を25.6点上回った。

### 1.3.8 理工学部の英語教育カリキュラムについて

理工学部の場合、入試の二次試験に英語が課されていないことから、英語力の低い学生が多数在籍しているが、一方で理工学部の大学院進学率は高く、その進学にはTOEICの得点が合否判定に利用されている。また学部・大学院ともに、卒業・修了後ビジネス界に就職する率をもっとも高い学部・研究科であり、職に就いて後も英語力を要求されることは必至である。そこで外国語教育部（現、外国語教育部会）は平成22年度に、群馬大学の学生のおよそ半数を占める工学部（現、理工学部）学生の英語力を増強するために、大幅な英語カリキュラムの改善を検討した。その結果23年度には、教育基盤センター「外国語教育部会」がこれを実行に移した。おもな変更点は以下の通りであるが、24年度もこの方策を継承し、さらに、1クラスの受講者数を削減するために、全体のクラス増を実現した。25年度も引き続き少人数クラスでの授業が実施されている。

- 1）週2回（90分×2回）の英語授業を履修させる。
- 2）前期2単位、後期2単位で、1年次に4単位を取得させる。

- 3) 週2回のうち、1回は文法・読解力の養成、1回は聴解・会話等、コミュニケーション能力の育成を目指した授業とする。
- 4) 4月入学時にプレイスメントテストを行い、習熟度別クラス編成を実現する。
- 5) 7月の前期終了時にアチーブメントテストを行い、その結果をもって、後期からのクラス編成を行なう。
- 6) 1月に後期用のアチーブメントテストを行い、達成度を計測する。

本学では全学的に、卒業要件となる英語の単位は4単位となっているが、基本的な英語力の低い学生については、一年次に4単位を履修させることが望ましい。そのため、週2回の英語の授業で4単位を取得させるカリキュラムに変更した。また授業形態も、「読解型」と「コミュニケーション型」の2種類とし、総合的な語学力の育成を図ることとした。

こうした改変の成果は、25年度末に行われたアチーブメントテストに明確に現れた。またTOEICの得点にも上昇が見られたことを付言しておく。

### 1.3.9 その他

外国語教育部会は、23年度以来、英語カリキュラムの改変と1クラスの少人数化に取り組んでいるが、理工学部のみならず、全学部において、1クラスの学生数を30名以下にすることが理想である。そのため25年度には、医学部医学科を1クラス増、教育学部を2クラス増とし、医学部についてはプレイスメントテストを行い、習熟度別クラス編成を実現した。来年度は教育学部にもプレイスメントテストを導入し、さらなる改善を図る予定である。



## 1.4 教育推進部会

### 1.4.1 はじめに

前年度と同様、ベストティーチャー賞選考、教養教育授業評価および教養教育アンケートを行った。また、前年度教養教育でのベストティーチャー賞受賞者による公開授業を実施した。

### 1.4.2 ベストティーチャー賞

平成 18 年度に創設された「ベストティーチャー賞」を継続実施した。

平成 26 年 6 月 3 日に、各学部等から選出された最優秀賞候補者による公開模擬授業、及び、学長・理事・学部長等による審査委員会を開催し、最優秀賞・優秀賞受賞者を決定した。最優秀賞受賞者は、医学部保健学科から選出された山崎恒夫教授で、他の受賞候補者は全員が優秀賞を受賞した。今年度も、公開模擬授業を荒牧地区で実施し、桐生地区にも同時中継することで、効果の波及を図った。また、今年度は教養教育科目の「群馬大学・学」の一貫としても行い、多数の学生が参加した。

昨年度と同様に教養教育から選出された 3 名の受賞者による後期の授業から 2 回を公開授業として指定し、教員、学生に公開した。

### 1.4.3 教養教育授業評価

各授業題目に対する授業評価アンケートを 25 年度から新たに全学として教養教育科目に導入された「学びのリテラシー（1）」及び「学びのリテラシー（2）」で実施するとともに、1 年生全員を対象に、教養教育全体に対するアンケートを実施した。

授業評価アンケートの「学びのリテラシー（1）」では、報告の仕方（パワーポイントの使い方を含む）やレポートの書き方、引用の仕方等、実践的な部分は評価が高く、論理的思考力の修得につながっているものと考えられる。一方、クラスでの討論は学部間で差があり、これがコミュニケーション力の修得に対する評価の差に表れており、今後に改善の余地があると考えられる。自由記載から担当する教員によって、あるいは学生によって学生の受け取りかたや、必要と感ずるかどうかなど差があることがうかがえる。これはその学生が高校までにどのようなことを学んできたかにもよると思われる。また、1 年生の前期での授業のため、今後の大学での学習や専門教育に「学びのリテラシー」が必要であることをどのように伝えていくかが今後の課題と思われる。一方、「学びのリテラシー（2）」では、自由記述で「役に立った、興味がもてた、おもしろかった」とする内容が 122 件と最も多く、「役に立たなかった、興味が持てなかった」とする内容は 8 件のみと、学びのリテラシー（2）を有意義とする意見が多く見られた。

ただし、教養教育アンケートでは学びのリテラシー（2）について、「とても良かった」と「まあよかった」の合計は全体で 67%とやや低く、授業に興味をもった学生が意見を述べやすいと考えられた。討論や学生間の交流については、16 件が「活発だった」とする内容で、逆に 13 件が「不十分であった」とする内容であった。これは授業科目による差が大きいと考えられる。授業内容や方法については、11 件が「良かった」とする内容で、34 件が「問題がある」とする内容であった。科目によっては改善の余地があると考えられる。授業科目の選択に関しては、18 件の記述があり、選択方法や希望の科目がとれなかったことに対する意見がみられた。

教養教育アンケートでは、24 年度まではほとんどの項目で前年度と同様か評価が高くなり、19 年度以降、教養教育全体としては、改善傾向にあると考えられたが、25 年度は 8 つの項目で 24 年度より評価がやや低下しており、25 年度から教養教育の科目区分が変更になったことも合わせ、今後の推移が注目される。全体的に見て、昨年度と同様に医学科の評価が他学部と比べて低く、「あまり満足していない」「満足していない」とする学生が他の学

部、学科では15%以下であるのに対し、医学科のみ20%となっている。

ただし、昨年度より、「満足していない」とした学生は減っていた。科目群では、学びのリテラシーは(1)、(2)とも教育学部での評価が高いのに対し、医学科、保健学科の評価が低い。人文科学、社会科学、総合科目も教育学部と社会情報学部では比較的评价が高いのに対し、医学科、保健学科、理工学部の評価が低い。一方、自然科学は社会情報学部で評価が低い。また、学部別科目は医学科、保健学科、理工学部ともに高い評価となっている。これらの結果から、教育学部の学生は比較的幅広く教養教育に興味をもって取り組んでいることがうかがわれるが、医学科、保健学科、理工学部（特に医学科）の学生は、専門教育に関連のある学部別科目や自然科学には興味があるが、学びのリテラシーや人文、社会分野の教養教育には興味が持てないようである。学びのリテラシーのテーマである幅広い教養を身につけた人材を育成するためには、一層、教養教育の重要性を伝えていくことと、内容の充実が必要と考える。

#### 資料

1. H25 ベストティーチャー最優秀候補者による公開模擬授業次第等
2. 公開授業案内
3. H25 前期学びのリテラシー(1) 授業評価アンケート用紙
4. H25 後期学びのリテラシー(2) 授業評価アンケート用紙
5. H25 教養教育アンケート用紙
6. H25 前期学びのリテラシー(1) 授業評価アンケート集計
7. H25 後期学びのリテラシー(2) 授業評価アンケート集計
8. 教養教育アンケート経年一覧

## 平成 25 年度ベストティーチャー賞行事プログラム

1. 日 時：平成 26 年 6 月 3 日（火）16：00～19：00

2. 場 所：大学会館ミューズホール 他（荒牧キャンパス）

3. 日 程

（1）公開模擬授業（16：00～17：35）

場所：ミューズホール

司会：（教育基盤センター教育推進部会長）

1－1 開会

1－2 挨拶・趣旨説明 （教育・国際交流担当理事）

1－3 模擬授業 最優秀候補者 6 人

16：05－16：20 岩瀧 大樹

（教育学部 附属学校教育臨床総合センター 講師）

16：20－16：35 小林 英樹（教育学部 国語教育講座 教授）

16：35－16：50 富山 慶典（社会情報学部 情報行動講座 教授）

16：50－17：05 半田 寛（医学部附属病院 血液内科 講師）

17：05－17：20 山崎 恒夫

（保健学研究科 リハビリテーション学講座 教授）

17：20－17：35 中沢 信明（理工学府 知能機械創製部門 准教授）

1－4 閉会

（2）審査委員会の開催（17：40～18：00）

場所：大学会館 3 階会議室

議長：高田邦昭 学長（審査委員会委員長）

2－1 審議 （審査委員会 学長・理事・学部長等・機構長）

（3）ベストティーチャー賞授与式（18：05～18：20）

場所：ミューズホール

進行：（教育・国際交流担当理事）

3－1 開式

3－2 審査結果・学長挨拶

3－3 表彰状・副賞授与

3－4 受賞者代表挨拶

3－5 閉式

3－6 記念撮影

（4）学長・受賞者を囲んでの茶話会（18：30～19：00）

場所：大学会館 1 階レストラン「あらまき」

進行：（副機構長）

4－1 開会

4－2 受賞の感想

4－3 懇談

4－4 閉会

## 受賞候補者の選考経緯と選考理由

### 1 教養教育における選考経緯と推薦理由

教養教育のベストティーチャー賞受賞者の選考は、25年度の教養教育履修者に以下のようアンケートを実施し、それに基づき実施した。以下に選考の経緯と、その選考理由を記述する。

\*\*\*\*\*

教養教育 ベストティーチャー選考用紙（平成25年度）

平成26年3月

「ベストティーチャー賞」は、専任教員の教育・授業方法の向上を図ることを目的に、優れた授業を行う専任教員を学長表彰するためのものです。

教養教育における選考は、本選考用紙による学生の皆さんの評価に基づいて行われます。宜しくご協力をお願い致します。

群馬大学 大学教育・学生支援機構  
教育基盤センター長 石川 治

#### [1] 記入者の学籍番号と氏名

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

#### [2] 優れた授業を行う教員の選考

以下の欄に本年度履修の教養教育科目で、授業内容、授業方法、学生の皆さんとの良好な関係等の観点を総合し、優れていたと思う教員のうち、前期の授業担当教員から2名以内、後期の授業担当教員から2名以内を選び、その「教員名」「授業の曜日・時限」「授業題目名」「欠席回数」「優れていたと思う理由」を記入して下さい。

選考対象となる、教員名、授業の曜日・時限、授業題目名（時間割番号）については一覧表を参照して下さい。非常勤講師、昨年度受賞教員（藤井正希、渡辺秀司、斎藤理生（敬称略））は対象外です。

|     | 教員名  | 授業の曜日・時限 | 授業題目名<br>(時間割番号)  | この授業での欠席回数 | 優れていると思う理由          |
|-----|------|----------|-------------------|------------|---------------------|
| (例) | 赤城太郎 | 水・3－4    | 日本文化の形成<br>(1432) | 2          | 内容がよく整理され、理解しやすかった。 |
| 前期  |      |          | ( )               |            |                     |
| 前期  |      |          | ( )               |            |                     |
| 後期  |      |          | ( )               |            |                     |
| 後期  |      |          | ( )               |            |                     |

\*\*\*\*\*

## 選考経過

1. 教育基盤センター教育推進部会(11月18日)および教育基盤センター運営委員会(3月5日)で、25年度の教養教育ベストティーチャー賞候補者選考手順を審議し、決定した。
2. 1年後期の成績配付時(3月13、14日)に、学生に「教養教育ベストティーチャー選考用紙(平成24年度)」への記入を依頼し、回収した。記入の対象は、1年次開講のすべての教養教育科目の単位認定教員から、非常勤講師と23年度教養教育ベストティーチャー賞受賞者を除いた教員とした。学生からの記載は、前期2名、後期2名の連記とし、教員名のほかに、授業時限、授業題目名、欠席回数、優れていると思う理由も記載してもらった。
3. 候補者選考手順に基づき、候補者のべ13名をリストアップした。
4. 4月23日に、石川大学教育・学生支援機構長／教育基盤センター長、吉田大学教育・学生支援機構副機構長／教育基盤センター副センター長、高山教養教育部会長、吉川外国語教育部会長、横山教育推進部会長で候補者選考を行い、4月28日の教育基盤センター運営委員会に結果を報告した。候補者選考にあたっては、得票状況に加え、優れていると思う理由、教養教育への貢献等も考慮し、総合的に判断した。

## 候補者の推薦理由 (最優秀賞候補者)

### 教育学部 岩瀧 大樹 講師

岩瀧講師は、教養教育では前期に教育臨床心理学および後期にカウンセリング心理学を開講している。履修登録者数は361名と多く、181名から投票があり、総得票数が最も多かった。また授業題目あたりの得票数(90.5票)およびのべ履修登録者数あたりの得票率(50.1%)も最も多かった。

岩瀧講師の講義は、臨床心理学を中心とした心理学を、受講者の日常的体験に例えたり、映画やアニメーションを用いたりすることで、初めて触れる者でも興味・関心を抱き学べる工夫がなされている。また、指名やリアクションシートにより、教員と学生の積極的な双方向コミュニケーションを構築させるとともに、学生同士のマイクロディスカッションや意見交換も取り入れ、より講義を立体的とすべく配慮されている。多くの学生からは、「集中力が保てる工夫がされている」、「説明が明快・丁寧である」、「講義時間と時間内の静粛が守られている」などの評価が得られている。

以上から、岩瀧講師を、最優秀賞候補者として推薦した。

## (優秀賞候補者)

### 教育基盤センター Richard Sampson 講師

Richard Sampson 講師は、英語の授業を10コマ担当し、履修登録者数は348名と多く、135名から投票があり、総得票数が上位2位であった。

Sampson 講師は、理工学部の統一英語カリキュラムにおいて学生たちの絶大なる信頼と人気を集めているのみならず、他学部の授業においても独自の教材研究に基づき、実に効果的な授業を行っている。たとえば後者の例としては、学生に空想の新品を考えさせ、それについてのプレゼンを行なわせるという、英語の発想力と発信力を高める授業を工夫している。

いずれの授業においても、授業後に学生たちに囲まれ、英語学習の相談に応じ、個別の対応を心がけている。語学力増強にはモチベーションが第一であり、モチベーションは個々の学生によって様々であることを心得ているからである。

Sampson 講師の授業は、初回のコースオリエンテーションの段階から学生の評判が高く、多くが彼の授業を受講したいと希望する。今回の調査結果は、講師が、そうした



初回からの学生の期待を、最後まで裏切らない、きわめて優れた教員であることを、証明するものであると思われる。

以上から、Richard Sampson 講師を、優秀賞候補者として推薦した。

## **(優秀賞候補者)**

### **教育学部 小谷 英生 講師**

小谷講師は、教養教育では前期に学びのリテラシー（1）を担当している。履修登録者数 28 名のうち 14 名（50.0%）が投票しており、のべ履修登録者数あたりの得票率が上位 2 位であった。

小谷講師は哲学・倫理学を専門とし、その幅広い知識を活かして「学びのリテラシー」を開講している。大学で学問を行うにあたり基礎となるアカデミック・スキルを、①社会問題を構造的に捉える力、②根拠を明示しながら自分の主張を組み立てる力、③正しい日本語で書き・話す力として整理した。それを学生に伝えるためにグループワークを重視し、分かりやすい問題を提示し、ディベートやディスカッションを行ったり、プレゼンテーションの資料を共同で作成させたりした。期末レポートでは「8000 字以上、参考文献 3 冊以上」という条件を課し、仮提出させた一人一人のレポートに詳細な添削とコメントをした上で、最終提出を促した。受講生からも「こんなに丁寧な直してもらえとは思わなかった」という驚きの声が寄せられている。

以上から、小谷講師を、優秀賞候補者として推薦した。

## **2 教育学部における選考経緯と推薦理由**

### **選考経緯**

- 1 現行の選考方法は、平成 19 年 12 月 26 日開催の教育学部将来構想委員会で承認されており、学部教育の活性化というベストティーチャー選考の趣旨に照らし、ベストティーチャー賞受賞者は、その後 2 年間は選考対象外としている。
- 2 ベストティーチャー選考の資料とすることを学生に周知し、学部 2・3 年生全員を対象に自専攻の教員 2 名と自専攻以外の教員 2 名を投票用紙に連記の上、投票させて得票のあった教員 21 名をベストティーチャー候補教員とした。  
ついで、これらの候補教員について平成 25 年度授業評価結果を所定の算定方法に基づき点数化して選考資料を作成した。
- 3 3 月 27 日に学部長、副学部長、教務委員長で構成する選考会議において、選考手順の確認を行い、選考資料に基づき得点の上位 2 名を平成 25 年度教育学部ベストティーチャーとして選出した。

### **候補者の推薦理由**

#### **(最優秀賞候補者)**

#### **小林 英樹 教授 (国語教育講座)**

小林教授は、国語教育講座の教員として、「日本語文法論（現代）」、「日本語語彙論（現代）」、「初等科国語」などの授業を担当している。いずれの授業でも、学生が普段何気なく使っている現代日本語を授業の素材としている。現代日本語を扱っているという点で、国語教育講座の学生はもちろん、他講座の学生でも、興味・関心を持ちやすい授業になっている。「日本語文法論（現代）」、「日本語語彙論（現代）」では、学生をいくつかのグループに分けて発表させる機会を設けるなど、教員からの一方通行の授業にならないようにしている。「初等科国語」では、ほぼ毎回、授業の最後にその授業で扱ったテーマに関する問題を出題し、学習内容の定着を図っている。このように、小林教授の授業は、学生自身が身近な現代日本語のしくみについて考えることができるように工夫されている。

以上から、小林教授を最優秀賞候補者として推薦した。

### (優秀賞候補者)

#### 吉野 浩之 准教授 (障害児教育学講座)

吉野准教授は、障害児教育学講座の教員として、「特別支援教育概論」、「知的障害の生理・病理」、「肢体不自由児の理解」、「病弱児の理解」などを担当している。吉野准教授の授業は、障害児教育に関わる医療面や科学的理解が中心であるが、ともすると専門用語の羅列になりがちな内容を、ほとんど専門用語を使うことなく平易な言葉を用いて、直感的な理解ができるよう解説している。

また、教育や福祉の現場を頻繁に訪問して、より正確な実態を授業に反映するとともに、最先端の学会や研究の成果、時事問題も広く取り入れることで、常に新しい授業を行っている。その授業は、教育現場の「今」と、社会の「未来」を強く意識したものであり、学生にとって関心の高い内容のみならず、教員になったときに現場で実際に使える知識・技術を身に付けられるように構成されており、好評を博している。特に、多くの授業で「命の教育、死の準備教育」の視点を取り入れており、単に「命の大切さ」を伝える授業ではなく、学生自身に命や死を深く考えさせ、さらに命や死を子ども達に伝えることができる教員になるためにどうしたらいいか、子どもの発達段階に合わせて工夫をした授業を実践している。

以上から、吉野准教授を優秀賞候補者として推薦した。

### 3 社会情報学部における選考経緯と推薦理由

#### 選考経緯

社会情報学部では、後期の授業評価アンケート配布時に、各学年の必修科目において、学生に「社会情報学部ベストティーチャー賞選考用紙 (平成 25 年度)」への記入を依頼し、後日回収した。

学生からの記載は、前期 1 名、後期 1 名の連記とし、教員名のほかに、授業時限、授業題目名、欠席回数、選考理由も記載してもらった。

アンケートの集計方法は次のとおりである。

(1) 各授業科目の得票数を集計する。その際に、以下の投票は除く。

- ①欠席回数が 6 回以上の授業科目への投票
- ②重複して投票し、その内容が異なっていた学生分

(2) (1) で除外された投票を除いて、以下に①～③の集計を行う。

- ①総得票数が 2 位以内の教員
- ②〔得票数／担当授業科目数〕で 2 位以内の教員
- ③〔得票数／のべ履修登録者数〕上位数名の教員

上記①～③で合わせて 6 名程度をリストアップする。

(3) (2) でリストアップされた教員について、社会情報学部専門科目のシラバス作成の有無を確認し、作成していない科目があれば、リストから除く。

候補者選考手順に基づき、リストアップされた候補者の中から、3 月 3 日開催の教務委員会及び 3 月 4 日開催の教授会において総合的に判断して、決定した。

#### 候補者の推薦理由

#### (最優秀賞候補者)

#### 富山 慶典 教授 (社会情報学部 情報行動学科)

富山教授は、学部専門科目では、前期に行動的決定理論、集合的選択論、後期に意思決定科学、記号論理学を単独で開講している。総履修登録者 241 名と多く、ベストティーチャーアンケートでは上記の①総得票数②〔得票数／担当授業科目数〕において最も多

く③「得票数／のべ履修登録者数」においても上位であった。

富山教授が担当している意思決定関連科目は、数学的アプローチに基づいた「理論」を扱うものである。本学部の多くの学生は文系の出身でこうした分野に馴染みが薄いのが、富山教授はこうした学生にもスムーズに理解させるため、自前のテキストを用いた工夫に富んだ授業を行っている。

たとえば、決定理論の出発点であるペイオフ表を説明する際には、「傘を持つか持たないか？」といった20歳前後の若者ならば必ず経験したことがある（あるいは想像可能な）典型的な状況を持ち出し、具体化したイメージを想像させておいて、その上でペイオフ表が表している概念や特徴などを説明している。また、数学が苦手な学生のために、数学で記述・表現する対象となる具体的な世界を、まず言葉で記述した上で、集合・変数・関係・関数といった数学的な道具がどのように役立つのかを説明するように心がけている。

アンケートへの回答でも、「例が具体的で分かりやすかった」「難しい内容なのに理解しやすかった」といった評価が多く見られた。

以上の理由から、富山教授を優秀賞候補者として推薦したものである。

## 4 医学部医学科における選考経緯と推薦理由

### 選考経緯

医学部医学科では、医学部医学科学友会授業向上委員会において学生を対象に実施される授業評価アンケートの結果を参考にして医学科教務部会で審議し、医学部医学科ベストティーチャー賞（ベストティーチャー石井賞）受賞候補者を推薦している。平成25年度は、3名の教員が授業評価アンケート結果に基づいて受賞候補者として推薦され、平成25年12月14日に医学教育教授法ワークショップにおいて、3教員による模擬授業が行われた。ワークショップ出席教員からの投票による選考の結果、3教員とも医学部医学科ベストティーチャー賞を受賞した。受賞者について教務部会で協議した結果、4年次生ブロック3「造血器・血液疾患」講義を担当した半田寛講師が群馬大学ベストティーチャー賞候補者として推薦された。

### 候補者の推薦理由

#### （最優秀賞候補者）

#### 半田 寛 講師（医学部附属病院 血液内科）

半田寛講師は、平成2年に群馬大学医学部医学科を卒業、附属病院第三内科研修医を経た後、シカゴラッシュ大学留学。医学博士号は、平成10年に取得した。

平成14年に群馬大学に助手として採用後は、講義・実習を担当し、特に4年次生のブロック講義では、「説明が上手でわかりやすい」、「ウイットに富んだ面白い講義」と学生から高く評価されている。昨年度、昨々年度もベストティーチャー賞候補として選ばれており、今年度の医学教育教授法ワークショップ模擬授業においても教員から極めて高い評価を得た。

以上の学生の評価及びこれまでの教育活動を考慮し、全学ベストティーチャー賞候補として推薦する。

## 5 医学部保健学科における選考経緯と推薦理由

### 選考経緯

- 1 教育課程専門委員会（平成25年12月10日開催）で、平成25年度保健学科ベストティーチャーの選考手順を審議し、表彰年度限りで退職する者及び前年度受賞者を対象外とすることを確認した。
- 2 後期の各学年必修授業科目時に、各専攻教育課程専門委員から「保健学科ベストティー



チャー賞投票用紙」を配付し、その場で投票箱で回収するようにして投票率を上げるように改善した。

学生からの記載は、例年のとおり3名まで任意に記載できるものとし、授業科目名、優れていると思う理由を記載してもらった。

- 3 3月18日に教育課程専門委員会で投票結果を基に協議し、同投票数があるため上位4名を候補者とすることを確認して、学科会議に提案することとなった。

### 候補者の推薦理由

#### (最優秀賞候補者)

#### 山崎 恒夫 教授(保健学研究科リハビリテーション学講座)

山崎教授は平成23年度から、作業・理学療法学専攻の学生を対象として、「生理学Ⅰ・Ⅱ」「生理学実習」「神経内科学Ⅰ・Ⅱ」を開講するほか、教養教育科目(総合科目)として「心と脳の健康管理」を担当している。

「生理学Ⅰ・Ⅱ」は、生命維持の仕組みを学ぶ基礎医学科目であり、「神経内科学Ⅰ・Ⅱ」はリハビリテーションを専攻する学生にとって初めて学ぶ臨床医学科目である。これらの講義は医学知識に乏しい1～2年生を対象としたもので、医学入門としての意味合いがある一方で、国家試験の必修出題科目として高度な専門知識を過不足なく伝授しなければならない。この矛盾した2つの目標を達成するために、山崎教授は講義の要点を記したプリントを授業ごとに配付し、時には高校の理科科目の復習をしながら、国家試験で出題されるポイントとその出題意図を学生に伝えている。調査ではアンケートに参加した「生理学」履修者29名中27名、「神経内科学」履修者42名中24名が山崎教授に投票している。投票理由には“理解しやすい”“授業がおもしろい”“国試の出題ポイントの要点を押さえて丁寧に説明してくれる”“プリントがすばらしく、復習しやすい”などの意見が多い。こうした学生の評価からも、山崎教授の試みが成功していることは明らかであり、低学年を対象とした専門科目講義のひとつのモデルとなる講義方法と考える。

以上から、山崎教授を保健学科の最優秀賞候補者として推薦する。

## 6 工学部における選考経緯と推薦理由

### 選考経緯

学部3・4年生及び博士前期課程1・2年生に対して、平成25年10月中旬以降に、「国立大学法人群馬大学ベストティーチャー賞実施要項」及び「群馬大学工学部ベストティーチャー選抜要領」に基づき、実際に履修した専門教育科目(卒業研究を含む。)のうち、授業方法、授業内容、学生との良好な関係構築等の観点を総合して、優れていたと感じた授業担当教員を1名から3名を選ぶ学生による記名投票を行った。工学部においては、輪番で年度あたり3つの対象学科から選出することとなっており、今年度の対象学科は応用化学・生物化学科、生産システム工学科及び共通講座(理工学基盤部門)であった。学生に投票用紙を配付し授業科目と投票理由を記載してもらい、該当学科等で平成25年12月末に集計を行った。その結果、以下の教員が各学科において最も多く得票した。

各学科から選出された教員を、平成26年2月26日開催の工学部ベストティーチャー選考委員会で順位付けを行い、更に平成26年3月11日開催の代議員会・教育運営会議において審議した結果、次の教員を群馬大学ベストティーチャー賞優秀賞候補者として推薦した。

### 候補者の推薦理由

#### (最優秀賞候補者)

#### 中沢 信明 准教授(知能機械創製部門)

中沢信明准教授は、平成10年東北大学大学院情報科学研究科を修了後、日本学術振興会特別研究員として同大学で研究活動を行い、平成11年群馬大学大学院工学研究科生産基盤工学講座に赴任し、センサならびに画像処理を利用したヒューマンインタフェース、ヒトの手先技量と生体運動のモデル化など、人間機械系分野の研究に従事している。特に「顔の方向を利用した電動車椅子の操作インタフェースの開発」は、計測自動制御学会のシステムインテグレーション部門でSI2010優秀講演を受賞するなど、高く評価されている。人間の動作解析において利用したセンサや計測手法の一部は、学部学生向けの学術書籍「センサの基本と実用回路」（中沢・松井・山田共著 コロナ社）にまとめられており、学部2年生を対象とした「生産システム設計」でも使われている。この講義では、身近な家庭電化製品や自動車、そして産業機器やロボットに至るまで、各種機器の知能化には必要不可欠となる“センサ”について、その仕組みと用途、必要となる周辺回路等を分かりやすく解説し、実際にセンサを触れさせることで理解を深めさせ、さらに参加した学会でのセンシングに関する注目トピックスを提供するなど、常に学生に興味を抱かせるように工夫を凝らしている。またセンサの動作原理として利用されているニュートン力学や材料力学、電磁気学、電気回路や半導体など、学科内の他の科目との関連付けを行いながら講義の展開を行っている。候補者は、教育方法の創意工夫に積極的に取り組むとともに、常に学生と向き合うことで教育的な効果をあげていることから、本学ベストティーチャー賞優秀賞候補としてふさわしいと考え推薦するものである。

#### （優秀賞候補者）

##### 天羽 雅昭 教授（理工学基盤部門）

天羽雅昭氏はこれまで、「ベクトル解析」「微分方程式演習」「複素解析」「偏微分方程式」等の工学部における専門教育科目を、また大学院においては学府共通教育科目（工学研究科では開放専門科目）の「代数学特論」を担当している。これらは、全学科・全専攻向けに開講している数学科目であり、理工学全般に必要な数学知識と数式計算を扱うとともに、それぞれの専門分野を横断する普遍的な数学原理を認識させ、将来エンジニアとなる学生の論理的思考の涵養を目標とするものである。その中でも天羽雅昭氏の講義・指導は、わかりやすい、計算にとどまらない数学のおもしろさを気付かせるといったところに定評があり、過去にもベストティーチャー賞を受賞している。「説明だけでなく演習も多く理解しやすい、まとまった授業構成だった。」「難解な内容もゆっくり丁寧に教えて頂いて理解が深まった」「黒板の板書がとても見やすい」「学生の反応を見ながら授業を行い、質問にも丁寧に答えて頂いた」等の学生の投票理由にあるとおり、候補者は、卓越した指導力で教育効果の高い授業を計画・実践したこと、学生の立場で教育方法の工夫や改善に取り組むとともに、意欲的に教育活動に取り組むことで顕著な教育成果をあげたこと、シラバス掲載等の諸条件を満たしていることから、本学ベストティーチャー賞優秀賞候補としてふさわしいと判断し推薦する次第である。

#### （優秀賞候補者）

##### 飛田 成史 教授（分子科学部門）

飛田教授は昭和58年東京工業大学理工学研究科を終了後、群馬高専を経て、平成4年群馬大学工学部応用化学科に助教授として赴任し、平成12年群馬大学工学部教授として、光と分子の相互作用に関する基礎的研究に従事した。最近では光化学の基礎的な知見をもとに、生命科学研究のための発光プローブ分子の設計・合成と計測技術の開発の研究をすすめ医理工の連携を含め実用に向けた研究を指向している。JSTの研究成果展開事業である産学共創基礎基盤研究プログラムに採択され、「金属錯体をプローブとするヒトの低酸素病態イメージングプロジェクト」というタイトルで研究プロジェ



クトを進めている。

これらの研究成果の基礎となる一年生の教養科目の「化学」、2年生では量子化学の基礎である「物理化学Ⅲ」、3年生では化学結合論と分子分光学の基礎である「構造化学」を担当している。これらの講義は、量子力学を化学に適用し、原子・分子を理解するもので、高校生までの化学の学習にはない難しい授業内容である。しかしながら、学生のアンケート結果によれば、飛田教授の講義は、説明が丁寧でわかりやすい、板書がきれいでわかりやすい等の評価を得ており、飛田教授が情熱をもって、できるだけわかりやすく教えようと努めているところが学生に評価された。卓越した指導力で教育効果の高い授業を実践したこと、学生の立場で教育方法の工夫や改善に取り組むとともに、意欲的に情熱をもって教育活動に取り組むことで顕著な教育成果をあげたこと、シラバス掲載等の諸条件を満たしていることから、本学ベストティーチャー賞優秀賞候補としてふさわしいと考え推薦するものである。

## 授業・教育方法の紹介

1. 授業名（受賞対象となるもの）
2. 授業の概要
3. 授業で特に工夫をしている点
4. 学生に接する場合に留意している点
5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

### －教養教育推薦－

**岩瀧 大樹**（いわたき だいじゅ）：教育学部 附属学校教育臨床総合センター 講師

#### 1. 受賞授業名

「教育臨床心理学（前期）」、「カウンセリング心理学（後期）」

#### 2. 授業の概要

どの職業領域においても自己理解や他者理解，コミュニケーションに関わる心理学見解は不可欠である。「教育臨床心理学」においては，教育や医療，福祉のみならず，様々な領域からの「人間理解」を目標とし，基礎心理学の中核とされる「学習」・「認知」・「発達」・「パーソナリティ」・「集団」の5つの観点から「心」について考察している。

また「カウンセリング心理学」においては，身近な問題である「心の健康」に焦点を当て，代表的な精神疾患，事故や災害時の危機介入などに関する基礎的理解や，そのサポートやアセスメントの方法について考察をしている。また，認知行動療法による受講者自身の「セルフケア」，キャリアカウンセリングの観点から受講者各自の「キャリアデザイン」を取り上げ，カウンセリングの治療的側面のみならず，開発的・予防的側面の理解も促している。

#### 3. 授業で特に工夫をしている点

- ① 「専門用語が難しい」などの印象を抱かれることの多い心理学ゆえ，できるだけ身近な例や事象に関連させた説明により，初め て触れる受講生が興味や関心をもてるよう意識しています。また，例を示す場合には，多くの受講生の共通項となるアニメーション や映画，社会的エピソードなどを取り入れています。
- ② テキストや講義資料を利用しつつ，適宜映像資料，エクササイズなどを取り入れ，受講者の集中力・モチベーションが維持でき るよう尽力しています。
- ③ 毎回リアクションシートを配布し，教員と受講者間のコミュニケーション（質問の機会，理解度の把握など）に活用しています。また，マイクロディスカッションなどを導入し，受講者同士でのコミュニケーションも構築し，講義の立体化を意識しています。

#### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

- ① 重要なテクニカルタームなどに関しては繰り返すとともに，アンダーラインの記入などを促しています。
- ② 受講者のノートテイクの様子や集中力などを適時確認しつつ，フレキシブルに講義を進めるよう心がけています。

#### 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

「身近な心理学」を常に意識したことにより，受講者からは「分かりやすく明快である」

などの感想をいただいていた。しかし、教員側のサポート以上に、そのサポートを敏感にキャッチし、積極的に自身の教養に取り入れた受講者が多かったと推察しています。このような貴重な機会をくださった昨年度の受講者の皆さんに感謝しています。

## **サンプソン リチャード (さんぷそん リチャード)：教育基盤センター 講師**

### **1. 受賞授業名**

前期：「英語 AI」「英語 BI」「総合英語 1 年」「英語 1 年」

後期：「英語 AII」「英語 BII」「総合英語 1 年」

### **2. 授業の概要**

「総合英語 1 年」「英語 1 年」では総合的な英語のコミュニケーション能力を育む授業を行った。国際的な企業で研修しているというテーマを利用し、授業ごとに英語が実際に必要なシチュエーションに注目した。タスクを完成する為に、グループワークで英語を目的別に使いながら、相手に自分の意志や考えが伝わることを目指した。「英語 AI」「英語 AII」では、リスニング力養成を主体に総合的な英語の運用能力向上を図った。リスニング・スキル、発音、語彙とフレーズ、文法等の学習を通して、身近な話題に関するメッセージやアナウンスメントを理解出来る様にした。「英語 BI」「英語 BII」では、リーディング力養成を主体に総合的な英語の運用能力向上を図った。速読、リーディング・スキル、語彙とフレーズ、文法等の学習を通して、身近な話題について、頻繁に使われる語彙で書かれたテキストを理解出来る様にした。また、各自のレベルや関心に合わせた本を読む「読書プロジェクト」を通して、英語力を向上させつつ読書を楽しみ、人間や社会について考え、英語で伝えることが出来ることを目指した。

### **3. 授業で特に工夫をしている点**

- ① 授業スペースは学生と先生とで出来る上がるものであることを、全員で認識する。
- ② 言語を学ぶことは、一つのスキルを学ぶことと一緒に。即ち、文法や語彙などの「知識」を、どんな場面で用いるか「イメージ」し、実際に「使う」ことが大切だと気付くような工夫。
- ③ 授業中に積極的に英語を「使う」ことで、得られる自信や満足感、ポジティブなセルフイメージの確立を期待。
- ④ あえて、English only ではなく時には日本語でのユーモアを取り入れることで、学生の「English Native Speaker= 動く英語」という苦手意識を取り除く。
- ⑤ 「先生の話」は短めにし、学生が活動している時間を確保。
- ⑥ 教壇にだけ立たずに常に学生の中で授業を行う。

### **4. 授業で学生に接する場合に留意している点**

授業中、「どのときも学生と接している」ことを学生にストレスにならないよう配慮しながら意識をしている。英語で授業を行う場合、ゆっくりと気取らない英語を使うよう心がける。板書が必要かどうかの判断を見定める。活動をする前に必ず「最初に何をすればよいか、周りの学生と確認しておいてから始めましょう」という時間を設ける。そして何よりも学生の人権を重んじる。

### **5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点**

何故でしょうか？アンケートの一番上に私の名前がありました？

## 小谷 英生（こたに ひでお）：教育学部 国語教育講座 講師

### 1. 受賞授業名

学びのリテラシー（1）

### 2. 授業の概要

「高校生から大学生になる」をモットーに、資料の調べ方、論文の読み方・書き方、ディスカッション／ディベートの仕方などのアカデミック・スキルズを教えています。

### 3. 授業で特に工夫をしている点

- ① 理論からではなく実践からはじめる点。たとえばディスカッションも、簡単な説明のあとでいきなりやらせる。実践させ、学生自身に足りないところを自覚させた上で、様々なテクニックを教示する。
- ② 学生の能力を過小評価せず、高いレベルでの調査、論文構成、根拠付けを求める点。ハードルをあげておくことで、むしろ学生は真剣に講義を受けるようになるものです。

### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

対話を心がけています。どんな意見も馬鹿にしない。学生がおちゃらけて言った意見に対しても、そこには「冗談では済まない真実があるのでは」という態度で臨んでいます。また、意見そのものの是非を問うのではなく、その根拠を追究する（追究させる）ようにしています。ある意見に対し、その意見がどのような問題を解決しうるのか、逆にどのような問題をはらんでいるのかを考えさせるよう努めています。

### 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

適度に力を抜いているところではないでしょうか。僕は専門が倫理学・哲学ということもあり、真面目にやろうとすると学生の頭が10分で沸騰し、就寝モードにはいるという経験を非常勤時代からしています。ですので、できるだけラフに授業を進め、「ようするにコレが重要だ！」というポイントを際立たせるようにしています。

## －教育学部推薦－

## 小林 英樹（こばやし ひでき）：教育学部 国語教育講座 教授

### 1. 受賞授業名（担当授業名）

前期：音声言語概説、日本語文法論（現代）など

後期：初等科国語、日本語語彙論（現代）など

### 2. 授業の概要

教えている学生（日本語母語話者でない留学生は除く）は、何不自由なく日本語を使いこなせる日本語の「プロ」である。しかし、その日本語の「プロ」でも、普段、何げなく使っている日本語のしくみを説明することはかなり難しい。これは、常に、吸って吐いてをしている呼吸の「プロ」である我々が呼吸のしくみを上手く説明できないのと同じである。担当している授業では、普段、何げなく使っている日本語のしくみを（教わる側も教える側も）考察できるようにしている。たとえば、自分の名字が言語学的にはどのように分析できるか、学生に考えてもらっている。以下にあげるのは、いずれも「木」が関係している名字である。

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ・XもYもないタイプ            | 青木（あおき） |
| ・XはあるがYはないタイプ         | 赤木（あかぎ） |
| ・XはないがYはあるタイプ         | 舟木（ふなき） |
| ・XもYもあるタイプ            | 稲木（いなぎ） |
| ・そもそもX, Yをもつ可能性がないタイプ | 林（はやし）  |

名字が「木」に関係していなくても、どれかに分類される。X, Yは、どのような言語現象？  
あなたの名字は、どのタイプ？

### 3. 授業で特に工夫をしている点

教員が手取り足取り何でも教えるような授業にならないようにしている。（2）で紹介したような問題を解かせたり，グループに分かれて発表させたりして，できるだけ学生に汗をかいてもらうようにしている。

### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

教員がしゃべりすぎると，よくない（特に，空気が乾燥する後期は，しゃべりすぎるとノドを痛めてしまう）ので，しゃべりすぎないようにしている。（3）で述べたように，できるだけ学生に汗をかいてもらう。教員が楽をしたいだけかもしれないが。

### 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

授業評価で（板書の）「字がきたない」とのコメントがあったこともあり，思い当たる点がない（そのコメントは，乱雑に書かれており，「お前には言われたくない」と心の中でブツブツつぶやく）。国語教育講座の同僚で，ベストティーチャー賞の常連だった斎藤理生先生が他大学に転出したからか。

## 吉野 浩之（よしの ひろゆき）：教育学部 障害児教育学講座 准教授

### 1. 受賞授業名（担当授業名）

「特別支援教育概論」，「知的障害の生理・病理」，「肢体不自由児の理解」，「病弱児の理解」，「聴覚障害の生理・病理」，「医療的ケア特論，特講」，「障害児医学特論・特講」，他。

### 2. 授業の概要

「特別支援教育概論」では，障害児教育を専門としない教育学部生に対し，2人の教員で分担し，通常の学校教員が知っておかなくてはいけない特別なニーズを持つ子どもへの対応と知識を幅広く講義した。障害児教育専攻の学部生に対し，「知的」，「肢体不自由」，「病弱」，「聴覚」それぞれの障害について，人体の成り立ちから病理・心理を踏まえた子どもへの対応について講義した。専攻科において「知的」，「病弱」，「聴覚」について，大学院生と専攻科学生に対し，「障害児医学」の歴史・現状から未来までを，また，今日教育現場で問題となっている「医療的ケア」について知識だけでなく実技も含め，教育現場での実践を踏まえた講義を行っている。

### 3. 授業で特に工夫をしている点

講義内容が，障害児教育に関わる医療面や科学的理解が中心であるため，ともすると専門用語の羅列になりがちな内容を，ほとんど専門用語を使うことなく平易な言葉を用いて，直感的な理解ができるよう講義している。また，教育や福祉の現場を頻回に訪問した結果を授業に反映するとともに，最先端の研究の成果，時事問題も広く取り入れることで，常



に新しい授業を行うよう心掛けている。

#### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

講義では学生全体に目を配り、その反応を見ながら進度を調整するように心がけている。時に、自分の臨床経験やエピソードなど、強く印象に残るような話を交えながら、学生が「思わず身を乗り出す」時間を大切にしたいと考えている。

#### 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

全ての講義を通して、教育現場の「今」と、社会の「未来」を強く意識し、学生の関心の高い内容のみならず、教員になったときに現場で生きる講義になるように構成している。また、「命の授業、死の準備教育」という視点を常に意識し、単に「命の大切さ」を伝えるだけでなく、学生自身が考え、それを子どもたちに伝えられるよう、発達段階に合わせた「命と死」を教えられる教師という視点が、学生に強い印象を与えたのではないかと感じている。

### －社会情報学部推薦－

**富山 慶典（とみやま よしのり）：社会情報学部 情報行動講座 教授**

#### 1. 受賞授業名

「意思決定科学」、「行動的決定理論」、「集合的選択論」

#### 2. 授業の概要

1年・後期に開講する「意思決定科学」は、決定理論的アプローチとベイズアン決定理論を中心にした個人的意思決定とゲーム理論を中心にした相互的意思決定の内容である。具体的には、意思決定基準としての効用とその測定法、効用関数の性質、決定理論的分析の出発点となるペイオフ表、リスク下での意思決定、不確実性下での意思決定、ベイズの定理、情報の価値、ゲーム理論の基本構造、囚人のジレンマや両性の闘いなどである。

2年・前期に開講する「行動的決定理論」は、個人的意思決定への心理学的アプローチの内容である。具体的には、期待効用原理の公理系、期待効用原理の侵犯を示すアレの反例とフレーミング効果、これらの侵犯に対応したプロスペクト理論、ヒューリスティックとバイアス、意思決定の記述理論・規範理論・処方理論などである。

3年・前期に開講する「集合的選択論」は、社会的選択理論と投票理論を中心に据えた社会的意決定の内容である。具体的には、電子投票システム時代の多肢選択方式、情報集積と最適集団意思決定、入試・就職・結婚に共通する構造を探る社会的マッチング理論と社会情報システム、社会的意決定のジレンマなどである。

#### 3. 授業で特に工夫をしている点

学問とは「問いを学ぶことなり」（答えを学ぶのではないところが大切）という考え方のもとに、理論や方法を講義する前に、それらが答えとなっている問いを明確に述べることにしている。正解主義のもとで答えを学んできた学生に、じつは問うべき問いをどのように設定するかが重要なのだということを知ってもらうためである。

講義する意決定の授業内容を、学生が他の授業などで既に学んだ知識や現在学んでいる知識と、できるだけ関連づけようとしている。心理学・経済学・政治学・社会学といった既存のディスプリンのひとつひとつを縦長の短冊に見立てて並べると、意決定科学はそれらとの交差点をもつ横長の短冊に見立てることができることを示すためである。

テキストを自前で作成している。講義の中心的内容は、数学的な理論や方法なので、

文科系の学生にも理解できるように補足的な内容を記載するためである。と同時に、“理論を学ぶ前に”理論が想定している典型的な状況や20歳前後の若者ならば必ず経験したことがある、あるいは想像可能な典型的な状況を記載したり、“理論を学んだ後に”できるだけ異なる分野での応用や適応の例を示したりするためである。

#### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

学生にできるだけ参加してもらうようにしている。講義の場合には、理論を学ぶ前に具体的に意思決定してきてもらったり（予習）、授業中に小さな演習を組み込んだり（演習）、授業後に少し本格的なレポートを提出させたり（復習）している。

できる限り上から目線にならないように、自分が学生側に座って授業を受けていたときのことを思い出しながら語るようにしている。特に、質問に来た学生には、学生がどこでどのようにつまづいてしまっているのかに注意している。

自前テキストの文章は硬めにするが、授業での語りは軟らかめにする。

#### 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

アンケートへの回答では、「例が具体的で分かりやすかった」「難しい内容なのに理解しやすかった」といった評価が多く見られたとお聞きした。この評価から思い当たるのは次の点である。

わたしが担当している上記の意思決定科目は、数学的アプローチに基づいた「理論と方法」を扱うものが多い。社情の多くの学生は文系の出身でこうした分野に馴染みが薄いので、そうした学生にもスムーズに理解させるため、自前のテキストを用いて工夫をこらしている。

たとえば、決定理論の出発点であるペイオフ表を説明する際には、「傘を持つか持たないか？」といった20歳前後の若者ならば必ず経験したことがある（あるいは想像可能な）典型的な状況を持ち出し、具体化したイメージを想像させておいて、その上でペイオフ表が表している概念や特徴などを説明している。また、数学が苦手な学生のために、数学で記述・表現する対象となる具体的な世界を、まず言葉で記述した上で、集合・変数・関係・関数といった数学的な道具がどのように役立つのかを説明するように心がけている。

### －医学部医学科推薦－

**半田 寛（はんだ ひろし）：医学部附属病院 血液内科 講師**

#### 1. 受賞授業名

ブロック3 造血器・血液疾患

#### 2. 授業の概要

医学部4年生に対する、臨床実習前の臓器・領域別講義の一部。医師となるために最低限必要な知識を習得させることを目的としている。赤血球、白血球、血小板、血漿などの血液成分の人体における機能、発生などについて講義したのち、これらの異常によって引き起こされる白血病やリンパ腫、出血性疾患などの造血器疾患の発症機序、治療法などについて疾患別に講義をする。

#### 3. 授業で特に工夫をしている点

血液成分は体表からは見えず、見るためには顕微鏡や各種検査を必要とする臓器であるため、イメージがわきにくいとされている。そのため、講義で使用するスライドには図や写真を多くして、可能な限りイメージしやすく理解しやすくするための工夫をしている。

同時に配布する授業の資料はスライドに準拠させており、学生が復習するときに授業内容を想起しやすくし、役立つようにしている。必要な内容に絞り、特に重要なポイントについては言葉を繰り返すことによって記憶に定着させるようにしている。授業後あるいは授業の間に授業内容に関する（授業を聞いていれば分かる程度の）適度な小テストを行い（テスト内容はスライドにだけ提示）、授業後に解答を回収することを最初に宣告することによって、双方向とまではいえないが授業への参加意識を持たせることにより、集中させる工夫をしている。

#### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

授業中はスライドの方を向くのではなく、なるべく学生の方を向いて、できれば視線を一人一人に合わせて話すようにしている。ゆっくりと大きな声でしゃべるようにしている。

#### 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

正直言ってよくわかりません。とにかく分かりやすく、記憶に残る授業をしようと心がけています。授業中に寝られてしまうような授業をしないようにとも思っています。寝られると講義している私も愉快ではないし、学生にも無意味な時間になってしまうので。また医学部4年生はこのブロック講義の後に実技試験を行って病棟臨床実習に出るので、目的意識も高いと思います。その目的意識を喚起する言葉を入れるようにしていたことも理由かもしれません。

### －医学部保健学科推薦－

**山崎 恒夫（やまざき つねお）：保健学研究科 リハビリテーション学講座 教授**

#### 1. 受賞授業名

生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、神経内科学Ⅰ・Ⅱ、心と脳の健康管理（教養）など

#### 2. 授業の概要

生理学Ⅰ・Ⅱは理学・作業療法学専攻の1年生に対して行う通年の必修授業です。生命の成り立ちと人体の機能を学ぶ国家試験の出題科目であり、解剖学と並ぶ医学の基礎科目です。授業は私1人で担当しています。

生理学実習は理学・作業療法学専攻の2年生前期に行われるもので、少人数のグループに分かれて電気生理学検査を実際に体験します。

神経内科学Ⅰ・Ⅱは理学・作業療法学専攻の2年後期・3年前期に行う必修科目です。国家試験の出題科目であり、リハビリの対象として重要な神経疾患の病態を講義します。2名の教員での分担講義です。

#### 3. 授業で特に工夫をしている点

講義の対象が低学年ですので、スライドはあえて使わず、高校の授業との違和感を少なくするように努めています。そのために、授業内容をまとめたプリント（A3一枚）を毎回配布し、図が豊富な教科書を指定しています。過去の国試問題で出題されている項目については、「ここがポイント」だと特に強調し、学生の注意を喚起するようにしています。

#### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

“学生に恥をかかせない”“自信を失わせない”ことに留意しているつもりです。例えば、私の担当科目の理解には、高校の理科の知識が必須です。しかし、カリキュラムの関係で、生物や物理を勉強していない学生や、学習していても十分理解していない学生もいます。そ

ここで、“知っている”ことを前提に話しを進めることはせずに、あえて中学・高校の理科レベルから説明を開始して、なるべく多くの学生に“理解できる喜び”を知ってもらう努力をしているつもりです。

## 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

正直なところよくわかりません。なるべく学生との距離を近づける努力を感じてくれたのかもしれない。

### ー工学部推薦ー

**中沢 信明**（なかざわ のぶあき）：理工学府 知能機械創製部門 准教授

#### 1. 受賞授業名

生産システム設計

#### 2. 授業の概要

ものづくりには欠かせない機械要素とメカトロ要素に関する授業を行っています。特に、家電製品や自動車、産業機器やロボットなどを智能化するために必要不可欠な部品要素であるセンサについては、自身の著書を使って詳細に解説を行っています。なお、学部2年次前期の講義のため、センサで利用されている「ニュートン力学」や「材料力学」、「熱力学」、「電磁気学」などの内容にも触れて、“他の科目との関連性”を意識した講義を展開しています。

#### 3. 授業で特に工夫をしている点

講義では、予め用意したプリントを配布し、しゃべった内容やスクリーンに映し出した内容を記入させ、終了時に回収して、学生の理解度をチェックしています。プリントには「問い」が記載されていて、例えば“〇〇効果と何か”など、漠然としたものとなっています。これは、“話を聞きながら、頭の中で整理する”ということに慣れてもらう狙いがあります。同時に、講義への集中力を高める効果もあると思われます。

#### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

“学生の反応を見ながら進める”ということを意識しています。私自身、学生時代、板書の早い先生の講義は、ノートをとるのに手一杯で、理解もままならなかった経験があります。その一方で、余裕を持ってノートをとることができた講義については、授業中に内容をよく理解できたように記憶しています。この経験を活かし、学生のメモ書きの様子や理解の様子を見ながら、授業を進めるように心がけています。また、常に“飽きさせない講義”を意識しており、現在注目されている研究内容や参加した学会での情報も積極的に講義の中に盛り込んでいます。

#### 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

「親しみやすさ」を意識して講義が、評価に繋がったのかもしれないと思っています。私たちの生活で身近に感じるものに関連付けすることで、多少なりとも親しみが湧いてきて、これが興味に変わっていくのだと思います。また、講義内容も自分の研究内容に関係しているため、参加した学会の話や企業との共同研究、海外出張での出来事、そして失敗談など、いろいろと話すことができたのもよかったのだと思います。



## 天羽 雅昭（あもう まさあき）：理工学府 理工学基礎部門 教授

### 1. 受賞授業名

学生が履修した全ての科目が対象授業である。主な担当科目として、ベクトル解析、微分方程式演習、複素解析（以上、学部）および代数学特論Ⅰ（大学院）がある。

### 2. 授業の概要

#### ○ ベクトル解析

ベクトルの基本から始めて、勾配・発散・回転などの微分概念および線積分・面積分などの積分概念について詳しく解説してから、それらを総合してガウスの発散定理・ストークスの定理などの基本定理を定式化する。さらに、基本定理の物理への応用について述べる。

#### ○ 微分方程式演習

常微分方程式の解法を中心にして、講義と演習を行う。主に、変数分離形・同次形・1階線形・完全形などの1階方程式および高階線形方程式を扱い、ラプラス変換を用いる方法も含めて、出来るだけ多くの解法を紹介する。

#### ○ 複素解析

複素数の基本から始めて、複素微分の概念とその性質（コーシー・リーマンの関係式など）および複素積分の概念とその性質（コーシーの積分定理・積分公式など）について詳述した後、留数解析への応用について解説する。

#### ○ 代数学特論Ⅰ

単位円および双曲線の群構造について述べてから、実数体上の楕円曲線を導入し、その群構造について解説する。さらに、有限体を含むその他の体上での楕円曲線について概説し、暗号理論への応用を紹介する。

### 3. 授業で特に工夫をしている点

学生が教科の内容についてはっきりしたイメージを描き、具体的な問題が解けるようになることを手助けするために、以下のようなことに注意しています：1）主要な定義の導入を丁寧に行い、それに引き続く定理を明確に定式化する；2）証明は、定理の真偽性を確認するためというより、その内容をよりよく理解するための手段と考え、本質的なアイデアを伝えることに重点を置く。それにより、学生が定理を「機械的に覚える」ことがないよう心掛けている；3）具体的な例題を、時間の許す限りできるだけ多く扱う。その際、易しいものから難しいものへと段階を踏み、無理なく理解できるよう考慮している；4）講義の中で演習の時間を設けるようにしているが、それができないときにも適切な宿題を出し、次回の講義の最初に詳しく解説するようにしている。

また、数学の面白さ・数学的に考えることの面白さを伝えたいと常に思っているので、この定理のどこが面白いのか、この考え方のどこが数学的なのか、といったことを折に触れて話すようにしています。

### 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

こちらにとっては慣れ親しんだ教科でも、学生にとっては初めて接する内容であることを忘れないようにしています。そのために、何度も教えた教科でも、担当する度に授業の組み立てや説明の仕方を検討し直し、学生の新鮮な勉学意欲に答えられるよう準備しています。実際、検討し直すことで新たな発見もあり、そのことが、授業をする側としてもモチベーションを向上させることにつながっています。

学生の「理解したい欲求」こそが、授業を推進するエネルギー源なので、それを最大限に生かしたいと思っています。従って、いかなる質問であれ、学生からの質問は大切にし



ています。質問に答えること、さらに言えば、質問を元に学生と一緒に考えることは楽しい行為であり、それを通じてお互いのステップアップを目指したいと考えています。

## 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

項目4と5で述べたことがある程度うまく機能し、その結果分かりやすい授業として評価されたのでしょうか。その他に、院試受験者も含め、研究室に質問しに来た学生に対しては、担当している授業・担当していない授業の区別なく、その都度丁寧に接していることも、評価に影響を与えているかも知れません。

# 飛田 成史 (とびた せいじ) : 理工学府 分子科学部門 教授

## 1. 受賞授業名

物理化学 III, 構造化学

## 2. 授業の概要

「物理化学 III」の講義では、まず量子力学の基礎的概念について歴史的な形成過程も含めて解説し、原子や分子の構造を理解するために必要な量子化学的方法を教授している。これによって物質の電子構造や反応性を理解するために必要な概念を習得させている。「構造化学」の講義では、分子構造論と分子分光法について講義している。前半の分子構造論では、化学結合に関する理論的取扱い法として分子軌道法を中心に解説し、後半の分子分光法では分子の構造を実験的に求める方法として回転分光法、振動分光法、電子分光法について解説している。

## 3. 授業で特に工夫をしている点

毎回、講義の冒頭に前回の講義のポイントをまとめて板書し、今日の講義との関連を示してから話を始めている。この際、最初のまとめについては、できるだけ英語のみで板書し、専門英語に親しめるよう配慮している。また、15回の講義全体の内容を意識しながら、各講義の位置づけを示すようにしている。

講義の終わりに出席カードを配布し、その日の講義に関する質問、感想などを記入させて、学生が理解できなかったところ、躓きやすいところを確認し、次回の講義の中で主な質問事項に答えるようにしている。これによって、一方的になりがちな大人数の講義においても、双方向的なコミュニケーションができるよう工夫している。

## 4. 授業で学生に接する場合に留意している点

毎回の講義で①声は大きく明瞭に、②板書はきれいに体系化して、③講義のポイントを明確に、④15回の講義全体のストーリーを常に念頭に、の4カ条に留意している。①、②はテクニカルな面、③、④は講義内容に関する部分だが、この4つのことを常に意識して講義に臨んでいる。物理化学は化学系の学生にとって内容が難解な分野ではあるが、新しい材料の開発、生命現象の理解、さらに環境科学など様々な分野の基礎をなす重要な分野であることを伝えるとともに、物理化学を学ぶことによって自然の素晴らしさに関する理解が深まることを、自分自身の感動とともに伝えることにも心掛けている。また、法則や規則の発見に至る過程とその物理的意味を深く理解することに学問のおもしろさがあり、またその理解が将来新しい研究や開発を行おうとするときには力になることを教えるようにしている。

## 5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

特にこれといった優れた点があるとは思えないが、私なりの情熱をもって、できるだけわかりやすく教えようと努めているところを学生に評価してもらえたのかと思う。「物理化学Ⅲ」と「構造化学」で扱っている量子化学という分野は、学生がこれまで学んできた古典物理と考え方が根本的に異なるため、発想の転換をはかることに時間を掛けて取り組んでいる。その結果、新しい考え方の魅力と効用をある程度理解してもらえたのではないかと思う。

## ベストティーチャー賞受賞者のプロフィール

### 岩瀧 大樹 (いわたき だいじゅ) : 教育学部 附属学校教育臨床総合センター 講師

1974年生。2006年、立正大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻修士課程修了（心理学修士）。2009年、昭和女子大学大学院生活機構研究科生活機構学専攻博士後期課程単位取得満期退学。臨床心理士，学校心理士。専門は臨床心理学，教育心理学。近年は教育領域における認知行動療法を中心とした実践・研究に従事。大東文化大学・東洋学園大学非常勤講師，東京都公立学校スクールカウンセラーなどを経て2011年より現職。主な著書として『教育臨床と心理学―支える・学ぶ・教えるを科学する―』（単著。学文社）。

### サンプソン リチャード (さんぷそん りちゃーど) : 教育基盤センター 講師

南オーストラリア州アデレード出身。1998年 University of South Australia 教育学部卒業。1999年来日。2008年 University of Southern Queensland 修士課程（応用言語学）終了。2010年から Griffith University にて博士課程。博士論文の論題は「Classroom Application of the L2 Motivational Self System - A Complex Systems Theory Approach」（現在審査中）。

専門は応用言語学，特に第二言語学習者モチベーション理論。主な論文は，Sampson, R. J. (2012). The language-learning self, self-enhancement activities, and self perceptual change. Language Teaching Research, 16(3), 313-331; Sampson, R. J. (2011). Complexity theory, action research, and the study of EFL motivation. OnCue Journal, 5(1), 24-36 等。

群馬県立女子大学外国語教育研究所研究員，群馬工業高等専門学校専任講師・准教授を経て，2013年4月より群馬大学教育基盤センター専任講師。

### 小谷 英生 (こたに ひでお) : 教育学部 社会科教育講座 講師

1981年生まれ。2013年3月に一橋大学大学院社会学研究科を単位取得退学。2013年4月より現職。

### 小林 英樹 (こばやし ひでき) : 教育学部 国語教育講座 教授

1970年生まれ。1994年，大阪大学文学部日本学科（言語系）卒業。1999年，大阪大学大学院文学研究科博士課程（後期）日本学専攻単位取得退学。1999年，群馬大学教育学部講師。2002年，助教授（2007年から准教授），2012年，教授。博士（文学）。専門は，言語学（日本語）。著書として，『現代日本語の漢語動名詞の研究』（2004年，ひつじ書房）。

### 吉野 浩之 (よしの ひろゆき) : 教育学部 障害児教育学講座 准教授

1967年生まれ。1994年信州大学医学部卒，2008年東京大学 医学部博士課程 生殖・発達・加齢医学専攻卒，医学博士。小児外科，肝移植外科の臨床を経て，在宅医療，特に重症心身障害児の医療・生活・教育の支援などを中心とした活動を行い，2008年より現職。

専門は，障害児医学，小児在宅医療，地域医療連携，栄養療法（胃ろう等）。著書に「小

児在宅医療ナビ」(南山堂)など。日本静脈経腸栄養学会(学術評議員)、PEG・在宅医療研究会(幹事)、群馬県在宅医療支援診療所協議会(理事)、栄養療法ネットワーク・前橋(世話人)、館林特別支援学校や栃木特別支援学校の医療的ケア指導医など。

## **富山 慶典(とみやま よしのり)：社会情報学部 情報行動講座 教授**

1952年生まれ。【学歴】東京理科大学理工学部経営工学科卒業、同大学大学院理工学研究科修士課程・博士課程を経て、1988年東京工業大学工学博士。【職歴】1982年筑波大学文部技官、常磐大学専任講師・助教授を経て、1994年群馬大学助教授、1998年より群馬大学教授。【賞罰】1986年日本行動計量学会賞・優秀賞を受賞。

【専門】意思決定科学。特に、集合的意思決定論、e デモクラシー論。【主な業績】Simple Game, Voting Representation and Ordinal Power Equivalence. International Journal on Policy and Information, vol.11, No.1, 67-75, 1987(単著)。『選択の数理“個人的選択と社会的選択”』, 1998. 朝倉書店(共著)。

## **半田 寛(はんだ ひろし)：医学部附属病院 血液内科 講師**

1965年、群馬県前橋市生まれ。高崎市育ち。1990年 群馬大学医学部卒業。

1990年～1993年 群馬大学医学部附属病院第三内科および県内関連病院内科にて内科研修。1993年～1996年アメリカ合衆国シカゴ Rush University Cancer Institute 研究員。帰国後、血液内科医として病院勤務。2001年～2009年群馬大学医学部保健学科検査技術科学専攻助手。2010年～現職。

専門は血液内科学、血液検査学。

主な論文

Flow cytometric detection of human telomerase reverse transcriptase (hTERT) expression in a subpopulation of bone marrow cells. Leuk Res. 34:177-83, 2010

The effects of 13-cis retinoic acid and interferon-alpha in chronic myelogenous leukemia cells in vivo in patients. Leuk Res. 21:1087-96. 1997

Bcl-2 and c-myc expression, cell cycle kinetics and apoptosis during the progression of chronic myelogenous leukemia from diagnosis to blastic phase. Leuk Res. 21:479-89. 1997

DNMT3B7 expression related to MENT expression and its promoter methylation in human lymphomas. Leuk Res. [Epub ahead of print] 2013

Prevalence and clinical characteristics of myelodysplastic syndrome with bone marrow eosinophilia or basophilia. Blood. 101:3386-90. 2003

## **山崎 恒夫(やまざき つねお)：保健学研究科 リハビリテーション学講座 教授**

1957年、神奈川県川崎市生まれ。1983年群馬大学医学部医学科卒業、同年群馬大学医学部附属病院神経内科入局。1992年ハーバード大学医学部神経学教室博士研究員。1995年東京大学医学部神経病理学助手。2002年群馬大学医学部附属病院神経内科講師。2010年同准教授。2011年4月群馬大学大学院保健学研究科教授。

専門は神経内科学とくに認知症。約30年にわたって主としてアルツハイマー病の発症機構の病理学的・生化学的研究と診療をしてきました。様々な研究室を移動してきたなかで、

多くの方々から受けた“刺激”が私の人生の宝となりました。

## **中沢 信明（なかざわ のぶあき）：理工学府 知能機械創製部門 准教授**

1993年 富山大学工学部生産機械工学科卒業。1998年 東北大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻博士後期課程修了。博士（情報科学）。1998年 日本学術振興会特別研究員（東北大学）。1999年 群馬大学助手，2007年 准教授，現在に至る。専門は，ヒューマンインタフェース，人間の動作センシング，モデル化など。主に人間機械系分野に従事。著書として，「センサの基本と実用回路」（共著 コロナ社）。

## **天羽 雅昭（あもう まさあき）：理工学府 理工学基盤部門 教授**

### **【学 歴】**

- ・昭和 57 年 3 月 東京理科大学理学部数学科卒業
- ・昭和 59 年 3 月 北海道大学大学院理学研究科修士課程修了
- ・平成 2 年 3 月 東北大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学
- ・平成 3 年 2 月 理学博士（東北大学）

### **【職 歴】**

- ・昭和 60 年 10 月 一関高等専門学校非常勤講師
- ・昭和 63 年 4 月 日本学術振興会特別研究員
- ・平成 2 年 6 月 群馬大学教養部講師
- ・平成 5 年 10 月 群馬大学工学部講師
- ・平成 13 年 2 月 群馬大学工学部助教授
- ・平成 15 年 4 月 群馬大学大学院工学研究科准教授
- ・平成 21 年 4 月 群馬大学大学院工学研究科教授
- ・平成 25 年 4 月 群馬大学理工学研究院理工学基盤部門教授（現在に至る）

### **【主要な研究内容】**

- ・ディオファントス近似の観点からの超越数の分類
- ・測度論の観点からの超越数の性質
- ・ある種の関数方程式をみたす解析関数の特殊値の数論的性質

## **飛田 成史（とびた せいじ）：理工学府 分子科学部門 教授**

1956年，群馬県前橋市生まれ。1978年，群馬大学工学部高分子化学科卒業。1983年，東京工業大学大学院理工学研究科博士課程化学専攻修了（理学博士）。群馬工業高等専門学校講師，助教授。1990-1991年，パリ南大学，ベルリン自由大学博士研究員。1992年，群馬大学工学部助教授。その後，工学部教授，大学院工学研究科教授を経て2013年より現職。



## 平成 25 年度教養教育ベストティーチャーに よる公開授業開催について

平成 25 年度教養教育ベストティーチャー優秀賞を受賞された先生方の、公開授業を下記のとおり実施します。

各学部・研究科の教職員・学生の皆さんの参加を歓迎します。

### 記

| 教 員 名                        | 授 業 題 目        | 日 時                                     | 教 室            |
|------------------------------|----------------|-----------------------------------------|----------------|
| 岩瀧 大樹<br>(教育学部・講師)           | カウンセリング<br>心理学 | 10 月 1 日(水)3-4 時限<br>10 月 8 日(水)3-4 時限  | 教養教育棟<br>GB155 |
| サンプソン リチャード<br>(教育基盤センター・講師) | 総合英語1年         | 10 月 6 日(月)3-4 時限<br>10 月 27 日(月)3-4 時限 | 教養教育棟<br>GC303 |

※ 教室の入口に受付を用意しますので、受付名簿に記載の上、入室してください。

主催：教育基盤センター

授業評価質問票 [学びのリテラシー (1)]

この授業評価の結果が、あなたの成績に影響することは全くありません。授業を受けて感じたことをそのまま回答してください。各質問に対する答えを選択肢から選び、□の中にV印を付してください。

A. あなたの所属学部等についてお尋ねします。

- ☐ 1 教育学部  
☐ 2 社会情報学部  
☐ 医学部 ( ☐ 3 医学科 ☐ 4 保健学科 )  
☐ 5 理工学部

B. あなたが本年度受講した「学びのリテラシー (1)」の授業についてお尋ねします。

|                                      | あてはまる                    | ややあてはまる                  | あまりあてはまらない               | あてはまらない                  |
|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                                      | 1                        | 2                        | 3                        | 4                        |
| (1) この授業によって論理的思考力を身につけることができた。      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) この授業によってコミュニケーション能力を身につけることができた。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) この授業によって日本語の能力を高めることができた。        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) この授業で情報収集や引用の方法について学ぶことができた。     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (6) この授業で大学での学習方法を修得できた。             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (7) 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (8) 教室での討論は活発であった。                   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (9) 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (10) 宿題（課題）の内容や量は適切であった。             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (11) クラスの人数は適切であった。                  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (12) 学部の専門教育を学ぶために必要な授業内容であった。       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (13) 自分はこの授業に積極的に取り組んだ。              | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (14) シラバスの記述は適切なものであった。              | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

C. その他、学びのリテラシー (1) に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

ご協力ありがとうございました。

## 授業評価質問票 [学びのリテラシー (2)]

この授業評価の結果が、あなたの成績に影響することは全くありません。授業を受けて感じたことをそのまま回答してください。各質問に対する答えを選択肢から選び、□の中に✓印を付してください。

A. あなたの所属学部等についてお尋ねします。

- ☐ 1 教育学部  
☐ 2 社会情報学部  
☐ 医学部 ( ☐ 3 医学科      ☐ 4 保健学科 )  
☐ 5 理工学部

B. あなたが今学期受講した「学びのリテラシー (2)」の授業についてお尋ねします。

|                                             | あてはまる                    | ややあてはまる                  | あてはまらない                  | あてはまらない                  |
|---------------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                                             | 1                        | 2                        | 3                        | 4                        |
| (1) この授業は学びのリテラシー (2) の趣旨にそった形態〈ゼミナール〉であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。              | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) 教室での討論は活発であった。                          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (6) この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。              | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (7) 出欠管理、成績評価基準など教員の学生との対応は適切であった。          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (8) 希望した科目を選ぶことができた。                        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (9) クラスの人数は適切であった。                          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (10) 教室の環境は適切であった。                          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

C. その他、学びのリテラシー (2) の授業に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

ご協力ありがとうございました。

以下のアンケートは、平成25年度の教養教育科目を履修した皆さんの、教養教育に対する評価や希望などを知り、今後の改善に活かすために実施するものです。  
ご協力くださいますようお願いします。

教育基盤センター  
教育推進部会

「教 養 教 育」アンケート（25年度）

以下の質問項目について、回答の選択肢の中から該当する番号を選び、右の回答欄に記入ください。

回 答 欄

〔1〕 所属学部

1. 教育学部    2. 社会情報学部    3. 医学部医学科    4. 医学部保健学科  
5. 理工学部

1

〔2〕 教養教育のカリキュラム(授業科目のメニュー、時間割、授業内容)について  
どう感じましたか。

1. とてもよかった                  2. まあよかった                  3. どちらともいえない  
4. あまりいいとはいえない    5. わるい

2

〔3〕 教養教育における教員の授業の教え方について、全体的にみてどう感じましたか。

1. とてもよかった                  2. まあよかった                  3. どちらともいえない  
4. あまりいいとはいえない    5. わるい

3

〔4〕 事務窓口（学生センター）の対応についてはどう感じましたか。

1. とてもよかった                  2. まあよかった                  3. どちらともいえない  
4. あまりいいとはいえない    5. わるい

4

〔5〕 事務窓口（各学部）の対応についてはどう感じましたか。

1. とてもよかった                  2. まあよかった                  3. どちらともいえない  
4. あまりいいとはいえない    5. わるい

5

〔6〕 学生支援体制についてはどう感じましたか。

1. とてもよかった                  2. まあよかった                  3. どちらともいえない  
4. あまりいいとはいえない    5. わるい

6

〔7〕 授業を選択するときに、シラバスはよく利用しましたか。

1. 授業の内容や進度の確認などに学期中何度も見た  
2. 履修届を提出するときなどには参考にした  
3. ほとんど見なかった。  
4. 一度も見なかった。

7

裏面につづく

〔8〕 入学時に配付した教養教育の「授業案内」「履修手引」等は役立ちましたか。

1. 大変役に立った    2. 少し役に立った    3. どちらともいえない  
4. あまり役に立たなかった    5. 役に立たなかった

8

〔9〕 総合的に考えて、本学の教養教育に満足していますか。

1. 大変満足している    2. 少し満足している    3. どちらともいえない  
4. あまり満足していない    5. 満足していない

9

**本学の教養教育は、大きく分けて次の〔10〕－〔22〕のような授業科目および学部別科目に分かれます。〔10〕－〔22〕のそれぞれについて、履修してみてどう思いましたか。選択肢を次の5つの中から選び、該当する番号を各項目の右の回答欄に記入してください。**

1. とてもよかった    2. まあよかった    3. どちらともいえない  
4. あまり意味がなかった    5. ほとんど意味がなかった

〔10〕 学びのリテラシー（1）

10

〔11〕 学びのリテラシー（2）

11

〔12〕 英語

12

〔13〕 スポーツ・健康

13

〔14〕 情報

14

〔15〕 就業力（理工学部、社会情報学部）

15

〔16〕 人文科学科目群

16

〔17〕 社会科学科目群

17

〔18〕 自然科学科目群

18

〔19〕 健康科学科目群

19

〔20〕 外国語教養科目群（履修者のみ回答）

20

〔21〕 総合科目群

21

〔22〕 学部別科目（医学部、理工学部）

22

〔23〕 本学の教養教育について希望、意見がありましたら、以下に記述ください。また、「ほとんど意味がなかった」などの回答をされた場合、その理由も記述ください。



## 平成25年度前期授業評価（学びのリテラシー(1)）集計表

| 区 分           | 対象者数  | 提出者数  | 回収率(%) |
|---------------|-------|-------|--------|
| 教 育 学 部       | 237   | 222   | 93.7   |
| 社 会 情 報 学 部   | 104   | 94    | 90.4   |
| 医 学 部 医 学 科   | 109   | 104   | 95.4   |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 166   | 150   | 90.4   |
| 理 工 学 部       | 540   | 488   | 90.4   |
| 合 計           | 1,156 | 1,058 | 91.5   |

質問1. この授業によって論理的思考力を身につけることができた。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 92  | 41.4 | 112 | 50.5 | 16  | 7.2  | 2   | 0.9 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 14  | 14.9 | 65  | 69.1 | 14  | 14.9 | 1   | 1.1 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 2   | 1.9 | 32  | 30.8 | 50  | 48.1 | 16  | 15.4 | 4   | 3.8 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 15  | 10.0 | 89  | 59.3 | 41  | 27.3 | 5   | 3.3 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 105 | 21.5 | 306 | 62.7 | 63  | 12.9 | 14  | 2.9 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 2   | 0.2 | 258 | 24.4 | 622 | 58.8 | 150 | 14.2 | 26  | 2.5 | 1,058 | 100.0 |

質問2. この授業によってコミュニケーション能力を身につけることができた。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 79  | 35.6 | 99  | 44.6 | 36  | 16.2 | 8   | 3.6 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 12  | 12.8 | 45  | 47.9 | 35  | 37.2 | 2   | 2.1 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 2   | 1.9 | 28  | 26.9 | 38  | 36.5 | 27  | 26.0 | 9   | 8.7 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 17  | 11.3 | 79  | 52.7 | 46  | 30.7 | 8   | 5.3 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 79  | 16.2 | 259 | 53.1 | 120 | 24.6 | 30  | 6.1 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 2   | 0.2 | 215 | 20.3 | 520 | 49.1 | 264 | 25.0 | 57  | 5.4 | 1,058 | 100.0 |

質問3. この授業によって日本語の能力を高めることができた。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 65  | 29.3 | 115 | 51.8 | 37  | 16.7 | 5   | 2.3 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 14  | 14.9 | 51  | 54.3 | 24  | 25.5 | 5   | 5.3 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 1   | 1.0 | 30  | 28.8 | 58  | 55.8 | 12  | 11.5 | 3   | 2.9 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 22  | 14.7 | 84  | 56.0 | 40  | 26.7 | 4   | 2.7 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 117 | 24.0 | 286 | 58.6 | 77  | 15.8 | 8   | 1.6 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 1   | 0.1 | 248 | 23.4 | 594 | 56.1 | 190 | 18.0 | 25  | 2.4 | 1,058 | 100.0 |

質問4. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 120 | 54.1 | 97  | 43.7 | 4   | 1.8  | 1   | 0.5 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 34  | 36.2 | 49  | 52.1 | 11  | 11.7 | 0   | 0.0 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 1   | 1.0 | 61  | 58.7 | 37  | 35.6 | 2   | 1.9  | 3   | 2.9 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 1   | 0.7 | 49  | 32.7 | 83  | 55.3 | 17  | 11.3 | 0   | 0.0 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 198 | 40.6 | 247 | 50.6 | 38  | 7.8  | 5   | 1.0 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 2   | 0.2 | 462 | 43.7 | 513 | 48.5 | 72  | 6.8  | 9   | 0.9 | 1,058 | 100.0 |

質問5. この授業で情報収集や引用の方法について学ぶことができた。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 1   | 0.5 | 116 | 52.3 | 87  | 39.2 | 12  | 5.4  | 6   | 2.7 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 29  | 30.9 | 53  | 56.4 | 11  | 11.7 | 1   | 1.1 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 1   | 1.0 | 60  | 57.7 | 35  | 33.7 | 7   | 6.7  | 1   | 1.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 56  | 37.3 | 65  | 43.3 | 27  | 18.0 | 2   | 1.3 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 183 | 37.5 | 230 | 47.1 | 69  | 14.1 | 6   | 1.2 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 2   | 0.2 | 444 | 42.0 | 470 | 44.4 | 126 | 11.9 | 16  | 1.5 | 1,058 | 100.0 |

質問6. この授業で大学での学習方法を修得できた。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 62  | 27.9 | 105 | 47.3 | 45  | 20.3 | 10  | 4.5 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 1   | 1.1 | 7   | 7.4  | 58  | 61.7 | 27  | 28.7 | 1   | 1.1 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 2   | 1.9 | 28  | 26.9 | 42  | 40.4 | 26  | 25.0 | 6   | 5.8 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 19  | 12.7 | 64  | 42.7 | 53  | 35.3 | 14  | 9.3 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 1   | 0.2 | 83  | 17.0 | 243 | 49.8 | 141 | 28.9 | 20  | 4.1 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 4   | 0.4 | 199 | 18.8 | 512 | 48.4 | 292 | 27.6 | 51  | 4.8 | 1,058 | 100.0 |

質問7. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 79  | 35.6 | 107 | 48.2 | 31  | 14.0 | 5   | 2.3 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 13  | 13.8 | 48  | 51.1 | 27  | 28.7 | 6   | 6.4 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 1   | 1.0 | 24  | 23.1 | 45  | 43.3 | 30  | 28.8 | 4   | 3.8 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 15  | 10.0 | 72  | 48.0 | 50  | 33.3 | 13  | 8.7 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 1   | 0.2 | 95  | 19.5 | 246 | 50.4 | 125 | 25.6 | 21  | 4.3 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 2   | 0.2 | 226 | 21.4 | 518 | 49.0 | 263 | 24.9 | 49  | 4.6 | 1,058 | 100.0 |

質問8. 教室での討論は活発であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 93  | 41.9 | 101 | 45.5 | 25  | 11.3 | 3   | 1.4 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 9   | 9.6  | 34  | 36.2 | 45  | 47.9 | 6   | 6.4 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 1   | 1.0 | 23  | 22.1 | 41  | 39.4 | 34  | 32.7 | 5   | 4.8 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 12  | 8.0  | 82  | 54.7 | 48  | 32.0 | 8   | 5.3 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 2   | 0.4 | 53  | 10.9 | 225 | 46.1 | 172 | 35.2 | 36  | 7.4 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 3   | 0.3 | 190 | 18.0 | 483 | 45.7 | 324 | 30.6 | 58  | 5.5 | 1,058 | 100.0 |

質問9. 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 2   | 0.9 | 111 | 50.0 | 86  | 38.7 | 22  | 9.9  | 1   | 0.5 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 1   | 1.1 | 13  | 13.8 | 50  | 53.2 | 25  | 26.6 | 5   | 5.3 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 1   | 1.0 | 32  | 30.8 | 39  | 37.5 | 31  | 29.8 | 1   | 1.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 41  | 27.3 | 75  | 50.0 | 30  | 20.0 | 4   | 2.7 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 1   | 0.2 | 100 | 20.5 | 232 | 47.5 | 127 | 26.0 | 28  | 5.7 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 5   | 0.5 | 297 | 28.1 | 482 | 45.6 | 235 | 22.2 | 39  | 3.7 | 1,058 | 100.0 |

質問10. 宿題(課題)の内容や量は適切であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |      | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 3   | 1.4 | 90  | 40.5 | 93  | 41.9 | 31  | 14.0 | 5   | 2.3  | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 26  | 27.7 | 41  | 43.6 | 21  | 22.3 | 6   | 6.4  | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 1   | 1.0 | 21  | 20.2 | 25  | 24.0 | 33  | 31.7 | 24  | 23.1 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 23  | 15.3 | 75  | 50.0 | 44  | 29.3 | 8   | 5.3  | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 3   | 0.6 | 130 | 26.6 | 262 | 53.7 | 83  | 17.0 | 10  | 2.0  | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 7   | 0.7 | 290 | 27.4 | 496 | 46.9 | 212 | 20.0 | 53  | 5.0  | 1,058 | 100.0 |

質問11. クラスの人数は適切であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 151 | 68.0 | 69  | 31.1 | 2   | 0.9  | 0   | 0.0 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 46  | 48.9 | 42  | 44.7 | 6   | 6.4  | 0   | 0.0 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 2   | 1.9 | 36  | 34.6 | 47  | 45.2 | 17  | 16.3 | 2   | 1.9 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 64  | 42.7 | 73  | 48.7 | 11  | 7.3  | 2   | 1.3 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 2   | 0.4 | 165 | 33.8 | 273 | 55.9 | 44  | 9.0  | 4   | 0.8 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 4   | 0.4 | 462 | 43.7 | 504 | 47.6 | 80  | 7.6  | 8   | 0.8 | 1,058 | 100.0 |

質問12. 学部 of 専門教育を学ぶために必要な授業内容であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |      | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 98  | 44.1 | 90  | 40.5 | 26  | 11.7 | 8   | 3.6  | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 20  | 21.3 | 40  | 42.6 | 33  | 35.1 | 1   | 1.1  | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 2   | 1.9 | 25  | 24.0 | 51  | 49.0 | 21  | 20.2 | 5   | 4.8  | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 22  | 14.7 | 47  | 31.3 | 62  | 41.3 | 19  | 12.7 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 1   | 0.2 | 128 | 26.2 | 239 | 49.0 | 103 | 21.1 | 17  | 3.5  | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 3   | 0.3 | 293 | 27.7 | 467 | 44.1 | 245 | 23.2 | 50  | 4.7  | 1,058 | 100.0 |



質問13. 自分はこの授業に積極的に取り組んだ。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 109 | 49.1 | 93  | 41.9 | 20  | 9.0  | 0   | 0.0 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 20  | 21.3 | 55  | 58.5 | 19  | 20.2 | 0   | 0.0 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 2   | 1.9 | 37  | 35.6 | 51  | 49.0 | 12  | 11.5 | 2   | 1.9 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 34  | 22.7 | 82  | 54.7 | 30  | 20.0 | 4   | 2.7 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 2   | 0.4 | 114 | 23.4 | 282 | 57.8 | 82  | 16.8 | 8   | 1.6 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 4   | 0.4 | 314 | 29.7 | 563 | 53.2 | 163 | 15.4 | 14  | 1.3 | 1,058 | 100.0 |

質問14. シラバスの記述は適切なものであった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 3   | 1.4 | 73  | 32.9 | 129 | 58.1 | 16  | 7.2  | 1   | 0.5 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 1   | 1.1 | 13  | 13.8 | 70  | 74.5 | 9   | 9.6  | 1   | 1.1 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 2   | 1.9 | 27  | 26.0 | 62  | 59.6 | 11  | 10.6 | 2   | 1.9 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 27  | 18.0 | 96  | 64.0 | 23  | 15.3 | 4   | 2.7 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 9   | 1.8 | 88  | 18.0 | 333 | 68.2 | 54  | 11.1 | 4   | 0.8 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 15  | 1.4 | 228 | 21.6 | 690 | 65.2 | 113 | 10.7 | 12  | 1.1 | 1,058 | 100.0 |

【その他自由記述欄】

| 区 分           | 記入有り「1」 |      | 記入なし「0」 |      | 合 計   |       |
|---------------|---------|------|---------|------|-------|-------|
|               | 人数      | %    | 人数      | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 50      | 22.5 | 172     | 77.5 | 222   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 16      | 17.0 | 78      | 83.0 | 94    | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 32      | 30.8 | 72      | 69.2 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 26      | 17.3 | 124     | 82.7 | 150   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 74      | 15.2 | 414     | 84.8 | 488   | 100.0 |
| 全 体           | 198     | 18.7 | 860     | 81.3 | 1,058 | 100.0 |

## 平成25年度後期授業評価（学びのリテラシー (2)）集計表

| 区 分           | 対象者数  | 提出者数  | 回収率(%) |
|---------------|-------|-------|--------|
| 教 育 学 部       | 235   | 206   | 87.7   |
| 社 会 情 報 学 部   | 105   | 104   | 99.0   |
| 医 学 部 医 学 科   | 106   | 90    | 84.9   |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 166   | 140   | 84.3   |
| 理 工 学 部       | 535   | 479   | 89.5   |
| 合 計           | 1,147 | 1,019 | 88.8   |

質問1. この授業は学びのリテラシー(2)の趣旨にそった形態(ゼミナール)であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |     | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 1   | 0.5 | 151 | 73.3 | 48  | 23.3 | 6   | 2.9 | 0   | 0.0 | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 72  | 69.2 | 28  | 26.9 | 4   | 3.8 | 0   | 0.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 0   | 0.0 | 62  | 68.9 | 27  | 30.0 | 1   | 1.1 | 0   | 0.0 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 84  | 60.0 | 49  | 35.0 | 7   | 5.0 | 0   | 0.0 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 306 | 63.9 | 145 | 30.3 | 20  | 4.2 | 8   | 1.7 | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 1   | 0.1 | 675 | 66.2 | 297 | 29.1 | 38  | 3.7 | 8   | 0.8 | 1,019 | 100.0 |

質問2. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 124 | 60.2 | 70  | 34.0 | 11  | 5.3  | 1   | 0.5 | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 60  | 57.7 | 30  | 28.8 | 13  | 12.5 | 1   | 1.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 0   | 0.0 | 50  | 55.6 | 32  | 35.6 | 7   | 7.8  | 1   | 1.1 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 58  | 41.4 | 66  | 47.1 | 13  | 9.3  | 3   | 2.1 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 242 | 50.5 | 183 | 38.2 | 49  | 10.2 | 5   | 1.0 | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 0   | 0.0 | 534 | 52.4 | 381 | 37.4 | 93  | 9.1  | 11  | 1.1 | 1,019 | 100.0 |

質問3. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |     | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 1   | 0.5 | 126 | 61.2 | 68  | 33.0 | 11  | 5.3 | 0   | 0.0 | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 58  | 55.8 | 40  | 38.5 | 6   | 5.8 | 0   | 0.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 0   | 0.0 | 58  | 64.4 | 28  | 31.1 | 3   | 3.3 | 1   | 1.1 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 1   | 0.7 | 67  | 47.9 | 65  | 46.4 | 6   | 4.3 | 1   | 0.7 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 2   | 0.4 | 237 | 49.5 | 211 | 44.1 | 25  | 5.2 | 4   | 0.8 | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 4   | 0.4 | 546 | 53.6 | 412 | 40.4 | 51  | 5.0 | 6   | 0.6 | 1,019 | 100.0 |

質問4. 教室での討論は活発であった。

| 区 分         | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |      | 合 計   |       |
|-------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-------|-------|
|             | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部     | 0   | 0.0 | 77  | 37.4 | 78  | 37.9 | 42  | 20.4 | 9   | 4.4  | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0   | 0.0 | 41  | 39.4 | 35  | 33.7 | 21  | 20.2 | 7   | 6.7  | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0   | 0.0 | 31  | 34.4 | 27  | 30.0 | 22  | 24.4 | 10  | 11.1 | 90    | 100.0 |
| 医学部保健学科     | 1   | 0.7 | 33  | 23.6 | 31  | 22.1 | 55  | 39.3 | 20  | 14.3 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部     | 2   | 0.4 | 168 | 35.1 | 175 | 36.5 | 104 | 21.7 | 30  | 6.3  | 479   | 100.0 |
| 全 体         | 3   | 0.3 | 350 | 34.3 | 346 | 34.0 | 244 | 23.9 | 76  | 7.5  | 1,019 | 100.0 |

質問5. 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。

| 区 分         | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |      | 合 計   |       |
|-------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-------|-------|
|             | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部     | 0   | 0.0 | 107 | 51.9 | 60  | 29.1 | 36  | 17.5 | 3   | 1.5  | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0   | 0.0 | 50  | 48.1 | 24  | 23.1 | 23  | 22.1 | 7   | 6.7  | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0   | 0.0 | 44  | 48.9 | 24  | 26.7 | 15  | 16.7 | 7   | 7.8  | 90    | 100.0 |
| 医学部保健学科     | 0   | 0.0 | 46  | 32.9 | 39  | 27.9 | 40  | 28.6 | 15  | 10.7 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部     | 1   | 0.2 | 215 | 44.9 | 162 | 33.8 | 89  | 18.6 | 12  | 2.5  | 479   | 100.0 |
| 全 体         | 1   | 0.1 | 462 | 45.3 | 309 | 30.3 | 203 | 19.9 | 44  | 4.3  | 1,019 | 100.0 |

質問6. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。

| 区 分         | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |      | 合 計   |       |
|-------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-------|-------|
|             | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部     | 3   | 1.5 | 82  | 39.8 | 74  | 35.9 | 40  | 19.4 | 7   | 3.4  | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0   | 0.0 | 33  | 31.7 | 45  | 43.3 | 19  | 18.3 | 7   | 6.7  | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0   | 0.0 | 27  | 30.0 | 37  | 41.1 | 18  | 20.0 | 8   | 8.9  | 90    | 100.0 |
| 医学部保健学科     | 0   | 0.0 | 26  | 18.6 | 63  | 45.0 | 32  | 22.9 | 19  | 13.6 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部     | 3   | 0.6 | 155 | 32.4 | 190 | 39.7 | 98  | 20.5 | 33  | 6.9  | 479   | 100.0 |
| 全 体         | 6   | 0.6 | 323 | 31.7 | 409 | 40.1 | 207 | 20.3 | 74  | 7.3  | 1,019 | 100.0 |

質問7. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生との対応は適切であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |     | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 127 | 61.7 | 67  | 32.5 | 11  | 5.3 | 1   | 0.5 | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 57  | 54.8 | 44  | 42.3 | 3   | 2.9 | 0   | 0.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 0   | 0.0 | 61  | 67.8 | 25  | 27.8 | 4   | 4.4 | 0   | 0.0 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 76  | 54.3 | 57  | 40.7 | 7   | 5.0 | 0   | 0.0 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 1   | 0.2 | 248 | 51.8 | 198 | 41.3 | 30  | 6.3 | 2   | 0.4 | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 1   | 0.1 | 569 | 55.8 | 391 | 38.4 | 55  | 5.4 | 3   | 0.3 | 1,019 | 100.0 |

質問8. 希望した科目を選ぶことができた。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |      | 「4」 |      | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 1   | 0.5 | 140 | 68.0 | 41  | 19.9 | 17  | 8.3  | 7   | 3.4  | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 65  | 62.5 | 28  | 26.9 | 8   | 7.7  | 3   | 2.9  | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 0   | 0.0 | 49  | 54.4 | 22  | 24.4 | 9   | 10.0 | 10  | 11.1 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 82  | 58.6 | 37  | 26.4 | 14  | 10.0 | 7   | 5.0  | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 1   | 0.2 | 268 | 55.9 | 132 | 27.6 | 52  | 10.9 | 26  | 5.4  | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 2   | 0.2 | 604 | 59.3 | 260 | 25.5 | 100 | 9.8  | 53  | 5.2  | 1,019 | 100.0 |

質問9. クラスの人数は適切であった。

| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |     | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 153 | 74.3 | 48  | 23.3 | 5   | 2.4 | 0   | 0.0 | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 77  | 74.0 | 26  | 25.0 | 1   | 1.0 | 0   | 0.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 0   | 0.0 | 62  | 68.9 | 22  | 24.4 | 4   | 4.4 | 2   | 2.2 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 100 | 71.4 | 35  | 25.0 | 2   | 1.4 | 3   | 2.1 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 325 | 67.8 | 135 | 28.2 | 14  | 2.9 | 5   | 1.0 | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 0   | 0.0 | 717 | 70.4 | 266 | 26.1 | 26  | 2.6 | 10  | 1.0 | 1,019 | 100.0 |



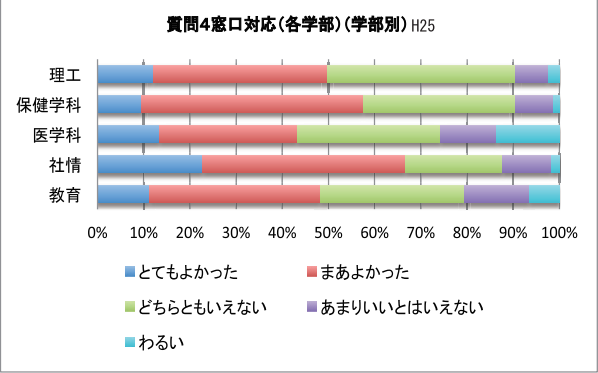
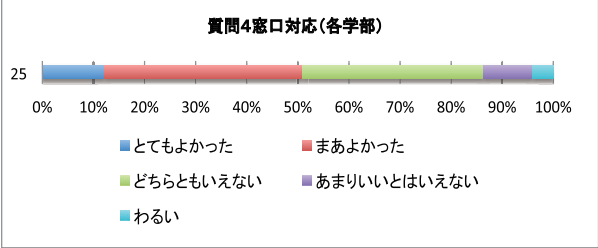
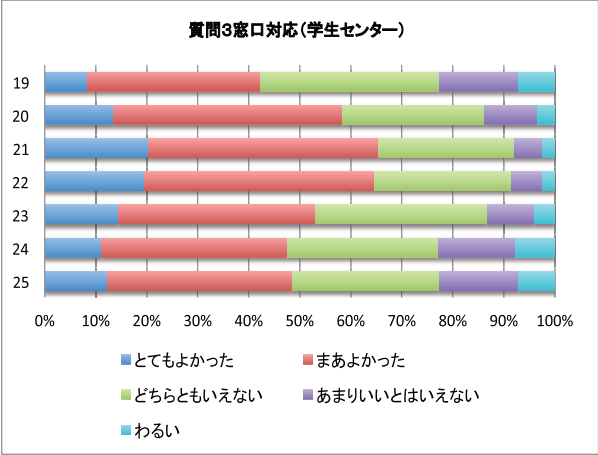
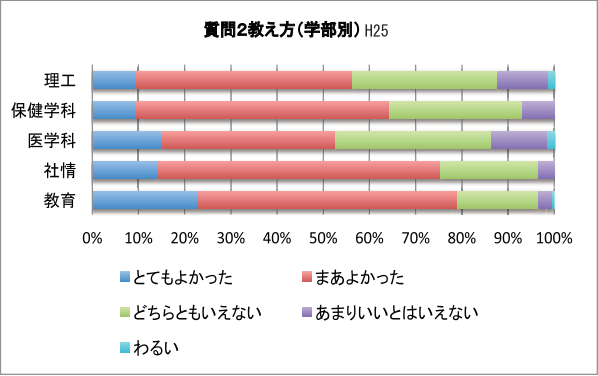
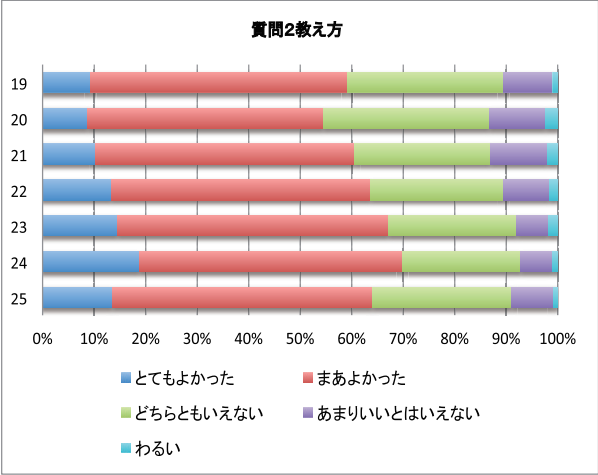
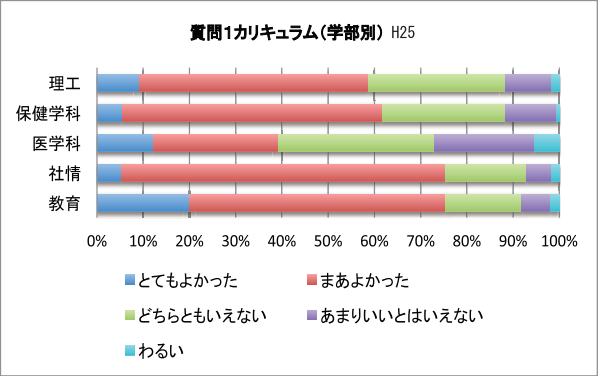
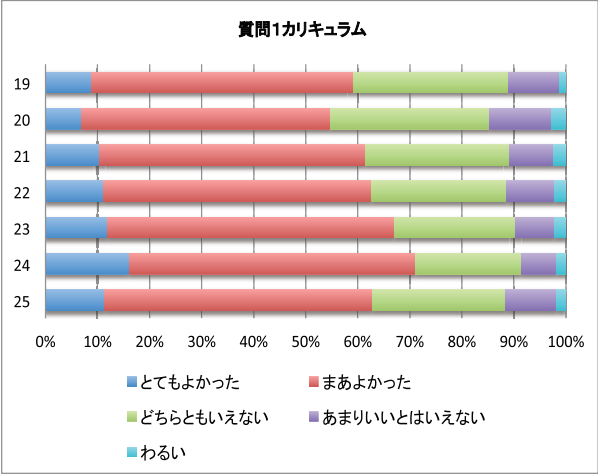
質問10. 教室の環境は適切であった。

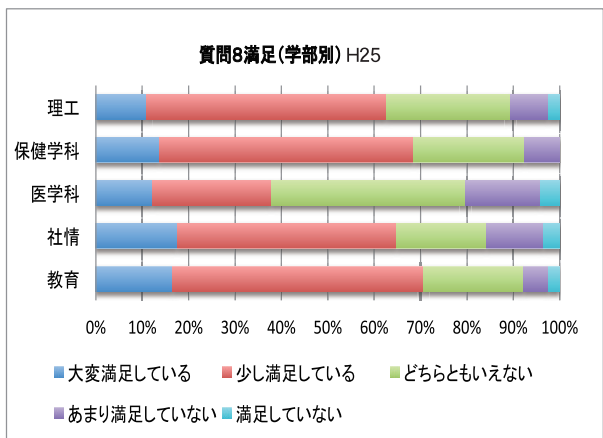
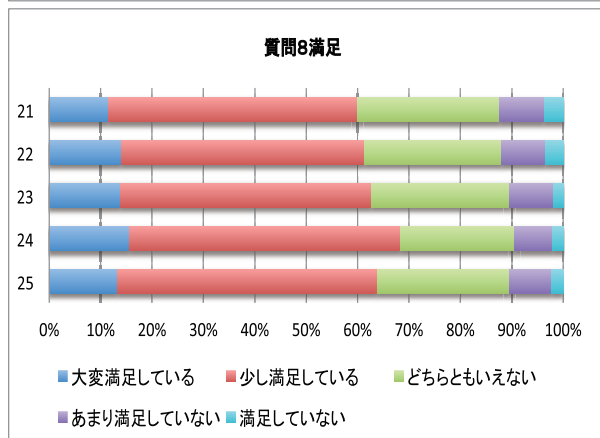
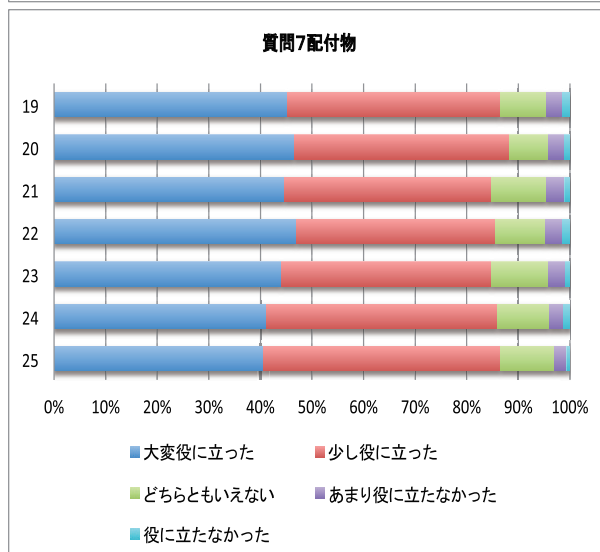
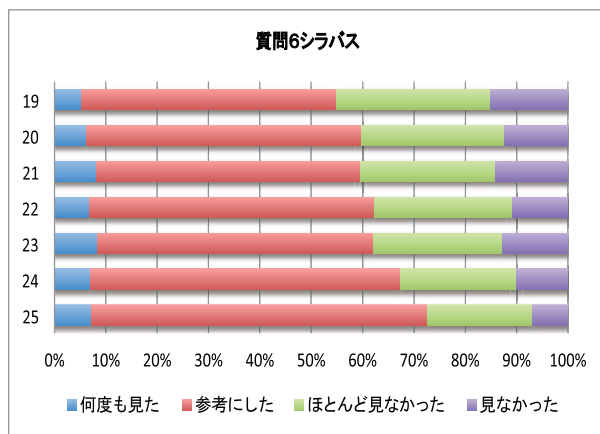
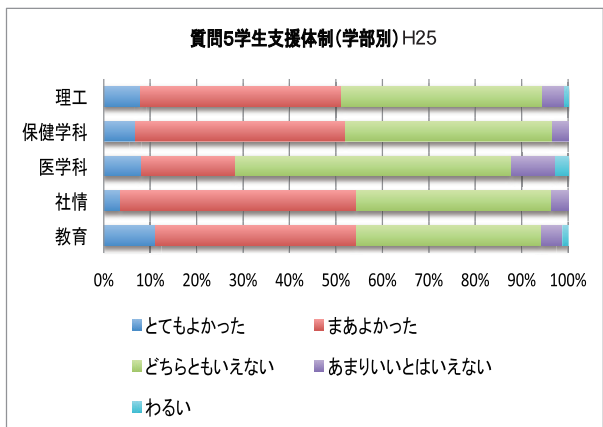
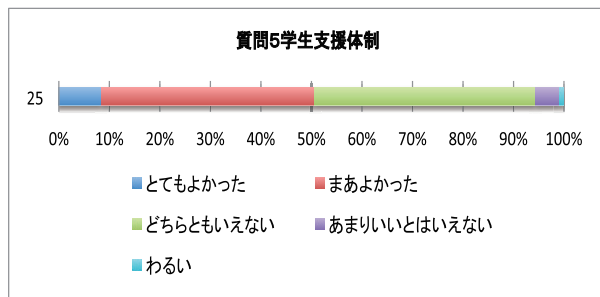
| 区 分           | 無回答 |     | 「1」 |      | 「2」 |      | 「3」 |     | 「4」 |     | 合 計   |       |
|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
|               | 人数  | %   | 人数  | %    | 人数  | %    | 人数  | %   | 人数  | %   | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 0   | 0.0 | 141 | 68.4 | 58  | 28.2 | 6   | 2.9 | 1   | 0.5 | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 0   | 0.0 | 72  | 69.2 | 29  | 27.9 | 3   | 2.9 | 0   | 0.0 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 0   | 0.0 | 66  | 73.3 | 21  | 23.3 | 3   | 3.3 | 0   | 0.0 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0   | 0.0 | 91  | 65.0 | 40  | 28.6 | 6   | 4.3 | 3   | 2.1 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 0   | 0.0 | 300 | 62.6 | 146 | 30.5 | 25  | 5.2 | 8   | 1.7 | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 0   | 0.0 | 670 | 65.8 | 294 | 28.9 | 43  | 4.2 | 12  | 1.2 | 1,019 | 100.0 |

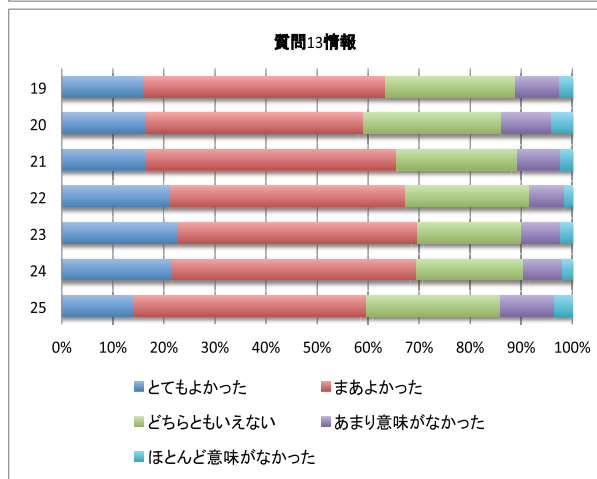
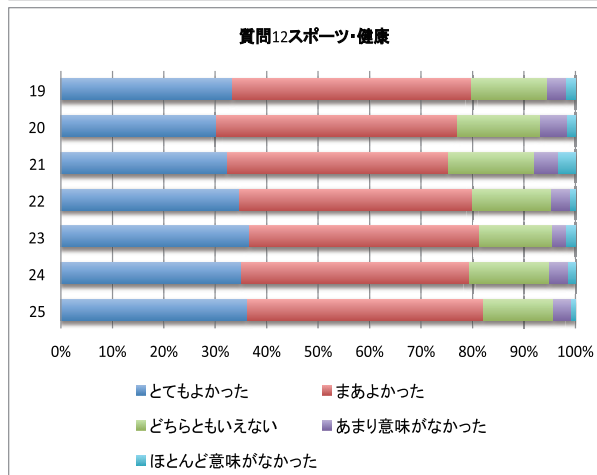
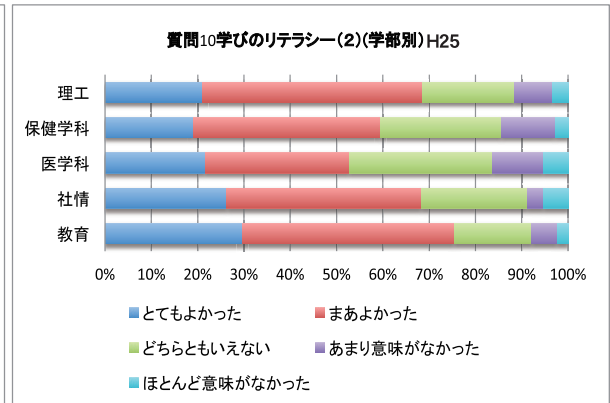
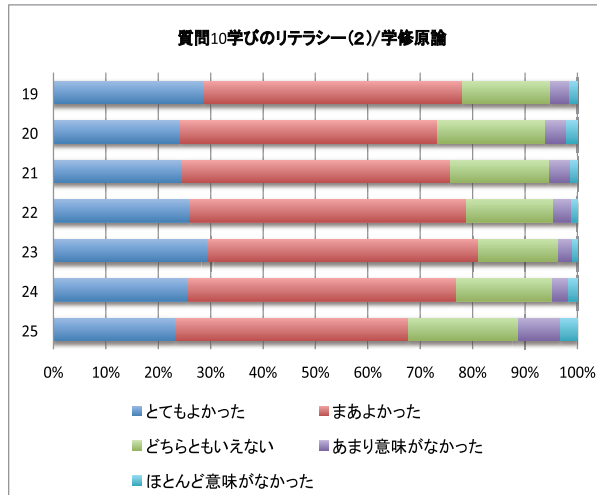
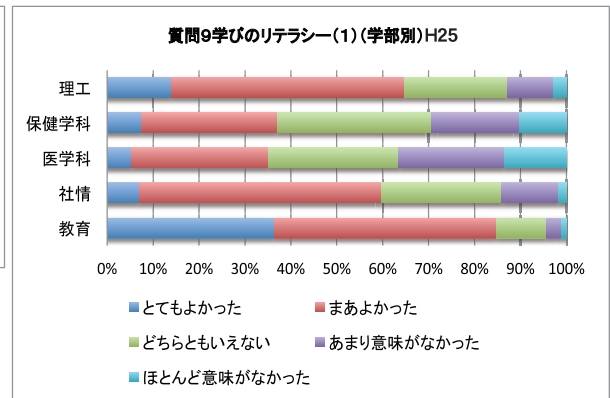
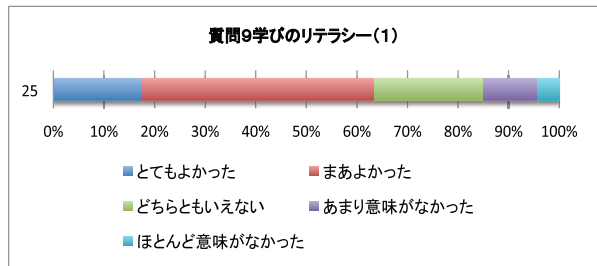
【その他自由記述欄】

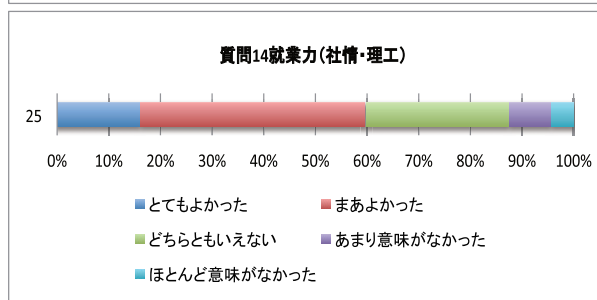
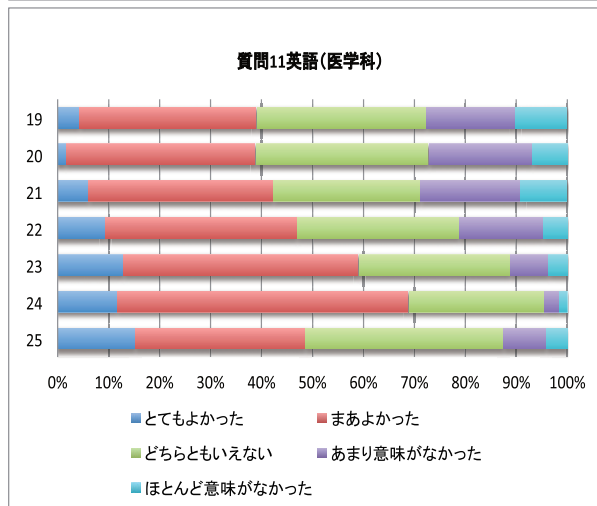
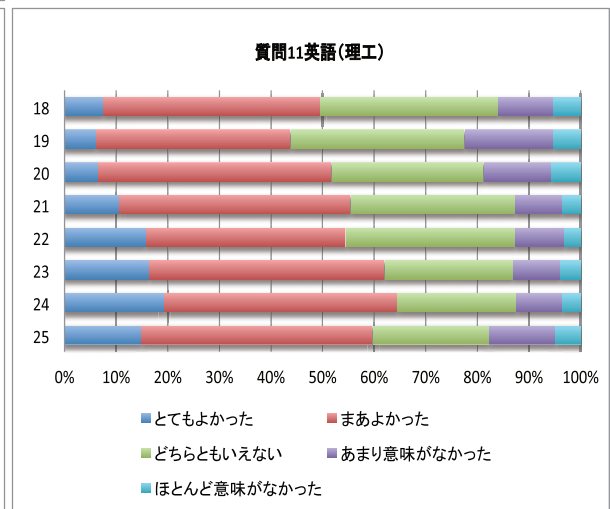
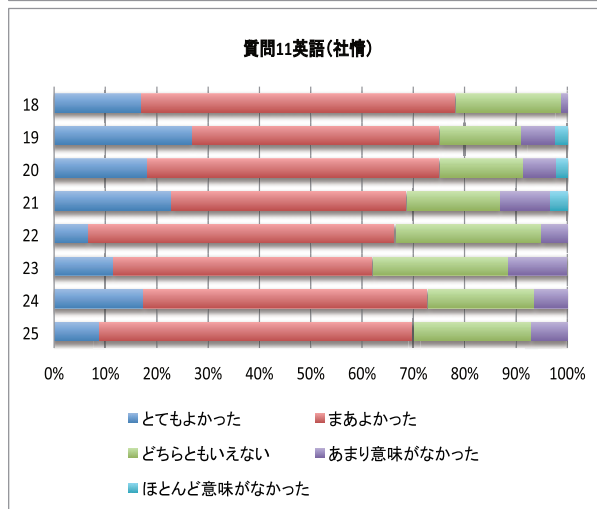
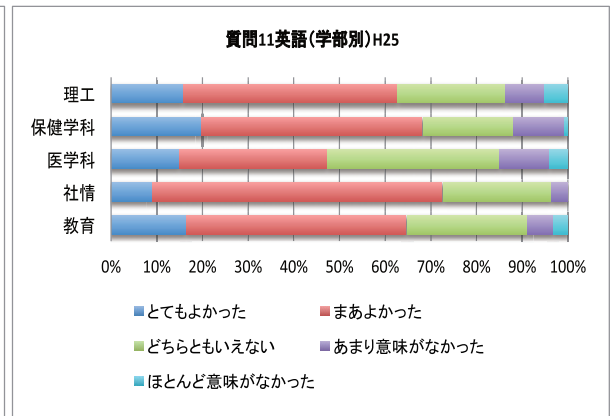
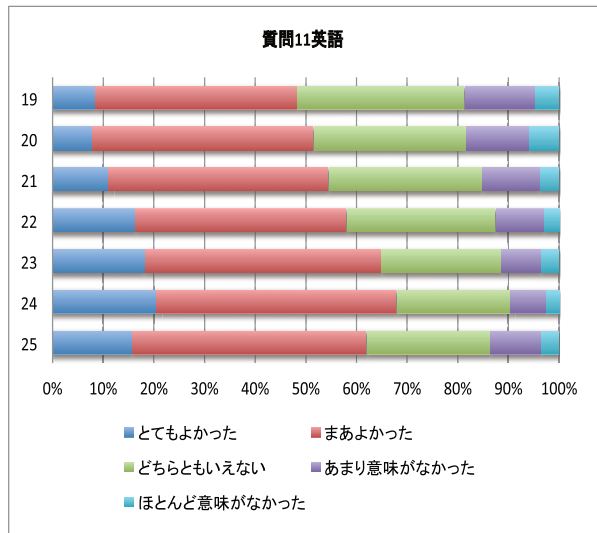
| 区 分           | 記入有り「1」 |      | 記入なし「0」 |      | 合 計   |       |
|---------------|---------|------|---------|------|-------|-------|
|               | 人数      | %    | 人数      | %    | 人数    | %     |
| 教 育 学 部       | 49      | 23.8 | 157     | 76.2 | 206   | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部   | 35      | 33.7 | 69      | 66.3 | 104   | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科   | 40      | 44.4 | 50      | 55.6 | 90    | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 39      | 27.9 | 101     | 72.1 | 140   | 100.0 |
| 理 工 学 部       | 116     | 24.2 | 363     | 75.8 | 479   | 100.0 |
| 全 体           | 279     | 27.4 | 740     | 72.6 | 1,019 | 100.0 |

# 教養教育アンケート経年一覧

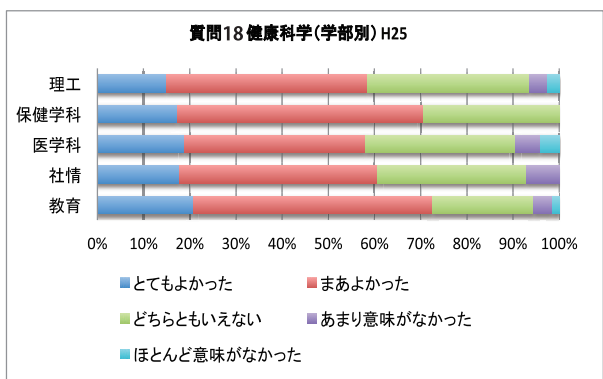
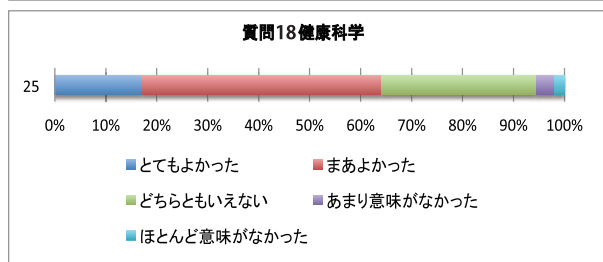
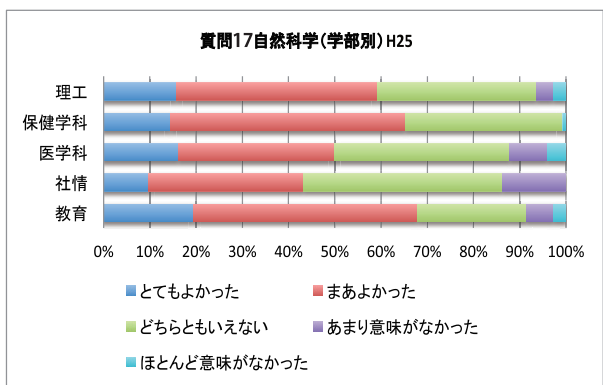
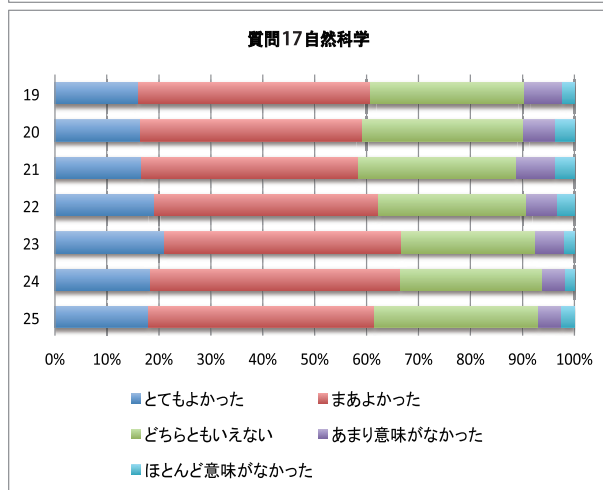
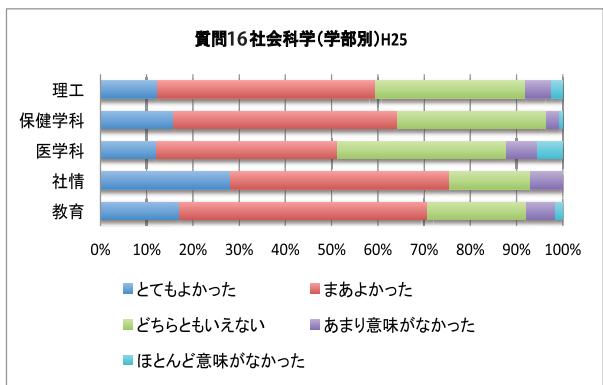
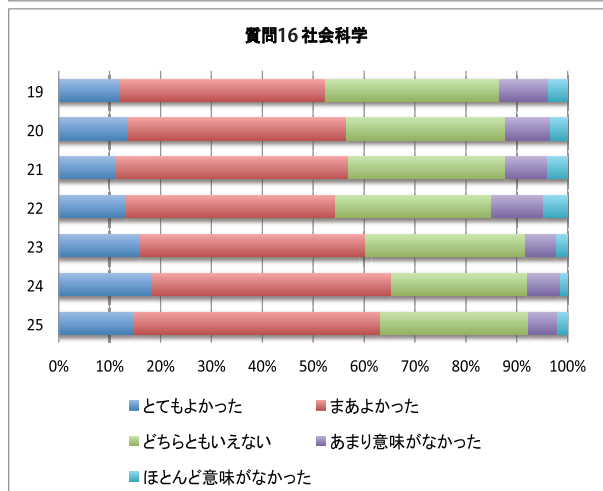
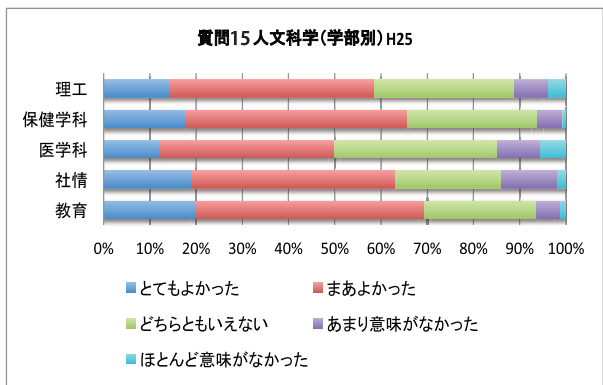
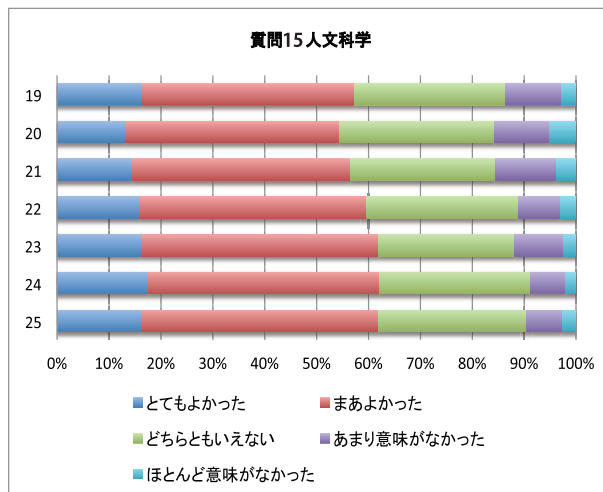


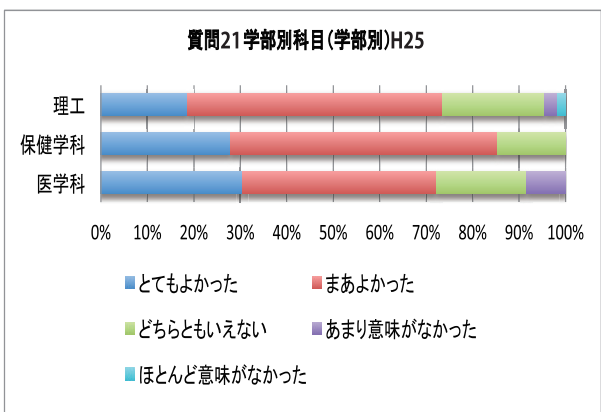
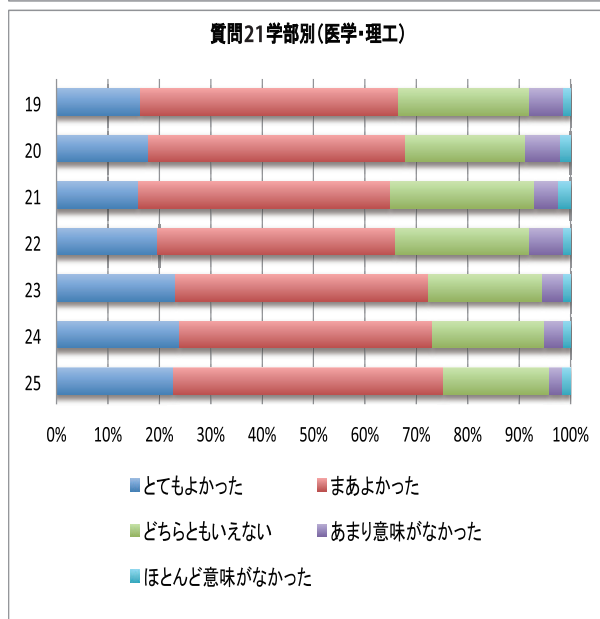
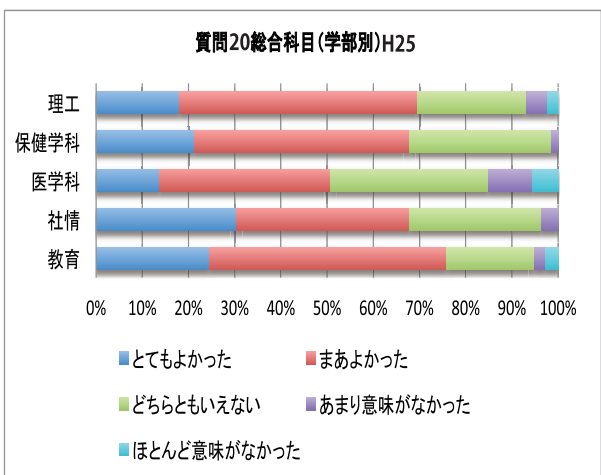
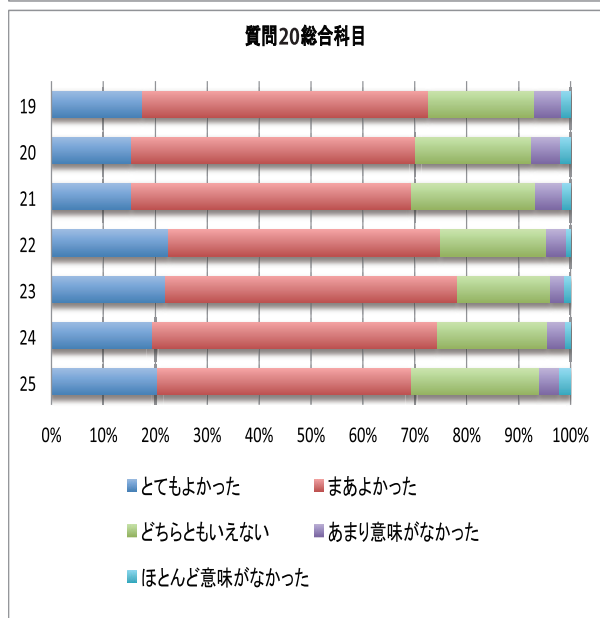
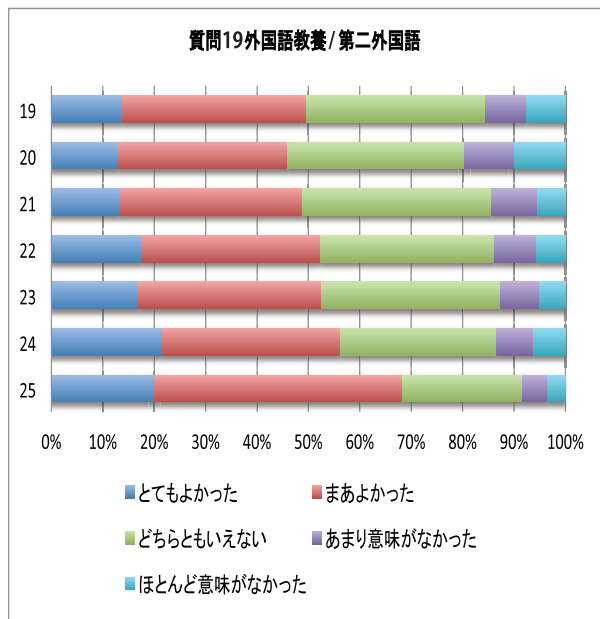












## 2 学生支援センター

学生支援センターは、学生生活及び就職活動に対する支援、修学に係る相談等を行っている。運営に当たり委員会を置き、各学部等から委員が選出されている。審議内容等は、学生相談、生活支援及び就職支援等である。当該支援業務の事務は、学生支援課が各学部の学生支援担当係と連携を図り行っている。平成25年度の主な支援等の事項は、次のとおりである。

### 2.1 入学科免除及び徴収猶予

入学科について、学部生においては、特別な事情（学資負担者が1年以内に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、また、大学院生、専攻科生においては、経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる場合又は特別な事情により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、免除を行っている。

#### 2.1.1 免除申請者数、免除許可者数

平成25年度入学科免除申請者数、免除許可者数は、次のとおりである（詳細は資料のとおり）。

4月1日入学：免除申請者数 125人、免除許可者数 52人

10月1日入学：免除申請者数 7人、免除許可者数 7人

#### 2.1.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予許可者数

平成25年度入学科徴収猶予申請者数、徴収猶予許可者数は、次のとおりである（詳細は資料のとおり）。

4月1日入学：徴収猶予申請者数 39人、徴収猶予許可者数 36人

10月1日入学：徴収猶予申請者数 1人、徴収猶予許可者数 1人

### 2.2 授業料免除及び徴収猶予

経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる学生又は特別な事情（学資負担者が納入期限の6ヶ月以内（入学者については、入学前1年以内。）に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、又は学部生及び大学院（修士課程、博士前期課程及び専門職学位課程）に在籍する、成績が特に優秀な学生を対象として、免除を行っている。

#### 2.2.1 免除申請者数、免除許可者数

平成25年度授業料免除申請者数、免除許可者数は、次のとおりである（詳細は資料のとおり）。

前期：免除申請者数 877人、免除許可者数 751人

後期：免除申請者数 880人、免除許可者数 795人

#### 2.2.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予許可者数

平成25年度授業料徴収猶予申請者、徴収猶予許可者数は、次のとおりである（詳細は資料のとおり）。

料のとおり)。

前期：徴収猶予申請者数 2 人，徴収猶予許可者数 1 人

後期：徴収猶予申請者はいなかった。

## 2.3 寄宿料免除

本学では，学生本人又は学資負担者が風水害等の災害を受け，納入が著しく困難と認められる場合，免除を行っている。

### 2.3.1 免除申請者数，免除許可者数

平成 25 年度寄宿料免除申請者はいなかった。

## 2.4 奨学金

本学では，日本学生支援機構の奨学金と地方公共団体や民間奨学団体から本学に募集依頼のあった奨学金を扱っている。これらの奨学金は，いずれも学業・人物ともに優秀であり，かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められた者が対象となる。

なお，日本学生支援機構の奨学金には，無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金があり，いずれも貸与終了後には，返還が必要となる。

### 2.4.1 日本学生支援機構奨学生数（平成 25 年 10 月 1 日現在）

第一種：学部生 879 人，大学院生 280 人

第二種：学部生 1,203 人，大学院生 73 人

（詳細は資料のとおり：「学部生」には，専攻科生を含む。）

### 2.4.2 日本学生支援機構以外の奨学生数（平成 25 年 10 月 1 日現在）

学部生 25 人，大学院生 3 人

（「学部生」には，専攻科生を含む。）

## 2.5 学生相談体制及び学生相談

本学は，次のような学生相談体制を設け，学生の個人的な問題や悩みごとについての相談に応じている。

### 2.5.1 学生相談体制

全学の学生を対象に荒牧キャンパスに学生相談室を，また，理工学部の学生を対象に桐生キャンパスに学生相談室分室を設けて相談に応じている。

### 2.5.2 主な相談事項

主な相談事項は，勉学・進路，メンタルヘルス，クラブ・サークル活動，経済的事情・アルバイト，友人（男女）関係についてなどである。

### 2.5.3 学生相談アンケートの実施及び活用

平成 25 年 12 月に講師以上の全教員に対して，平成 25 年 4 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの間に学生から相談のあった内容や各教員の対応について「学生相談アンケート」を実施し，回収率は 57.4%であった。

なお，各教員が個々の相談事例にどのように対処したのかの内容を報告書にまとめ，全教

員に配付し学生指導に活用している。

## 2.6 授業欠席状況調査

欠席状況調査は、授業への受講状況を通して本学学生の学業意欲を調査し、精神面の障害や不健康状態にある者を早期に発見して、面談等により本人へ適切な指導を与えることを目的としている。

### 2.6.1 授業欠席者数及び主な欠席理由

平成 25 年度前期欠席者数：43 名（詳細は資料のとおり）

主な欠席理由：早朝に授業があるため寝坊、アルバイト、進路の迷い、身体的病気怪我等

平成 25 年度後期欠席者数：58 名（詳細は資料のとおり）

主な欠席理由：早朝に授業があるため寝坊、アルバイト、精神的な悩み、身体的病気怪我等

### 2.6.2 実施方法、時期

#### 1) 実施方法

- ・実施時期は、5 月（前期）と 11 月（後期）の年 2 回を実施基準月とする。
- ・調査対象は、卒業研究に着手（研究室に所属）しない学部全学生とする。
- ・調査科目は、各学部が指定した科目とする。  
ただし、1 年次は、学部の依頼により教育基盤センターが指定した授業科目とする。
- ・調査方法は、調査科目について連続 4 回の出欠チェックを行う。
- ・集計作業は、各学部担当事務（1 年次生は学務部）が行う。
- ・4 回のチェックのうち 3 回（理工学部は 2 回）以上欠席した者をクラス担任別に集計する。
- ・クラス担任別集計に基づき面接対象一覧と個人ごとの面接票を作成する。
- ・面接票には学籍番号、所属、氏名、住所、電話番号等を記載する。
- ・学部長名（1 年次生は学生相談・生活部会長名）で面接対象一覧と面接票を添えて、クラス担任等に対して欠席者の事情聴取を期限内に終了するよう依頼する。

#### 2) クラス担任による欠席者の事情聴取

- ・調査方法は、クラス担任等が対象者を呼び出し、直接面談により欠席理由等を聴取する。
- ・面談により適切な指導を行い、かつ、精神科医の面談の可否を判断し、その内容を面接票に記載して、その都度学部長（1 年次生は学務部）に提出する。

#### 3) 医師による欠席者との面談

クラス担任等から学部長（1 年次生は学務部）に提出された面接票を健康支援総合センター医師に回付し、医師が指導の必要があると判断した欠席者と面談を行い、必要なカウンセリング等を行う。

## 2.7 障害学生への支援

障害のある学生がその能力並びに障害の種別及び程度に応じ、十分な教育を受け、学生生活を送ることができるよう、大学教育・学生支援機構学生支援センターの中に、障害学生支援室を設置している。

### 2.7.1 障害学生数

平成 25 年度に障害のある学生は、聴覚障害者 7 名、肢体不自由者 3 名、内部障害者 1 名、発達障害者 2 名の合計 13 名が在籍している。

### 2.7.2 支援内容

群馬大学障害学生修学支援実施要項に基づく修学支援の必要な学生には、障害の種別及び程度に応じた支援の配慮願いを授業担当教員へ文書で行っている。聴覚障害学生には、1授業につき必要に応じてFM補聴器の貸し出しや、パソコンテイクによる支援と手話通訳による支援を行い、肢体不自由学生には、車椅子の対応や低身長のため踏み台を窓口、トイレ等に設置し、教室では本人持参の簡易踏み台を使用している。また、内部障害学生には、講義中のトイレ退席に配慮し、また、発達障害学生には、履修相談や説明には文書と会話を併用するなどの支援をしている。

## 2.8 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課，学校行事，学校施設内外における課外活動，学校施設内，通学，学校施設等相互間の移動時に係る全ての傷害に対して補償を行う保険である。

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課，学校行事，インターンシップ，介護等体験活動，教育実習，ボランティア活動等及びその移動時に，他人にけがを負わせたり，他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険である。

本学では，教育研究の円滑な実施のために，入学の際に当該保険に全員が加入することを勧めている。

### 2.8.1 加入者数

平成25年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入者数は，資料のとおりである。

### 2.8.2 請求種別保険金請求件数

平成25年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の請求種別保険金請求件数は，資料のとおりである。

## 2.9 通学証明書，旅客運賃割引証

通学証明書は，学生がJR，私鉄，バス等の通学定期券を購入する際に必要となる証明書である。

学生旅客運賃割引証は，学生の修学上の経済的負担軽減と学校教育の振興に寄与することを目的としている制度で，片道乗車区間の距離100kmを超える区間を乗車する際に使用することができる。

通学証明書及び学生旅客運賃割引証発行業務については，荒牧地区，昭和地区，桐生地区及び太田地区で証明書自動発行機にて行っている。

### 2.9.1 発行枚数及び主な発行理由

平成25年度の通学証明書及び学生旅客運賃割引証の発行枚数等は，資料のとおりである。



## 2.10 学生寮

本学には、前橋地区に養心寮、桐生地区に啓真寮の2寮がある。

学生寮は、学生が修学にふさわしい環境において勉学を継続するための住居施設として設けられている。

### 2.10.1 養心寮入寮者数

平成25年度の養心寮入寮者数（定員は男子77人、女子62人、合計139人、寄宿料月額4,300円）は、年間1,540人で年間入居率は94.4%である。なお、男子部屋数は77室であるが、入居不可室が3室あるため、74室を定員とした。

### 2.10.2 啓真寮入寮者数

平成25年度の啓真寮入寮者数（定員は男子のみで102名、寄宿料月額5,900円）は、年間481人で年間入居率は39.3%である。

## 2.11 生活支援施設

本学では、学生生活の利便性を確保し、経済面の支援を図るために荒牧地区、昭和地区及び桐生地区にそれぞれ食堂・売店等を設けており、群馬大学生生活協同組合に委託している。

食堂では食事及び懇親会等を、売店では、書籍、日用品、旅行斡旋等を市価より安く提供している。

### 2.11.1 食堂

| 事項・地区   | 荒牧地区                       | 昭和地区                    | 桐生地区                                            |
|---------|----------------------------|-------------------------|-------------------------------------------------|
| 座席数     | 447席<br>(ホール内405席,外42席)    | 286席<br>(ホール内264席,外22席) | 558席<br>(ホール内438席,外20席,<br>桐園100席)              |
| 営業時間    | 11:00～14:00<br>17:30～19:30 | 11:00～14:00             | 11:00～14:00<br>17:30～19:00<br>桐園<br>11:00～14:00 |
| 年間営業日数  | 247日                       | 240日                    | 240日                                            |
| 年間利用者数  | 131,122人                   | 50,622人                 | 146,075人                                        |
| 提供メニュー数 | 50以上                       | 30以上                    | 60以上                                            |

### 2.11.2 売店

| 事項・地区  | 荒牧地区       | 昭和地区       | 桐生地区       |
|--------|------------|------------|------------|
| 営業時間   | 9:30～18:00 | 8:30～18:00 | 9:30～18:00 |
| 年間営業日数 | 242日       | 240日       | 240日       |
| 年間利用者数 | 185,798人   | 143,961人   | 186,522人   |

## 2.12 課外活動施設

本学には、荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに各種の課外活動施設があり、体育の授業の他、学生の利用に供している。その主な施設については、次のような施設仕様、使用等状況である。

### 2.12.1 体育施設

#### ・荒牧キャンパス

##### 陸上競技場

陸上競技場は、400メートルトラックである。陸上競技部が主として使用している。

また、トラック内のインフィールドも、やり投げ等の陸上種目の他、多目的な軽スポーツ実施の場として使用している。

##### サッカー・ラグビー場

サッカー・ラグビー場は、サッカー又はラグビーの公式試合が可能な面積を持っており、サッカー、ラグビー及びフットサル用のゴールが設置してある。なお、サッカー・ラグビー場には、夜間照明も設置してある。サッカー部、ラグビー部、アメリカンフットボール部及びフットサルサークルが主として使用している。

##### テニスコート

テニスコートは、硬式専用コート3面、軟式専用コート3面（いずれもクレーコート）、全天候型コート2面（オムニコート）、両用コート1面（クレーコート（ゴルフ練習施設併設））の9コートがあり、硬式テニス部やソフトテニス部が主として使用している。

なお、オムニコートは夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあるため、人気が非常に高い。その反面、人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

##### 野球場

野球場は、天然芝で、夜間照明も設置してある。準硬式野球部、硬式野球部、軟式野球サークルアウィル及び医学部準硬式野球部が主に使用している。

##### プール

プールは、50メートル8コースで、6月～8月に使用している。水泳部が主として使用している。

#### 第1体育館

第1体育館は、主としてバレーボール、バスケットボールなどにより使用し、それぞれ2面使用可能である。バレーボール部、バスケットボール部が主として使用している。

#### 第2体育館

第2体育館は、主としてバドミントン、卓球、体操競技、ダンスなどにより使用している。なお、ダンス用の広い面積の鏡や、体操での安全確保用のウレタンを敷き詰めたピットも設けている。バドミントン部、卓球部、体操部、ダンス部が主として使用している。なお、第1体育館、第2体育館の間にトレーニングルームが併設されている。

##### 武道場

武道場は、剣道用の床面が1面、柔道用の畳面が1面の計2面があり、各種武道で使用する。

る他、畳面にレスリング用マットを敷き詰めてレスリングをすることも可能である。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部、レスリング部が主として使用している。

#### 弓道場

弓道場は、平成 22 年度に新営され、公式試合が可能となった。弓道部が主として使用している。

#### 馬場

馬場は、馬術部が使用している。乗馬して練習すると表面が荒れるため、馬術部学生が年中馬場の部室に常駐（授業時間及び深夜を除く）し、馬に餌等を与えて馬場を管理している。なお、飼育している馬は馬術部の所有であり、その餌代は学生が拠出している。

#### ・昭和キャンパス

##### 体育館

体育館は、バレーボール・バスケットボール・バドミントンなどの球技で使用するアリーナと、剣道場・柔道場各 1 面の武道場があり、武道場の 2 階は卓球場となっている。

昭和地区では体育の正課授業がないため、学生の課外活動用として、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、剣道部、柔道部、卓球部が主に使用している。

#### 弓道場

弓道場は敷地面積が狭隘であるため、荒牧地区と比べると射場の幅は狭くなっている。弓道部が主として使用している。

#### ・桐生キャンパス

##### 菱グラウンド（サッカー・ラグビー場、野球場）

サッカー・ラグビー場は、サッカー及びラグビー用のゴールが設置してあり、サッカー部、ラグビー部及びフットサルサークルが主として使用している。野球場は、天然芝で、硬式野球部が主として使用している。

#### テニスコート

テニスコートは全天候型コート 3 面（オムニコート）が 3 面あり、硬式テニス部、ソフトテニス部が主に使用している。

なお、夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあるため、人氣が非常に高い。その反面人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

#### プール

プールは、25 メートル 7 コースで、6 月～8 月まで使用している。水泳部が主として使用している。

#### 体育館

体育館は、1 階には剣道用の床面が 1 面、柔道用の畳面が 1 面の計 2 面があり、各種武道で使用している。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部、ダンスサークル、八木節同好会が主として使用している。また、トレーニングルームも併設されている。2 階には主として球技用のフロアがあり、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部が主に使用している。

## 弓道場

弓道場は、弓道部が主として使用している。

### 2.12.2 文化施設

文化施設等は、次のとおりである（荒牧キャンパスのみ）。

#### ミューズホール

ミューズホールは、大学会館内の多目的ホールで、各種会合、集会等に使用する施設である。

#### 集会室

2室の集会室があり、うち1室は和室である。和室は主に茶道部が使用している。

### 2.12.3 課外活動共用施設

#### ・荒牧キャンパス

課外活動共用施設は、南北に2棟あり北棟は主に運動系サークルが、南棟は主として文化系サークルが共同で利用している施設である。北棟は1階、2階ともに8部屋の計16部屋あり、南棟は1階、2階ともに6部屋の計12部屋がある。

北棟1階に運動講義関係の器具庫があり、その他の部屋は部室として使用している。南棟は音楽演奏に向く防音の効いた室が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。また、荒牧祭実行委員会もこの課外活動共用施設を中心に活動している。

#### ・昭和キャンパス

課外活動施設は体育館と繋がっており1階、2階、3階に各6部屋（計18室）あり、1階には音楽演奏に向く防音の効いた室が4室ある。主に文化系クラブ・サークルが利用している。

#### ・桐生キャンパス

課外活動共用施設は、1階に9部屋、2階と3階に各6部屋の計21部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の効いた室が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。主に文化系クラブ・サークルの活動場所や運動部の器具庫及び倉庫として利用されている。

### 2.12.4 合宿所

#### ・荒牧キャンパス

4部屋あり、大きさは談話室が12畳、1・2号室が計22畳、3号室が14畳、4号室が14畳である。

関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には、強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお、就寝用具などは学生の持ち込みとなっている。

#### ・桐生キャンパス

4部屋あり、大きさは1号室が12畳、2号室が15畳、3・4号室が各6畳である。

関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には、強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお、各部屋には就寝用具が備えられており、共用の調理場や浴室等も利用できる。

## 2.13 学生団体及び主な活動

学生団体及び主な活動は、次のとおりである。

### 2.13.1 学生団体

平成 25 年度のクラブ・サークルは、資料のとおりである。

本学の運動部の対外試合のある種目では、荒牧キャンパスと桐生キャンパスのクラブ等は、「4 年制大学」の出場枠となり、昭和キャンパスは「6 年制大学」の出場枠となるため、同じスポーツ名ではあっても「荒牧・桐生」と「昭和」は別団体、というクラブ・サークルが多い。

### 2.13.2 大学祭

学生の意識高揚と、広く群馬大学を学外に情報発信することなどを目的とし、大学祭を開催している。

- ・荒牧祭（荒牧キャンパス）は、平成 25 年 11 月 9 日（土）～ 10 日（日）に開催し、来場者数は 5,892 人であった。
- ・医学祭（昭和キャンパス）は、平成 25 年 11 月 3 日（日）～ 4 日（月・祝）に開催し、来場者数は 2,140 人であった。
- ・群桐祭（桐生キャンパス）は、平成 25 年 10 月 18 日（金）～ 20 日（日）に開催し、来場者数は、3,000 人以上（詳細不明）であった。
- ・太田キャンパスは、平成 25 年 7 月 14 日（日）に太田市祭りに併せて大学祭として出店し開催した。

なお、医学祭では、福田康夫元総理の特別講演会が実施された。

### 2.13.3 関東甲信越大学体育大会

関東甲信越大学体育大会は、学生スポーツの健全な発達及び普及を図り、併せて相互の親睦に資するため関東甲信越地区 14 大学（東京地区大学を除く。）が共同で開催している。

平成 25 年度は、横浜市立大学が主管校として、千葉大学、横浜国立大学の 3 大学が担当して行われ、平成 25 年 8 月 16 日（金）～ 8 月 31 日（土）の日程で全 17 種目が開催され、各大学が担当した競技は以下のとおりである。

横浜市立大学担当：陸上競技、テニス、バスケットボール、剣道、卓球

千葉大学担当：硬式野球、サッカー、ソフトテニス、水泳、体操、柔道

横浜国立大学担当：準硬式野球、ラグビー、弓道、バレーボール、バドミントン、空手道

群馬大学が好成績（3 位以上）を収めた競技は以下の通りである。

- ・優勝：空手道（自由）
- ・準優勝：ラグビー B
- ・第 3 位：陸上競技、バスケットボール（女子）、剣道（男子）

### 2.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会

クラブ・サークルリーダーシップ研修会は、クラブ・サークルの新旧リーダー等を対象に課外活動団体の健全な活動及び発展に寄与させることを目的として毎年行っている。

平成 25 年度は、当初予定していた日程が大雪により延期となり、内容を縮小して実施した。内容は以下の通りである。

- ・「飲酒による急性アルコール中毒の弊害」
- ・「ツイッターの投稿について考えてみましょう」



## 2.14 研修施設

研修施設として北軽井沢研修所と草津セミナーハウスがある。その概要等は次のとおりである。

### 2.14.1 北軽井沢研修所

本研修所は、本学指導教員及び学生等がセミナー等で利用することを目的に昭和 49 年に設置された。所在地は、群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢字南木山榎 2032-242（北軽井沢大学村 1 条 8 丁目）で、敷地面積 2,497㎡、建物面積 285㎡の C 型鋼ビン接合フレーム型 2 階建のモダンな建物となっている。

収容人員は 15 人で居室は 3、研修室 1、炊事施設等が完備されている。開所時期は、5 月 1 日から 10 月 15 日までで、施設運営費は、1 人 1 日 1,000 円、食事は自炊となっている。ただし、本学の教職員及び学生以外は施設運営費の他に施設使用料 1 人 1 日 40 円が必要となる。

平成 25 年度延利用者数

| 群馬大学所属者 | そ の 他 | 総 数   |
|---------|-------|-------|
| 283 人   | 87 人  | 370 人 |

### 2.14.2 草津セミナーハウス

この施設は、関東甲信越地区国立大学の共同利用合宿研修施設として、教職員及び学生が起居を共にし、相互に研鑽し人間関係を深め、対話や学習を重ねながら教養を高め、自然に親しみ、豊かな人間性を育成することを目的に昭和 59 年に設置された。所在地は群馬県吾妻郡草津町大字草津字白根 737 である。

上信越県境にそびえる草津白根山の中腹に広がる日本有数の温泉地、草津町にあるこの施設は、敷地 12,084㎡、建物延 2,569㎡で 120 人を収容することができる。

四季を通して、セミナーや体育館を利用してのクラブ合宿の他、冬のスキー、春の新入生合宿、夏の登山及び秋の自然観察など、多彩な利用ができる。

草津セミナーハウス使用料金表（平成 25 年度）

| 区 分       | （１）地区国立大学教職員・学生                      | （２）（１）以外の者       |
|-----------|--------------------------------------|------------------|
| 運 営 費     | 1,500 円（2,000 円）                     | 1,900 円（2,400 円） |
| 施 設 使 用 料 | （２）の者のみが負担（毎年 4 月 1 日決定）             |                  |
| 食 事       | 朝食 460 円      昼食 500 円      夕食 980 円 |                  |

- （１） 地区国立大学とは関東甲信越地区国立大学をいう。
- （２） （ ）内の数字は 10 月 1 日から 4 月 30 日までの運営費である。
- （３） 地区国立大学の教職員及び学生以外が利用する場合は施設運営費の他に施設使用料 1 人 1 日 100 円が必要となる。
- （４） 既納の運営費及び施設使用料は還付しない。ただし、使用日の 7 日前までの取り消しについては、運営費の 70%を還付する。



## 平成 25 年度利用者数

| 地区大学所属者 | 地区大学所属者以外 | 総 数     |
|---------|-----------|---------|
| 3,906 人 | 2,469 人   | 6,544 人 |

## 2.15 学生の就職支援

荒牧キャンパスに全学生が利用可能な進路指導室としてキャリアサポート室を開設している。学生自身の適性や志向を見定め、明確な目的意識を持たせ、社会や仕事、働くことの意味や意義を考え学ばせる実践的な就業体験や各種の就職ガイダンス・セミナーを開催し、多様化する就職活動に対する支援を行っている。

### 2.15.1 進路状況及び主な就職先

平成 25 年度の学生の進路状況等は、資料のとおりである。

### 2.15.2 全学就職ガイダンス・セミナーの開催

学生支援センター就職支援部会主催による就職対象学年及び低学年に向けた就職ガイダンスは、次のとおりである。

- 1) 一般企業向け就職ガイダンス・各種セミナー  
(全 34 回、参加延人数：2,617 人)
- 2) 公務員関係就職ガイダンス  
(全 6 回、参加延人数：402 人)
- 3) 1・2 年生向けガイダンス  
(全 2 回、参加延人数：112 人)
- 4) インターンシップ関係説明会及び成果報告会  
(全 9 回、参加延人数：1,008 人)
- 5) 職務適性診断テスト等  
(全 6 回、参加延人数：360 人)

### 2.15.3 キャリアカウンセリングの充実

学生の就職相談体制の強化として、前橋地区に 3 名及び桐生地区に 1 名、太田地区に 1 名のキャリアカウンセラーを配置し、面接形式によるカウンセリングを実施した。さらに、ハローワークの協力により、就職未内定者のための個別相談会を実施した。

- 1) 利用件数：371 件
- 2) 主な相談・指導内容
  - ・就職活動への指導助言
  - ・職業適性・自己分析の指導助言
  - ・エントリーシートの添削指導助言
  - ・面接試験の指導助言

### 2.15.4 キャリアサポート室における情報収集環境の充実

- 1) 学生用に就職情報検索等のためのパソコン・プリンターを設置している。
- 2) 各種企業情報データの検索（求人件数：1,529 件）
- 3) 職業適性診断検査の利用（利用件数：27 件）
- 4) 就職関連書籍・ガイダンス開催ビデオの充実（貸出可）
- 5) キャリアサポート通信の発行（月 1 回）により学生への就職情報の提供を実施している。

- 6) 求人情報，カウンセリングの予約状況等について，ツイッターによる情報発信を行っている。

#### 2.15.5 就職支援の体制強化の充実

- 1) 国公立大学が参加する就職指導担当者研修会や全国就職指導ガイダンスにおいて意見交換を図るとともに企業の人事担当者等による専門的助言や情報の収集により就職支援体制を強化した。
- 2) 体験型インターンシップを推進すると共に各機関，企業，施設等において学生が実務経験を積むことができる環境を整備した。
  - ・企業紹介説明会参加者：438 人
  - ・実習事前講座参加者：217 人
  - ・実習参加者：217 人
  - ・インターンシップ終了後の成果報告会参加者：353 人なお，実習期間中に職員による受入先訪問を行い，インターンシップ充実の支援体制を整えた。
- 3) 「模擬面接の指導」，「小論文の作成技術の訓練」，「エントリーシート及び履歴書の作成技術の訓練」及び「公務員試験受験のための試験対策セミナーの開催」をした。

#### 2.15.6 就職支援 BOOK の作成・配付

就職支援BOOK「群大生のための就活ノウハウ集」を作成し，各学部の就職対象学生に配付した。

### 2.16 就業力育成支援室

本学では，以下のような就業力育成の取組を実施している。

- 1) 就業力育成を実施するために就業力育成支援室を設置し，専任教員（教授），及び兼任教員4名，事務職員2名を配置して，就業力育成支援機能を充実させている。
- 2) 就業力育成のための科目として「キャリア計画」，「キャリア設計」，及び「学びを構築する」を開講している。
- 3) 企業実務家等による就業力育成講演会及び就業力育成セミナーを実施している。
- 4) 企業での就業体験型インターンシップの事前教育として，2年生に「インターンシップⅠ」を開講している。
- 5) 英語教育の充実のため，工学部においては，2年次での英語（2単位）を1年次に集中（計4単位）して行うとともに，プレースメントテストによる習熟度別クラス編制を実施している。
- 6) 学びの履歴，アンケート等は，電子的に記録し，自身の学びを振り返ることのできるキャリアデザインポートフォリオシステムを利用している。

これらの取り組みは，平成24年度に採択された「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」として，各大学や地域産業界と協働して，学生の社会的・職業的自立を促す教育を継続して推進している。

### 2.17 アルバイトの紹介体制の充実

学生生活を経済的に維持することが困難な学生に対し，荒牧地区はキャリアサポート室，昭和地区は昭和地区事務部学務課学事・学生支援係，桐生地区は理工学部学生支援係においてアルバイト情報掲示板を設置し，学生にふさわしいアルバイト情報を紹介した。

### 2.17.1 主な紹介等件数

キャリアサポート室での主な紹介等件数は、次のとおりである。

- ・一般のアルバイト求人数：221 件
- ・塾講師求人数：102 件
- ・家庭教師求人数：60 件
- ・アルバイト情報揭示利用学生数 延 1,334 人

## 2.18 学生生活実態調査

学生の生活実態や要望等を把握し、有効な学生支援の方策を検討するために、5年毎に実施することとした学生生活実態調査を、平成15年度、平成20年度及び平成25年度に実施した。また、内容を報告書にまとめ、講師以上の教員及び関係事務職員に配付し学生支援への活用を図った。

なお、平成30年度に4回目の学生生活実態調査を実施する予定である。

## 2.19 キャンパスニュース群の発行

「キャンパスニュース群」は、平成25年度からウェブサイトにて掲載した。

なお、主な掲載内容は、各地区学園祭及びフットサル大会レポート、インターンシップ実習の様子・参加者の感想、学生寮生活の様子、生協食堂人気メニュー、草津セミナーハウス利用促進等である。

## 2.20 事件・事故

本学学生が関係した事件・事故の件数は、次のとおりである。

- ・交通事故：24 件（学内 10 件，学外 14 件）
- ・盗難：15 件（被害者 24 人）
- ・その他迷惑行為，不審者被害等：16 件

## 2.21 学生支援センター資料集

資料 2.1.1-2.1.2：平成25年度入学料免除申請者・免除許可者，徴収猶予申請者・徴収猶予許可者状況

資料 2.2.1-2.2.2：平成25年度授業料申請者・免除許可者，徴収猶予申請者・徴収猶予許可者状況

資料 2.4.1：日本学生支援機構奨学生数（平成25年10月1日現在）

資料 2.6.1：平成25年度学部1～3年次生欠席状況調査一覧（前期，後期）

資料 2.8.1：平成25年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

資料 2.8.2：平成25年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

資料 2.9.1：平成25年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

資料 2.13.1：平成25年度クラブ・サークル一覧

資料 2.15.1：平成25年度学部卒業生の進路状況及び主な就職先

## 2.21 学生支援センター資料集

## 平成25年度入学科免除実施状況

|                    | 免除申請者数 (人) |       |     | 免除許可者数 (人)   |         |        |
|--------------------|------------|-------|-----|--------------|---------|--------|
|                    | 4月入学       | 10月入学 | 合計  | 判定           | 4月入学    | 10月入学  |
| 教育学部               | 3          | 0     | 3   | 全額免除<br>半額免除 | 3<br>0  | 0<br>0 |
| 社会情報学部             | 0          | 0     | 0   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 医学部                | 0          | 0     | 0   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>0  | 0<br>0 |
|                    | 0          | 0     | 0   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 理工学部(工学部)          | 5          | 0     | 5   | 全額免除<br>半額免除 | 5<br>0  | 0<br>0 |
| 総合理工学科(夜間主)除く      | 8          | 0     | 8   | 全額免除<br>半額免除 | 8<br>0  | 0<br>0 |
| 学部の計               | 0          | 0     | 0   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 総合理工学科(夜間主)        | 6          | 0     | 6   | 全額免除<br>半額免除 | 1<br>3  | 0<br>0 |
| 教育学研究科<br>(修士課程)   | 2          | 0     | 2   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 社会情報学研究科           | 4          | 0     | 4   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>1  | 0<br>0 |
| 医学系研究科<br>(生命科学専攻) | 3          | 1     | 4   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>2  | 0<br>1 |
| 保健学研究科<br>(博士前期課程) | 0          | 0     | 0   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 理工学府(工学研究科)        | 90         | 4     | 94  | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>32 | 0<br>4 |
| 大学院修士課程の計          | 105        | 5     | 110 | 全額免除<br>半額免除 | 1<br>38 | 0<br>5 |
| 医学系研究科<br>(医科学専攻)  | 4          | 2     | 6   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>1  | 0<br>2 |
| 保健学研究科<br>(博士後期課程) | 2          | 0     | 2   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 理工学府(工学研究科)        | 4          | 0     | 4   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>2  | 0<br>0 |
| 大学院博士課程の計          | 10         | 2     | 12  | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>3  | 0<br>2 |
| 特別支援教育特別専攻科        | 2          | 0     | 2   | 全額免除<br>半額免除 | 0<br>2  | 0<br>0 |
| 合 計                | 125        | 7     | 132 | 全額免除<br>半額免除 | 9<br>43 | 0<br>7 |

## 平成25年度入学科徴収猶予実施状況

|                    | 猶予申請者数 (人) |       |    | 猶予許可者数 (人)   |         |        |
|--------------------|------------|-------|----|--------------|---------|--------|
|                    | 4月入学       | 10月入学 | 合計 | 判定           | 4月入学    | 10月入学  |
| 教育学部               | 6          | 0     | 6  | 全額猶予<br>半額猶予 | 6<br>0  | 0<br>0 |
| 社会情報学部             | 3          | 0     | 3  | 全額猶予<br>半額猶予 | 3<br>0  | 0<br>0 |
| 医学部                | 1          | 0     | 1  | 全額猶予<br>半額猶予 | 1<br>0  | 0<br>0 |
|                    | 2          | 0     | 2  | 全額猶予<br>半額猶予 | 2<br>0  | 0<br>0 |
| 理工学部(工学部)          | 11         | 0     | 11 | 全額猶予<br>半額猶予 | 10<br>0 | 0<br>0 |
| 総合理工学科(夜間主)除く      | 23         | 0     | 23 | 全額猶予<br>半額猶予 | 22<br>0 | 0<br>0 |
| 学部の計               | 2          | 0     | 2  | 全額猶予<br>半額猶予 | 2<br>0  | 0<br>0 |
| 教育学研究科<br>(修士課程)   | 0          | 0     | 0  | 全額猶予<br>半額猶予 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 社会情報学研究科           | 0          | 0     | 0  | 全額猶予<br>半額猶予 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 医学系研究科<br>(生命科学専攻) | 1          | 0     | 1  | 全額猶予<br>半額猶予 | 1<br>0  | 0<br>0 |
| 保健学研究科<br>(博士前期課程) | 2          | 0     | 2  | 全額猶予<br>半額猶予 | 2<br>0  | 0<br>0 |
| 理工学府(工学研究科)        | 9          | 1     | 10 | 全額猶予<br>半額猶予 | 8<br>0  | 1<br>0 |
| 大学院修士課程の計          | 12         | 1     | 13 | 全額猶予<br>半額猶予 | 11<br>0 | 1<br>0 |
| 医学系研究科<br>(医科学専攻)  | 2          | 0     | 2  | 全額猶予<br>半額猶予 | 1<br>0  | 0<br>0 |
| 保健学研究科<br>(博士後期課程) | 0          | 0     | 0  | 全額猶予<br>半額猶予 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 理工学府(工学研究科)        | 0          | 0     | 0  | 全額猶予<br>半額猶予 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 大学院博士課程の計          | 2          | 0     | 2  | 全額猶予<br>半額猶予 | 1<br>0  | 0<br>0 |
| 特別支援教育特別専攻科        | 0          | 0     | 0  | 全額猶予<br>半額猶予 | 0<br>0  | 0<br>0 |
| 合 計                | 39         | 1     | 40 | 全額猶予<br>半額猶予 | 36<br>0 | 1<br>0 |

## 平成25年度授業料免除実施状況

|                            | 免除申請者数 (人) |     | 免除許可者数 (人)           |                          |
|----------------------------|------------|-----|----------------------|--------------------------|
|                            | 前期         | 後期  | 判定                   | 合計(延べ人数)                 |
| 教育学部                       | 135        | 122 | 全額免除 80<br>半額免除 37   | 71<br>43<br>151<br>80    |
| 社会情報学部                     | 65         | 64  | 全額免除 38<br>半額免除 18   | 36<br>26<br>74<br>44     |
| 医学部                        | 40         | 43  | 全額免除 24<br>半額免除 7    | 22<br>12<br>46<br>19     |
|                            | 71         | 69  | 全額免除 37<br>半額免除 24   | 33<br>29<br>70<br>53     |
| 理工学部(工学部)<br>総合理工学科(夜間主)除く | 259        | 283 | 全額免除 150<br>半額免除 66  | 140<br>106<br>290<br>172 |
| 学部の計                       | 570        | 581 | 全額免除 329<br>半額免除 152 | 302<br>216<br>631<br>368 |
| 総合理工学科(夜間主)                | 13         | 10  | 全額免除 8<br>半額免除 5     | 6<br>3<br>14<br>8        |
| 教育学研究科<br>(修士課程)           | 15         | 15  | 全額免除 10<br>半額免除 3    | 9<br>6<br>19<br>9        |
| 教育学研究科<br>(専門職学位課程)        | 2          | 1   | 全額免除 0<br>半額免除 0     | 0<br>0<br>0<br>0         |
| 社会情報学研究科                   | 7          | 11  | 全額免除 7<br>半額免除 0     | 10<br>1<br>17<br>1       |
| 医学系研究科<br>(生命医科学専攻)        | 8          | 10  | 全額免除 7<br>半額免除 0     | 8<br>2<br>15<br>2        |
| 保健学研究科<br>(博士前期課程)         | 24         | 25  | 全額免除 11<br>半額免除 8    | 6<br>14<br>17<br>22      |
| 理工学府(工学研究科)<br>(博士前期課程)    | 173        | 168 | 全額免除 91<br>半額免除 62   | 85<br>71<br>176<br>133   |
| 大学院修士課程の計                  | 229        | 230 | 全額免除 126<br>半額免除 73  | 118<br>94<br>244<br>167  |
| 医学系研究科<br>(医科学専攻)          | 25         | 18  | 全額免除 11<br>半額免除 9    | 11<br>6<br>22<br>15      |
| 保健学研究科<br>(博士後期課程)         | 9          | 9   | 全額免除 4<br>半額免除 5     | 3<br>5<br>7<br>10        |
| 理工学府(工学研究科)<br>(博士後期課程)    | 29         | 30  | 全額免除 24<br>半額免除 3    | 27<br>2<br>51<br>5       |
| 大学院博士課程の計                  | 63         | 57  | 全額免除 39<br>半額免除 17   | 41<br>13<br>80<br>30     |
| 特別支援教育特別専攻科                | 2          | 2   | 全額免除 2<br>半額免除 0     | 2<br>0<br>4<br>0         |
| 合 計                        | 877        | 880 | 全額免除 504<br>半額免除 247 | 469<br>326<br>973<br>573 |

## 平成25年度授業料徴収猶予実施状況

|                            | 猶予申請者数 (人) |    | 猶予許可者数 (人)       |                  |
|----------------------------|------------|----|------------------|------------------|
|                            | 前期         | 後期 | 判定               | 合計(延べ人数)         |
| 教育学部                       | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 社会情報学部                     | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 医学部                        | 1          | 0  | 全額猶予 1<br>半額猶予 0 | 1<br>0<br>1<br>0 |
|                            | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 理工学部(工学部)<br>総合理工学科(夜間主)除く | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 学部の計                       | 1          | 0  | 全額猶予 1<br>半額猶予 0 | 1<br>0<br>1<br>0 |
| 総合理工学科(夜間主)                | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 教育学研究科<br>(修士課程)           | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 教育学研究科<br>(専門職学位課程)        | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 社会情報学研究科                   | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 医学系研究科<br>(生命医科学専攻)        | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 保健学研究科<br>(博士前期課程)         | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 理工学府(工学研究科)<br>(博士前期課程)    | 1          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 大学院修士課程の計                  | 1          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 医学系研究科<br>(医科学専攻)          | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 保健学研究科<br>(博士後期課程)         | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 理工学府(工学研究科)<br>(博士後期課程)    | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 大学院博士課程の計                  | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 特別支援教育特別専攻科                | 0          | 0  | 全額猶予 0<br>半額猶予 0 | 0<br>0<br>0<br>0 |
| 合 計                        | 2          | 0  | 全額猶予 1<br>半額猶予 0 | 1<br>0<br>1<br>0 |

※一人の学生が一種と二種を併用賞与している場合もあるので、延べ人数である。

|    |       |
|----|-------|
| 総計 | 2,435 |
|----|-------|



## 平成 25 年度 学部 1 ～ 3 年次生欠席状況調査一覧（前期）

|               | 教育学部     | 社会情報学部   | 医学部      |          |          | 理工学部（工学部） |      |          | 合計         |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|------|----------|------------|
|               |          |          | 医学科      | 保健学科     | 計        | 昼         | 夜    | 計        |            |
| 1 年 生<br>対象者数 | 名<br>232 | 名<br>104 | 名<br>111 | 名<br>169 | 名<br>280 | 名<br>548  | 名    | 名<br>548 | 名<br>1,164 |
| 欠席者数          |          |          |          |          |          | 1         |      | 1        | 1          |
|               |          |          |          |          |          | 0.2%      |      | 0.2%     | 0.1%       |
| 2 年 生<br>対象者数 | 227      | 104      | 137      | 171      | 308      | 542       | 34   | 576      | 1,215      |
| 欠席者数          | 4        |          |          |          |          | 6         | 2    | 8        | 12         |
|               | 1.8%     |          |          |          |          | 1.1%      | 5.9% | 1.4%     | 1.0%       |
| 3 年 生<br>対象者数 | 230      | 129      | 123      | 165      | 288      | 619       | 31   | 650      | 1,297      |
| 欠席者数          | 3        |          |          |          |          | 24        | 3    | 27       | 30         |
|               | 1.3%     |          |          |          |          | 3.9%      | 9.7% | 4.2%     | 2.3%       |
| 合 計<br>対象者数   | 689      | 337      | 371      | 505      | 876      | 1,709     | 65   | 1,774    | 3,676      |
| 欠席者数          | 7        |          |          |          |          | 31        | 5    | 36       | 43         |
|               | 1.0%     |          |          |          |          | 1.8%      | 7.7% | 2.0%     | 1.2%       |

※ 学生数は、平成25年5月1日現在

※ 理工学部は1年生が理工学部生，2～3年は工学部生（他の資料も同様）

※ 理工学部2～3年生（工学部生）は欠席2回以上を欠席者とする。

※ 欠席者数下段は、欠席率

## 平成 25 年度 学部 1 ～ 3 年次生欠席状況調査一覧（後期）

|               | 教育学部     | 社会情報学部   | 医学部      |          |          | 理工学部（工学部） |      |          | 合計         |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|------|----------|------------|
|               |          |          | 医学科      | 保健学科     | 計        | 昼         | 夜    | 計        |            |
| 1 年 生<br>対象者数 | 名<br>232 | 名<br>104 | 名<br>111 | 名<br>169 | 名<br>280 | 名<br>547  | 名    | 名<br>547 | 名<br>1,163 |
| 欠席者数          | 1        |          | 2        | 1        | 3        | 3         |      | 3        | 7          |
|               | 0.4%     | 0.0%     | 1.8%     | 0.6%     | 1.1%     | 0.5%      |      | 0.5%     | 0.6%       |
| 2 年 生<br>対象者数 | 227      | 103      | 137      | 171      | 308      | 541       | 34   | 575      | 1,213      |
| 欠席者数          | 1        | 1        | 1        |          | 1        | 21        | 2    | 23       | 26         |
|               | 0.4%     | 1.0%     | 0.7%     | 0.0%     | 0.3%     | 3.9%      | 5.9% | 4.0%     | 2.1%       |
| 3 年 生<br>対象者数 | 230      | 129      | 123      | 165      | 288      | 615       | 31   | 646      | 1,293      |
| 欠席者数          |          | 0        | 2        | 0        | 2        | 23        |      | 23       | 25         |
|               | 0.0%     | 0.0%     | 1.6%     | 0.0%     | 0.7%     | 3.7%      | 0.0% | 3.6%     | 1.9%       |
| 合 計<br>対象者数   | 689      | 336      | 371      | 505      | 876      | 1,703     | 65   | 1,768    | 3,669      |
| 欠席者数          | 2        | 1        | 5        | 1        | 6        | 47        | 2    | 49       | 58         |
|               | 0.3%     | 0.3%     | 1.3%     | 0.2%     | 0.7%     | 2.8%      | 3.1% | 2.8%     | 1.6%       |

※ 学生数は、平成25年11月1日現在

※ 理工学部は1年生が理工学部生、2～3年は工学部生（他の資料も同様）

※ 理工学部2～3年生（工学部生）は欠席2回以上を欠席者とする。

※ 欠席者数下段は、欠席率

# 平成25年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

(平成26年3月31日現在)  
(人)

学部

| 学部名      | 1年    | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | その他(研究生等) | 計     |
|----------|-------|----|----|----|----|----|-----------|-------|
| 教育学部     | 232   | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0         | 234   |
| 社会情報学部   | 88    | 0  | 29 | 0  | 0  | 0  | 0         | 117   |
| 医学部      | 103   | 15 | 1  | 1  | 0  | 0  | 0         | 120   |
| 保健学科     | 154   | 0  | 6  | 0  | 0  | 0  | 0         | 160   |
| 計        | 257   | 15 | 7  | 1  | 0  | 0  | 0         | 280   |
| 工学部・理工学部 | 448   | 8  | 29 | 16 | 0  | 0  | 11        | 512   |
| 夜間主コース   | 30    | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0         | 31    |
| 計        | 478   | 8  | 30 | 16 | 0  | 0  | 11        | 543   |
| 合 計      | 1,055 | 23 | 67 | 18 | 0  | 0  | 11        | 1,174 |

(平成26年3月31日現在)  
(人)

大学院・専攻科

| 研究科名        | 1年  | 2年 | 3年 | 4年 | 計   |
|-------------|-----|----|----|----|-----|
| 教育学研究科      | 34  | 0  | 0  | 0  | 34  |
| 社会情報学研究科    | 6   | 0  | 0  | 0  | 6   |
| 医学研究科       | 7   | 2  | 0  | 0  | 9   |
| 博士課程        | 19  | 0  | 0  | 8  | 27  |
| 博士前期課程      | 28  | 0  | 1  | 0  | 29  |
| 博士後期課程      | 6   | 0  | 0  | 0  | 6   |
| 計           | 60  | 2  | 1  | 8  | 71  |
| 理工学府・工学研究科  | 236 | 0  | 0  | 0  | 236 |
| 博士後期課程      | 16  | 2  | 2  | 0  | 20  |
| 計           | 252 | 2  | 2  | 0  | 256 |
| 特別支援教育特別専攻科 | 13  | 0  | 0  | 0  | 13  |
| 合 計         | 365 | 4  | 3  | 8  | 380 |

## 平成 25 年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

(件)

|      | 学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 |       |     |       |     |    | 学研災付帯<br>賠償責任保険 | 総計 |
|------|-------------------------|-------|-----|-------|-----|----|-----------------|----|
|      | 正課中                     | 学校行事中 | 通学中 | 課外活動中 | その他 | 合計 |                 |    |
| 荒牧地区 | 5                       | 3     | 9   | 3     | 2   | 22 | 0               | 22 |
| 昭和地区 | 1                       | 1     | 1   | 8     | 0   | 11 | 0               | 11 |
| 桐生地区 | 5                       | 0     | 4   | 5     | 1   | 15 | 0               | 15 |
| 太田地区 | 2                       | 1     | 1   | 1     | 0   | 5  | 0               | 5  |
| 合計   | 13                      | 5     | 15  | 17    | 3   | 53 | 0               | 53 |

## 平成25年度通学証明書発行枚数

(枚)

| 荒牧地区 |     | 昭和地区 |    | 桐生地区 |    | 太田地区 |    | 合計    |
|------|-----|------|----|------|----|------|----|-------|
| 電車   | バス  | 電車   | バス | 電車   | バス | 電車   | バス |       |
| 563  | 424 | 109  | 47 | 229  | 0  | 7    | 0  | 1,379 |

## 平成25年度学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

(枚)

|      | 正課  | 帰省    | 就職    | 課外活動  | 見学  | 旅行  | その他<br>傷病・治療 | 計      |
|------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|--------------|--------|
| 荒牧地区 | 236 | 5,250 | 3,006 | 3,161 | 614 | 476 | 19           | 12,762 |
| 昭和地区 | 12  | 749   | 48    | 150   | 53  | 22  | 0            | 1,034  |
| 桐生地区 | 3   | 31    | 22    | 3     | 5   | 0   | 0            | 64     |
| 太田地区 | 0   | 7     | 0     | 0     | 0   | 0   | 0            | 7      |
| 合 計  | 251 | 6,037 | 3,076 | 3,314 | 672 | 498 | 19           | 13,867 |

## 平成 25 年度 クラブ・サークル一覧

| 整理<br>番号 | クラブ・サークル名                             | 主な活動(所属)地区 |    |    |    | 区分  |
|----------|---------------------------------------|------------|----|----|----|-----|
|          |                                       | 荒牧         | 昭和 | 桐生 | 太田 |     |
| 1        | 荒牧ジャズ研究会                              | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 2        | E. S. S (English Speaking Society)    | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 3        | 囲碁・将棋部                                |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 4        | 泉の会(障害児ボランティアサークル)                    | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 5        | 映画研究会                                 |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 6        | SRC                                   | ○          | ○  | ○  | ○  | 文化部 |
| 7        | E∞gg[えっぐ]                             |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 8        | エレクトーン部                               |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 9        | 演劇部テアトル・ヒューメ                          | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 10       | 音楽研究会                                 |            |    | ○  |    | 文化部 |
| 11       | 合唱サークル Pico                           |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 12       | 気象天文研究部                               | ○          | ○  | ○  | ○  | 文化部 |
| 13       | 教育サークル・青竹                             | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 14       | Guit's (アコースティックギターサークル)              |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 15       | クラシックギター部                             | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 16       | グリークラブ(合唱サークル)                        | ○          |    | △  |    | 文化部 |
| 17       | ボランティアサークルGUNVO                       | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 18       | 群馬大学折紙研究会"Origin"                     | ○          | ○  | ○  |    | 文化部 |
| 19       | 群馬大学政治研究会                             | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 20       | 軽音楽部                                  |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 21       | 劇団アラムニー                               | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 22       | 国際医療ボランティアの会(FORS)                    |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 23       | 国際交流サークルBeyond                        | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 24       | 群馬大学混声合唱団                             | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 25       | 茶道部                                   | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 26       | CG研究会(カードゲーム研究会)                      | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 27       | 写真部(荒牧)                               | ○          |    | ○  |    | 文化部 |
| 28       | 写真部(昭和)                               |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 29       | 写真部(桐生)                               | ○          |    | ○  |    | 文化部 |
| 30       | 手話さーくる でんでんむし                         | ○          | ○  |    |    | 文化部 |
| 31       | 書道部                                   | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 32       | GA研究会(ゲーム・アニメ)                        | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 33       | GMA(中学生のネット見守り活動サークル)                 | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 34       | G. K. オールスターズ(ビッグバンドジャズ)              | ○          |    | ○  |    | 文化部 |
| 35       | G-unit(ファッション系サークル)                   | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 36       | 情報保障サークル てふてふ(学生とティーカー交流)             | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 37       | 群馬大学吹奏楽団                              | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 38       | スタジオガブリ(影絵サークル)                       | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 39       | 聖書研究会                                 |            | ○  | ○  |    | 文化部 |
| 40       | たんぽぽ(ボランティアサークル)                      | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 41       | 東洋医学研究会                               |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 42       | AAA☆KIDS(トリプルエーキッズ)                   |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 43       | ド学連(MD-PhD勉強会)                        |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 44       | 美術愛好会                                 |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 45       | ビリヤード部                                |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 46       | ピアノ部                                  |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 47       | ファンタスティッチ(手芸部)                        | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 48       | フィルハーモニックオーケストラ部                      | ○          |    | ○  |    | 文化部 |
| 49       | フォーク・ロック愛好会                           | ○          |    | ○  |    | 文化部 |
| 50       | Fore-Bridge Orchestra(FBO)(ビッグバンドジャズ) |            | ○  |    |    | 文化部 |



## 平成 25 年度 クラブ・サークル一覧

| 整理<br>番号 | クラブ・サークル名                     | 主な活動(所属)地区 |    |    |    | 区分  |
|----------|-------------------------------|------------|----|----|----|-----|
|          |                               | 荒牧         | 昭和 | 桐生 | 太田 |     |
| 51       | FLOW Orchestra & Chorus       | ○          | ○  |    |    | 文化部 |
| 52       | Voice Cream (アカペラサークル)        | ○          | ○  | ○  |    | 文化部 |
| 53       | ボランティアサークル群大アドバンス[Advance]    | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 54       | ボランティアサークル With               | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 55       | ボランティア団体 Share the Earth      | ○          | ○  | △  |    | 文化部 |
| 56       | 漫画研究部                         | ○          |    | ○  |    | 文化部 |
| 57       | マンドリン・ソサエティ                   | ○          | ○  | ○  |    | 文化部 |
| 58       | メサイア管弦楽団・合唱団                  | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 59       | モダンジャズ研究会(医学部)                |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 60       | モダンジャズ研究会(理工学部)               |            |    | ○  |    | 文化部 |
| 61       | 野外教育研究会(アウトドア系教育サークル)         | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 62       | 八木節同好会                        |            |    | ○  |    | 文化部 |
| 63       | 野草を食べる会                       |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 64       | 夢のわたらせ なないろ号(ボランティア企画団体)      |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 65       | 落語・コント研究会                     | ○          |    | ○  |    | 文化部 |
| 66       | ラジオ同好会                        |            |    | ○  |    | 文化部 |
| 67       | LAMP(イベント企画団体)                | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 68       | LEADS(小児糖尿病サマーキャンプボランティアサークル) |            | ○  |    |    | 文化部 |
| 69       | ロボット部                         |            |    | ○  |    | 文化部 |
| 70       | YMCAクラブ                       | ○          |    |    |    | 文化部 |
| 71       | R. F. C (スノーボード)              | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 72       | 合気道部                          | ○          | ○  | ○  |    | 運動部 |
| 73       | アメリカンフットボール部                  | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 74       | 医学部サイクリング部 医輪(いちやり)           |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 75       | 医学部★ダンスサークル                   |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 76       | 医学部フットサルサークル                  |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 77       | Et's(バスケットボール)                |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 78       | エスケープ (硬式テニス)                 | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 79       | 空手道部                          | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 80       | 環境プロセススポーツ愛好会                 |            |    | ○  |    | 運動部 |
| 81       | 弓道部                           | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 82       | 弓道部(医学科)                      |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 83       | 弓道部(保健学科)                     |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 84       | 球遊会(バレーボール)                   | △          | ○  |    |    | 運動部 |
| 85       | クライミング部                       | △          |    | ○  |    | 運動部 |
| 86       | 群馬CRAFT (サッカー・フットサル)          | ○          | △  | △  | △  | 運動部 |
| 87       | 剣道部                           | ○          | ○  | ○  |    | 運動部 |
| 88       | 剣道部(医学部)                      | ○          | ○  |    |    | 運動部 |
| 89       | Get's(サッカー)                   |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 90       | 硬式テニス部                        | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 91       | 硬式テニス部(医学部)                   | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 92       | 硬式野球部                         | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 93       | ゴルフ部(医学部)                     |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 94       | サイクリング部                       | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 95       | サッカー部(全学)                     | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 96       | サッカー部(医学部)                    |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 97       | サバゲーサークル                      |            |    | ○  | ○  | 運動部 |
| 98       | 少林寺拳法部                        | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 99       | G.M.R(各種スポーツ)                 |            |    | ○  |    | 運動部 |
| 100      | G☆バンビーズ(バスケットボールサークル)         |            |    | ○  |    | 運動部 |

## 平成 25 年度 クラブ・サークル一覧

| 整理<br>番号 | クラブ・サークル名               | 主な活動(所属)地区 |    |    |    | 区分  |
|----------|-------------------------|------------|----|----|----|-----|
|          |                         | 荒牧         | 昭和 | 桐生 | 太田 |     |
| 101      | 自動車部                    | △          |    | ○  | △  | 運動部 |
| 102      | 柔道部(荒牧)                 | ○          | △  |    |    | 運動部 |
| 103      | 柔道部(理工学)                |            |    | ○  |    | 運動部 |
| 104      | 準硬式野球部                  | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 105      | 準硬式野球部(医学部)             |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 106      | 杖道部                     |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 107      | 水泳部                     | ○          | ○  | ○  |    | 運動部 |
| 108      | 全学スキー部                  | ○          | ○  | ○  | ○  | 運動部 |
| 109      | スキー部(医学部)               |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 110      | Seven Stars (フットサル)     | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 111      | ソフトテニスサークルRough         | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 112      | ソフトテニス部                 | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 113      | ソフトテニス部(医学部)            |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 114      | 体操部                     | ○          | ○  | ○  | ○  | 運動部 |
| 115      | 卓球部                     | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 116      | 卓球部(医学部)                |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 117      | 大東流合気柔術部                | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 118      | ダンス部                    | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 119      | ツバサFCコーチングスタッフ          | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 120      | 軟式野球サークル アウィル           | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 121      | ハンドボール部                 | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 122      | Ricer care (バイク部)       |            |    | ○  |    | 運動部 |
| 123      | 馬術部                     | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 124      | バスケットボール部               | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 125      | バスケットボール部(医学部)          |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 126      | バスケットボール部(理工学部)         |            |    | ○  |    | 運動部 |
| 127      | バドミントンサークルVash          |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 128      | バドミントン部                 | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 129      | バドミントン部(医学部)            |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 130      | バレーボール部(全学)             | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 131      | バレーボール部(医学部)            |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 132      | B-STYLE(ストリートダンス)       | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 133      | Vit' z(ダブルダッチ)          |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 134      | ファーストブレイク(バスケットボールサークル) | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 135      | フラダンスサークル po'aloma      |            |    | ○  |    | 運動部 |
| 136      | フリースタイルバスケ・フットボールサークル   | ○          | ○  | ○  | ○  | 運動部 |
| 137      | V. B. C. 桐生(バレーボール)     |            |    | ○  |    | 運動部 |
| 138      | 保健バレーボール部               |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 139      | borderless(卓球サークル)      | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 140      | ボウリング愛好会                | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 141      | メモリアルテニス部               | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 142      | ラグビー部(全学)               | ○          |    | ○  |    | 運動部 |
| 143      | ラグビー部(医学部)              |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 144      | 陸上競技部                   | ○          |    | ○  | ○  | 運動部 |
| 145      | 陸上競技部(医学部)              | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 146      | レスリング部                  | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 147      | Let's Met's(野球サークル)     |            | ○  |    |    | 運動部 |
| 148      | ONE WAY(バレーサークル)        | ○          |    |    |    | 運動部 |
| 149      | ワンダーフォーゲル部              | ○          | ○  | ○  |    | 運動部 |

## 平成25年度学部卒業生の進路状況（9月卒業を含む）

H25卒 平成26年5月1日現在

| 学 部<br>区 分 | 卒 業 年 度 | 卒 業 者 数<br>(A) | 進 学 者 数       |             |         |               |     | 就 職 者 数  |           |    |    |    |          |     |         |         |          | 就 職 率<br>(E)<br>$E=C/(A+B-D) \times 100$ |           |              |       |       |                       |
|------------|---------|----------------|---------------|-------------|---------|---------------|-----|----------|-----------|----|----|----|----------|-----|---------|---------|----------|------------------------------------------|-----------|--------------|-------|-------|-----------------------|
|            |         |                | 大 学 院 ・ 専 攻 科 | 他 大 学 学 部 等 | 研 究 生 等 | 各 種 専 修 学 校 等 | 留 学 | 計<br>(B) | 業 種 別 内 訳 |    |    |    |          |     |         |         | 計<br>(C) |                                          | 就 職 活 動 中 | そ の 他<br>(D) |       |       |                       |
|            |         |                |               |             |         |               |     |          | 教 員       |    |    |    |          |     | 医 療 機 関 | 一 般 企 業 |          |                                          |           |              | 公 務 員 | 自 営 業 | 法 左<br>欄 人 以 外<br>等 の |
|            |         |                |               |             |         |               |     |          | 幼         | 小  | 中  | 高  | 特別<br>支援 | その他 |         |         |          |                                          |           |              |       |       |                       |
| 教育学部       | H25     | 229            | 29            | 0           | 0       | 1             | 2   | 32       | 3         | 61 | 34 | 16 | 16       | 0   | 1       | 14      | 20       | 1                                        | 4         | 170          | 6     | 21    | 96.6                  |
|            | H25     | 113            | 4             | 1           | 0       | 1             | 0   | 6        | 0         | 0  | 0  | 0  | 0        | 0   | 2       | 64      | 14       | 1                                        | 7         | 88           | 4     | 15    | 95.7                  |
| 医学部        | H25     | 100            | 0             | 0           | 0       | 0             | 1   | 1        | 0         | 0  | 0  | 0  | 0        | 0   | 91      | 0       | 0        | 0                                        | 0         | 91           | 0     | 8     | 100.0                 |
|            | H25     | 169            | 13            | 1           | 0       | 0             | 0   | 14       | 0         | 0  | 0  | 0  | 0        | 0   | 132     | 8       | 10       | 0                                        | 1         | 151          | 0     | 4     | 100.0                 |
| 工学部        | H25     | 537            | 320           | 0           | 1       | 3             | 0   | 324      | 0         | 0  | 0  | 2  | 0        | 0   | 0       | 155     | 33       | 2                                        | 1         | 193          | 7     | 13    | 96.5                  |
|            | H25     | 31             | 5             | 0           | 0       | 1             | 0   | 6        | 0         | 0  | 0  | 0  | 0        | 0   | 0       | 17      | 2        | 1                                        | 0         | 20           | 1     | 4     | 95.2                  |
| 計          | H25     | 1,179          | 371           | 2           | 1       | 6             | 3   | 383      | 3         | 61 | 34 | 18 | 16       | 0   | 226     | 258     | 79       | 5                                        | 13        | 713          | 18    | 65    | 97.5                  |

① その他(D)欄は、留学生の帰国、各種試験準備者、家事従事、不明である。

# 平成 25 年度 学部卒業生の就職先

## 【教育学部】

### ■教育

#### 〈教育委員会〉

群馬県教育委員会(学校事務 前橋市教育委員会 安中市教育委員会

#### 〈幼稚園〉

高崎市 色麻町 私立ピノキオ幼稚園

#### 〈小学校〉

群馬大学附属小学校 渋川市 みどり市 太田市 前橋市 伊勢崎市 高崎市 富岡市 館林市 藤岡市  
桐生市 東吾妻町 板倉町 さいたま市 上尾市 皆野町 神川町 埼玉県 佐野市 糸魚川市 多摩市  
平塚市 私立森村学園 常滑市 奈良県

#### 〈中学校〉

群馬大学附属中学校 桐生市 前橋市 みどり市 安中市 高崎市 藤岡市 太田市 渋川市 富岡市  
板倉町 玉村町 下仁田町 長野原町 私立新島学園 松本市 東松山市 埼玉県

#### 〈特別支援学校〉

群馬大学附属特別支援学校 群馬県 前橋市 私立若葉高等学園 栃木県 神奈川県 長野県 愛知県  
筑波大学附属聴覚特別支援学校

#### 〈高等学校〉

群馬県 私立東京農業大学第二高等学校 埼玉県 栃木県 私立足利工業大学付属高等学校  
私立東海大学菅生高等学校 玉野市

### ■国家公務

国土交通省

### ■地方公務

|        |       |        |       |
|--------|-------|--------|-------|
| 群馬県    | 太田市役所 | 伊勢崎市役所 | 富岡市役所 |
| 沼田市役所  | 渋川市役所 | 明和町役場  | 本庄市役所 |
| 宇都宮市役所 | 下妻市役所 | 長野市役所  |       |

### ■医療・福祉業

前橋赤十字病院

### ■その他法人等

|            |        |             |            |
|------------|--------|-------------|------------|
| NPO法人群大クラブ | JA北群渋川 | 国立赤城青少年交流の家 | NPO法人 こげら会 |
|------------|--------|-------------|------------|

### ■企業

|                 |          |               |           |
|-----------------|----------|---------------|-----------|
| (株)トムスシステム      | 食の駅ぐんま   | マチダマーケティング(株) | (株)IKS    |
| (株)コバヤシ         | (株)栗原弁天堂 | 大賀建設(株)       | (株)東京エコール |
| IDCE SHOP 自由が丘店 | (株)アルペン  | (株)プロジェクトゼロ   | イベント会社    |
| 学習塾             |          |               |           |

## 【社会情報学部】

### ■地方公務

|        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| 群馬県警察  | 前橋市役所 | 高崎市役所 | 渋川市役所 |
| みどり市役所 | 桐生市役所 | 玉村町役場 | 上里町役場 |
| 東吾妻町役場 | 栃木県   | 栃木県警察 |       |

### ■医療・福祉業

|          |           |
|----------|-----------|
| 公立藤岡総合病院 | 医療法人社団友志会 |
|----------|-----------|

### ■その他法人等

|         |                 |              |              |
|---------|-----------------|--------------|--------------|
| JA佐波伊勢崎 | JA北群馬渋川         | 榛名酪農業協同組合連合会 | 群馬県市町村職員共済組合 |
| 日本郵便(株) | (株)JAライフクリエイティブ |              |              |

### ■企業

|                    |                 |                   |                  |
|--------------------|-----------------|-------------------|------------------|
| (株)とりせん            | (株)ヨコオデイルーフーズ   | 群馬総合ガードシステム(株)    | コンピュータロン(株)      |
| (株)クワドリ・フォリオ       | (株)ジーシーシー       | (株)群鐵             | 千川会計事務所          |
| (株)東和広告システム        | 太田物産(株)         | (株)ナブ・アシスト        | 豊長自動車販売(株)       |
| (株)東和銀行            | 桐生信用金庫          | (株)群馬銀行           | (株)新潟日報事業社       |
| (株)Suda designroom | (有)角田農園         | (株)マルナカ           | フォワード98(株)       |
| 東日本旅客鉄道(株)高崎支社     | 東日本旅客鉄道(株)      | パシフィックシステム(株)     | (株)テレビ朝日サービス     |
| 新潟県信用組合            | (株)遊楽(ガーデングループ) | (株)コスモネット         | テンプスタッフ(株)       |
| (株)ブリオコーポレーション     | ニプロ(株)          | (株)東邦銀行           | 関東信越税理士会         |
| ユニアデックス(株)         | 足利不動産(株)        | イオンリテール(株)        | (独)中小企業基盤整備機構    |
| (独)情報処理推進機構        | (株)マインドシェア      | (株)近畿日本ツーリスト九州    | 上越信用金庫           |
| (株)テクノ・セブン         | 新明電材(株)         | (株)マテリアル          | (株)クスリのマルエ       |
| キャノン・コンポーネンツ(株)    | 中央労働金庫          | SBS(株)            | インタアクト(株)        |
| (株)日本トータル・システム     | 浅沼経営センターグループ(株) | (株)アイエイエフコンサルティング | (株)アリス           |
| (株)ゲームオン           | ピーシーフェーズ(株)     | 明治ロジテック(株)        | 静鉄プロパティマネジメント(株) |
| (株)パルセ             | 文唱堂印刷(株)        | 日本環境クリアー(株)       |                  |

# 平成 25 年度 学部卒業生の就職先

## 【医学部 医学科】

### ■医療・福祉業

|                    |              |              |                  |
|--------------------|--------------|--------------|------------------|
| 群馬大学医学部附属病院        | 伊勢崎市民病院      | 桐生厚生総合病院     | 筑波大学医学部附属病院      |
| 群馬中央総合病院           | 高崎総合医療センター   | 済生会前橋病院      | JA長野厚生連 長野松代総合病院 |
| 前橋赤十字病院            | 藤岡総合病院       | 東京医科歯科大学附属病院 | 仙台市立病院           |
| 東京大学医学部附属病院        | 順天堂大学医学部附属病院 | 慶応義塾大学病院     | 洛和会音羽病院          |
| 多摩総合医療センター         | 東京医療センター     | 城南福祉医療協会大田病院 | 神戸大学医学部附属病院      |
| 東京都立大塚病院           | 東京都立松沢病院     | 三井記念病院       | 茨城西南医療センター病院     |
| 埼玉社会保険病院           | 埼玉赤十字病院      | 東光会 戸田中央総合病院 | 新潟市民病院           |
| 済生会川口総合病院          | 自治医科大学附属病院   | 千葉大学医学部附属病院  | 仙台医療センター         |
| 旭中央病院              | 松戸市立病院       | 済生会習志野病院     | 大阪赤十字病院          |
| 成田赤十字病院            | 亀田総合病院       | 横浜市立大学附属病院   | 名古屋大学医学部附属病院     |
| 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 横浜南共済病院      | 湘南藤沢徳洲会病院    | 京都大学医学部附属病院      |
| 淀川キリスト教病院          | 長野赤十字病院      |              |                  |

## 【医学部 保健学科】

### ■地方公務

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 前橋市役所 | 高崎市役所 | 文京区役所 | 藤岡市役所 |
| 榛東村役場 | 上野村役場 | 上田市役所 | 新潟県   |
| 下野市役所 |       |       |       |

### ■医療・福祉業

|               |                |                   |                |
|---------------|----------------|-------------------|----------------|
| 群馬大学医学部附属病院   | 群馬県立心臓血管センター   | 群馬県立小児医療センター      | 東北大学付属病院       |
| 中央群馬脳神経外科病院   | 群馬中央総合病院       | 前橋赤十字病院           | 新潟臨港病院         |
| 前橋協立病院        | 済生会前橋病院        | 高崎中央病院            | 長野県立こども病院      |
| 伊勢崎市民病院       | 伊勢崎市民プラザ       | 太田記念病院            | 総合青山病院         |
| 利根中央病院        | 老年病研究所附属病院     | 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック | すずかけヘルスケアホスピタル |
| 横田マナティールホスピタル | 角田病院           | 真木病院              | 兵庫医科大学病院       |
| 群馬県健康づくり財団    | 内田病院           | 美原記念病院            | 京野アーククリニック     |
| 上牧温泉病院        | 東前橋整形外科        | 本多病院              | 愛広会            |
| 日高会           | 東京大学医学部附属病院    | 国立国際医療研究センター病院    | 長野市民病院         |
| 国立成育医療研究センター  | 国立がん研究センター中央病院 | 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 | 可知病院           |
| 東京慈恵会医科大学付属病院 | 慶應義塾大学病院       | 帝京大学医学部附属病院       | 今村病院分院         |
| 駿河台日本大学病院     | 日本医科大学附属病院     | 東京都健康長寿医療センター     | 新潟大学付属医歯学総合病院  |
| 山王リハビリクリニック   | 高島平中央総合病院      | 王子協立病院            | 佐久総合病院         |
| 南多摩病院         | 上尾中央総合病院       | 壮幸会行田総合病院         | 名古屋第一赤十字病院     |
| 関東脳神経外科病院     | 本庄総合病院         | 大宮共立病院            | 南砺市民病院         |
| 戸田医科グループ      | 明星リハビリテーション病院  | 鶴見西井病院            | 松江市立病院         |
| 済生会横浜市南部病院    | 足利赤十字病院        | 宇都宮リハビリテーション病院    | 筑波メディカルセンター    |
| 国際医療福祉大学病院    | 獨協医科大学病院       | 自治医科大学付属病院        | 茨城県厚生連西南医療センター |
| 行徳総合病院        |                |                   |                |

### ■企業

|              |           |               |               |
|--------------|-----------|---------------|---------------|
| (株)和漢薬研究所    | (株)アルプ    | (株)メディカルレビュー社 | (株)日本介護福祉グループ |
| (株)総合臨床サイエンス | (株)ラウンドワン |               |               |

## 【工学部】

### 〔昼間コース〕

#### ■教育

|             |        |        |
|-------------|--------|--------|
| 私立春日部共栄高等学校 | 公立高等学校 | 足利工業大学 |
|-------------|--------|--------|

#### ■国家公務

|          |       |
|----------|-------|
| 防衛省(自衛隊) | マレーシア |
|----------|-------|

#### ■地方公務

|       |       |        |        |
|-------|-------|--------|--------|
| 群馬県   | 前橋市役所 | 高崎市役所  | 岩手県    |
| 太田市役所 | 富岡市役所 | 桐生市役所  | 郡山市役所  |
| 館林市役所 | 甘楽町役場 | 千代田町役場 | 湯沢市役所  |
| 昭和村役場 | 東京都   | 警視庁    | 静岡県    |
| 栃木県   | 栃木県警察 | 宇都宮市役所 | 十和田市役所 |
| 埼玉県   | 横浜市役所 | 流山市役所  | 豊橋市役所  |

### 〔夜間コース〕

#### ■地方公務

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 境町役場(茨城県) | 会津若松地方広域市町村圏整備組合 |
|-----------|------------------|

# 平成 25 年度 学部卒業生の就職先

## 【工学部 応用化学・生物化学科】

### ■その他法人等

JA富士市

全国酪農業協同組合連合会

### ■企業

(株)ミツバ

日本農業工業(株)

協和発酵キリン(株)高崎工場

(株)エクセルエンジニアリング

関東メディカル(株)

(株)大協精工

(株)関越物産

東洋合成工業(株)

(株)日企

RP東プラ(株)

(株)村上開明堂

山崎製パン(株)

(株)希松

富士エンジニアリング(株)

環境技研(株)

(株)シー・アイ・シー

(株)ナブアシスト

群馬グランディハウス(株)

(株)リファクトリイ

関東化学(株)

KISCO(株)

東京コンピュータサービス(株)

ニチコン(株)

(株)サイサン

ラピセセミコンダクタ宮城(株)

コンピュートロン(株)

(株)若草印刷

(株)山田製作所

白十字(株)

片倉工業(株)

東洋コーティング(株)

コダマコーポレーション(株)

森六テクノロジー(株)

(株)トーモク

(株)白寿生科学研究所

(株)ブロードバンドタワー

(株)栃木銀行

前田道路(株)

厚木プラスチック(株)

(株)保健科学東日本

(株)ジャパンビバレッジグループ

(株)リクルートスタッフィング

(株)つくば食品

サン工業(株)

(株) QES

平成理研(株)

(株)インフォテックノ朝日

竹内産業(株)

## 【工学部 機械システム工学科】

### ■企業

(株)アポロ技研

(株)岡本工作機械製作所

パナソニック(株)

日立工機(株)

小倉クラッチ(株)

(株)Honda Cars

トーヨーカネツ(株)

リズム時計工業(株)

(株)ナカヨ通信機

(株)大塚製薬工場

デクセリアルズ(株)

KYB(株)

岩手開発鉄道(株)

(株)ミクニ

## 【工学部 環境プロセス工学科】

### ■企業

(株)関東高圧容器製作所

(株)ベルク

ユニプレス(株)

(株)チャーム

三菱化工機(株)

カルソニックカンセイ(株)

㈱豊通ケミプラス

(株)ダルトン

CKエンジニアリング(株)

足利ガス(株)

(株)アクトリ

## 【工学部 社会環境デザイン工学科】

### ■企業

タルヤ建設(株)

河本工業(株)

東急建設(株)

(株)東京測器研究所

三陽技術コンサルタンツ(株)

(株)アドバンスビジネスサービス

鉄建建設(株)

(株)ピーエス三菱

㈱クスリのマルエ

東日本旅客鉄道(株)

TAKEUCHI(株)

静岡セキスイハイム不動産(株)

(株)ネクスコ東日本エンジニアリング

(株)岡部工務店

(株)栃木セキスイハイム

## 【工学部 電気電子工学科】

### ■企業

㈱ナブアシスト

㈱クライム

㈱フェアマインド

㈱ミツバ

㈱小糸製作所

日機装(株)

㈱上毛新聞社

NSKニードルベアリング(株)

㈱日東電機製作所

東武エンジニアリング(株)

㈱ゲオホールディングス

明星電気(株)

杉原エスイーアイ(株)

㈱キンセイ産業

㈱ヤマト

㈱エジソン

日産自動車(株)

クオリカ(株)

㈱メイテック

㈱マルハン

富士古河E&C(株)

## 【工学部 情報工学科】

### ■企業

(株)ジーシーシー

(株)沖情報システムズ

(株)ナカヨ通信機

東京コンピュータサービス(株)

(株)日立ハイシステム21

サンデンシステムエンジニアリング(株)

(株)ベイシア

(株)ナブアシスト

(株)フォーラムエイト

(株)ISTソフトウェア

(株)両毛システムズ

(株)高崎共同計算センター

光栄電気通信工業(株)

日信ソフトエンジニアリング(株)

(株)数理計画

ドコモモバイル(株)

和栄工業(株)

(株) ニラク

(株)NTTデータ

## 【工学部 生産システム工学科】

### 【昼間コース】

### ■企業

㈱ユー・コーポレーション

㈱栃木ニコン

沖電気工業(株)

小松精練(株)

㈱山田製作所

テルモ(株)

㈱キリウ

ヨシモトボール(株)

三菱自動車工業(株)

富士重工業(株)

富士テクノサービス(株)

㈱アルファ・ウェーブ

㈱シーアールイー

日栄インテック(株)

(株)山田工務店

### 【夜間主コース】

### ■企業

㈱両毛システムズ

白十字(株)

日本プラスト(株)

新潟原動機(株)

白河オリンパス(株)

しげる工業(株)

株式会社ジェイテック

㈱やまひろ

㈱ジーテクト



## 3 学生受入センター

### 3.1 はじめに

学生受入センターは平成 18 年 4 月に発足された組織で、センターにはセンター長（教育・国際交流担当理事・副学長）と副センター長、兼任教員（各学部の入試又は広報担当委員会の委員長）がいる。センターの運営については、学生受入センター運営委員会が設置されている。また、下部組織として入試部会・広報部会を組織し各学部等から委員が選出されている。審議内容は、入学者選抜に係わること、学生募集に関すること、大学入試センター試験に関すること等（以下、「入試業務等」という）である。当該入試業務等の事務は、入学試験委員会と連携を図るほか、学生受入課が各学部等の入試担当係と連携を図り行っている。平成 25 年度の主な入試業務等の事項は、次のとおりである。

### 3.2 オープンキャンパス等

本学の教育研究及び学園生活の現状を、具体的に分かりやすく伝える場として、また、受験生の進路決定に資することを目的として全学のオープンキャンパス「群馬大学オープンキャンパス」と各学部等が開催する「学部別オープンキャンパス」を開催し、群馬県内の全高等学校（99 校）、茨城、栃木、埼玉、新潟及び長野県の平成 25 年度入学試験において志願者のあった高等学校（202 校）に案内した結果、延べ 7,305 名の生徒等が参加した。

#### 3.2.1 群馬大学オープンキャンパス

平成 25 年 8 月 3 日（土）～4 日（日）に、荒牧キャンパスで主に高校 1, 2 年生を対象とした群馬大学オープンキャンパスを開催した。1 日目は医学部・理工学部、2 日目は教育学部・社会情報学部を対象とした大学紹介・学部説明を行い、延べ 3,520 名の参加者があった。

なお、当日実施したアンケート調査では、91.5%の参加者から進路選択の役に立った旨の回答が得られたこと等から、本行事の意義を確認することができた。

#### 3.2.2 学部等オープンキャンパス

群馬大学オープンキャンパスのほか、主に高校 3 年生を対象とした教育学部、社会情報学部、医学部医学科、医学部保健学科、理工学部がそれぞれオープンキャンパスを開催した。各学部とも、学部説明、在校生の体験発表、模擬授業等を行い、延べ 3,785 名の参加者があった。

### 3.3 学生募集に係わる広報活動

#### 3.3.1 出前説明会、出張模擬授業及び大学見学

出前説明会については、平成 25 年度入学試験において 3 名以上の出願があった群馬県内の高等学校 46 校及び平成 25 年度入学試験において 7 名以上の出願があった県外の高等学校 52 校に案内し、学部等との日程調整を行い 38 の高等学校で実施した。

また、61 の高等学校で模擬授業を実施し、大学見学を希望する 13 の高等学校が来学し、生徒等に対し学部説明や構内を案内した。

#### 3.3.2 進学相談会

受験者等との個別相談の機会を設けるため、関東地区の会場を重点的に、延べ 33 回の進学相談会に参加し、延べ 956 名余りの受験生、保護者等に対し入試広報を行った。

### 3.3.3 ホームページ広報

本学ホームページを活用し、受験者等への情報発信を種々行っている。選抜要項や募集要項の発表、受験状況の公表のほか、平成 25 年度からは試験問題及び解答例・評価のポイント、群馬大学入学者選抜における受験上の配慮内容、次年度以降の入試の変更点を公表した。

また、大手の受験産業関連企業が運営する進学情報ウェブサイトに入試情報を掲載し、より広範な広報活動を行った。

### 3.3.4 高等学校等の教員を対象とした説明会

高等学校等の進路指導担当等の先生方に、本学の入学試験に関する説明会を開催した。群馬県内の全高等学校（99 校）、東北、関東（群馬県を除く）、中部地方の平成 25 年度入学試験において志願者のあった高等学校 681 校に案内した結果、63 校 98 名の先生が参加した。

## 3.4 広報戦略の立案

学生受入方針（アドミッション・ポリシー）を周知するため、また本学と各学部の特徴や魅力を周知するために、次年度以降の広報活動の基本方針「群馬大学学生募集に係わる広報戦略」を作成した。

## 3.5 入学者の追跡調査

入試の状況、各種アンケート及び入学後の成績等、入学者の追跡調査結果については、平成 25 年 12 月に入学者選抜方法研究報告書を作成し、次年度以降の入試改革に役立てることとした。

## 3.6 その他

入試ミス等を未然に防止するため、新たに「入学試験に係わる確認対応ガイドライン」を作成し、より公正かつ公明な入学者選抜が実施できるよう、実施体制の強化を図った。また、本学や国の入学者選抜に関する施策に即座に対応できるよう、「群馬大学入学者選抜改善に関する検討課題」を取りまとめた。

### 資料

1. 平成 25 年度報告資料
2. 平成 25 年度群馬大学及び学部別オープンキャンパス参加者数
3. 平成 25 年度群馬大学オープンキャンパス (8/3.4) アンケート結果

## 学生受入センター 平成 25 年度報告資料

### 3. 2. 1

#### 群馬大学オープンキャンパス

| 開催日            | 会場      | 主な対象者    | 主催       |
|----------------|---------|----------|----------|
| 8月3日(土), 4日(日) | 荒牧キャンパス | 高校1, 2年生 | 学生受入センター |

### 3. 2. 2

#### 各学部オープンキャンパス

| 開催日      | イベント名            | 主な対象者 | 主催     |
|----------|------------------|-------|--------|
| 7月15日(月) | 教育学部オープンキャンパス    | 高校3年生 | 教育学部   |
| 7月20日(土) | 社会情報学部オープンキャンパス  | 高校3年生 | 社会情報学部 |
| 7月27日(土) | 理工学部オープンキャンパス    | 高校生   | 理工学部   |
| 7月28日(日) | 理工学部オープンキャンパス    | 高校生   | 理工学部   |
| 7月30日(火) | 医学部医学科オープンキャンパス  | 高校3年生 | 医学科    |
| 8月9日(金)  | 医学部保健学科オープンキャンパス | 高校3年生 | 保健学科   |
| 9月21日(土) | 理工学部オープンキャンパス    | 高校生   | 理工学部   |

### 3. 3. 1

#### 出前説明会

| 開催日   | 会場      | 主な対象者   | 主催       |
|-------|---------|---------|----------|
| 4月～3月 | 38 高等学校 | 高校1～3年生 | 学生受入センター |

#### 出張模擬授業

| 開催日   | 会場      | 主な対象者   | 主催       |
|-------|---------|---------|----------|
| 4月～3月 | 61 高等学校 | 高校1～3年生 | 学生受入センター |

#### 大学見学

| 見学日   | 回数      | 見学者          | 対応            |
|-------|---------|--------------|---------------|
| 4月～3月 | 13 高等学校 | 高校生, 保護者, 教諭 | 学生受入センター, 各学部 |

### 3. 3. 2

#### 進学相談会

| 開催日   | 会場・相談者数     | 主な対象者        | 主催       |
|-------|-------------|--------------|----------|
| 4月～3月 | 33 会場・956 人 | 高校生, 保護者, 教諭 | 学生受入センター |

### 3. 3. 4

#### 高等学校等の教員を対象とした入学試験に関する説明会

| 開催日      | 会場・参加高等学校数・参加者数      | 主な対象者  | 主催       |
|----------|----------------------|--------|----------|
| 7月23日(火) | 荒牧キャンパス・63 高等学校・98 人 | 進路指導教諭 | 学生受入センター |

## 平成 25 年度群馬大学及び学部別オープンキャンパス参加者数

(単位:人)

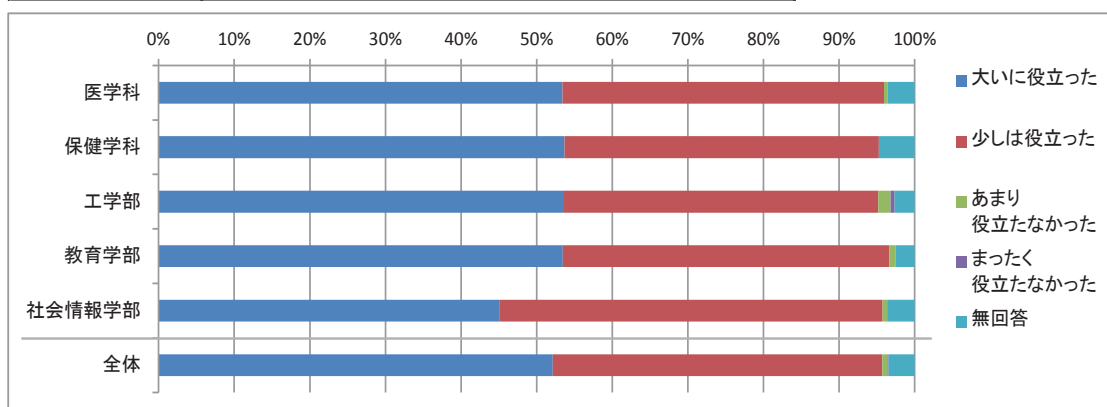
| 区 分                            | 開 催 日    | 参 加 者 |       |       |
|--------------------------------|----------|-------|-------|-------|
|                                |          | 25年度  | 24年度  | 比較増△減 |
| 群馬大学<br>オープンキャンパス              | 8月3日(土)  | 1,928 | 1,601 | 327   |
|                                | 8月4日(日)  | 1,592 | 1,617 | △ 25  |
| 小 計                            |          | 3,520 | 3,218 | 302   |
| 教育学部<br>オープンキャンパス              | 7月15日(月) | 628   | 671   | △ 43  |
| 社会情報学部<br>オープンキャンパス            | 7月20日(土) | 228   | 242   | △ 14  |
| 医学部医学科<br>オープンキャンパス            | 7月30日(火) | 334   | 367   | △ 33  |
| 医学部保健学科<br>オープンキャンパス           | 8月9日(金)  | 676   | 786   | △ 110 |
| 理工学部<br>オープンキャンパス<br>(桐生キャンパス) | 7月27日(土) | 780   | 945   | △ 165 |
|                                | 7月28日(日) | 861   | 758   | 103   |
|                                | 9月21日(土) | 278   | 581   | △ 303 |
| 小 計                            |          | 1,919 | 2,284 | △ 365 |
| 合 計                            |          | 7,305 | 7,568 | △ 263 |

## 平成 25 年度群馬大学オープンキャンパス（8/3,4）アンケート結果 オープンキャンパス参加者の感想等

### （１）オープンキャンパス全体について

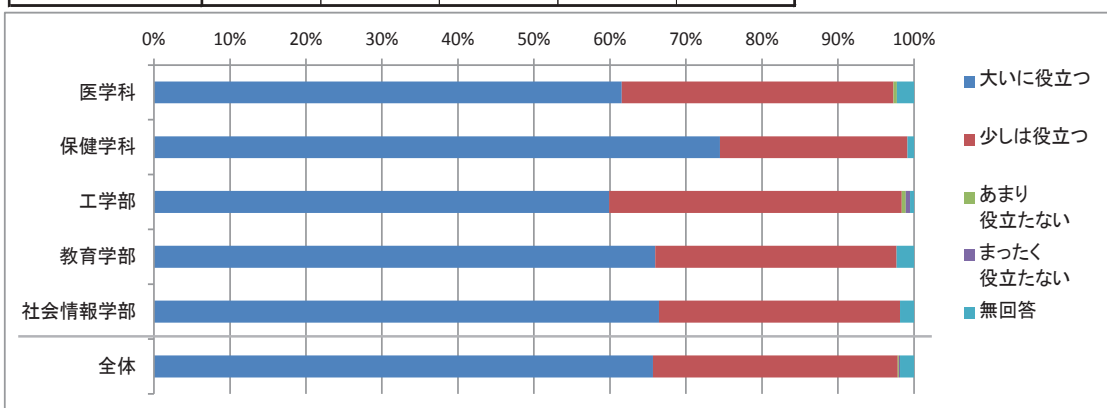
#### ①【学部別】オープンキャンパスは進路選択の役に立ったか

| 回答項目<br>学部・学科 | 大いに役立った | 少しは役立った | あまり役立たなかった | まったく役立たなかった | 無回答 |
|---------------|---------|---------|------------|-------------|-----|
| 医学科           | 118     | 94      | 1          | 0           | 8   |
| 保健学科          | 124     | 96      | 0          | 0           | 11  |
| 工学部           | 100     | 78      | 3          | 1           | 5   |
| 教育学部          | 256     | 207     | 4          | 0           | 12  |
| 社会情報学部        | 74      | 83      | 1          | 0           | 6   |
| 不明            | 5       | 8       | 0          | 1           | 3   |
| 全体            | 677     | 566     | 9          | 2           | 45  |



#### ②【学部別】配付資料は進路選択の役に立つか

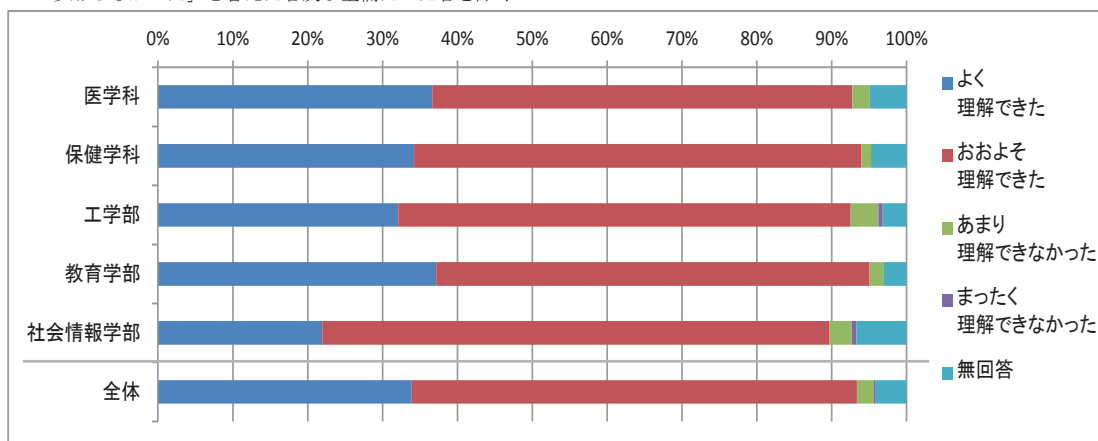
| 回答項目<br>学部・学科 | 大いに役立つ | 少しは役立つ | あまり役立たない | まったく役立たない | 無回答 |
|---------------|--------|--------|----------|-----------|-----|
| 医学科           | 136    | 79     | 1        | 0         | 5   |
| 保健学科          | 172    | 57     | 0        | 0         | 2   |
| 工学部           | 112    | 72     | 1        | 1         | 1   |
| 教育学部          | 316    | 152    | 0        | 0         | 11  |
| 社会情報学部        | 109    | 52     | 0        | 0         | 3   |
| 不明            | 8      | 6      | 0        | 1         | 2   |
| 全体            | 853    | 418    | 2        | 2         | 24  |



## (2) 【学部別】学部別説明会について（参加者の理解度）

| 回答項目<br>学部・学科 | よく<br>理解できた | おおよそ<br>理解できた | あまり<br>理解できな<br>かった | まったく<br>理解できな<br>かった | 無回答 |
|---------------|-------------|---------------|---------------------|----------------------|-----|
| 医学科           | 81          | 124           | 5                   | 0                    | 11  |
| 保健学科          | 79          | 138           | 3                   | 0                    | 11  |
| 工学部           | 60          | 113           | 7                   | 1                    | 6   |
| 教育学部          | 178         | 277           | 9                   | 0                    | 15  |
| 社会情報学部        | 36          | 111           | 5                   | 1                    | 11  |
| 全体            | 434         | 763           | 29                  | 2                    | 54  |

※集計対象からは、アンケート内の「どの学部・学科の説明会に参加しましたか。」の問に対して、「参加しなかった」と答えた者及び空欄だった者を除く



### <備考>

#### アンケート回答者数

|      | 医学科 | 保健学科 | 理工学部 | 教育学部 | 社会情報学部 | 不明 | 全体(延べ) |
|------|-----|------|------|------|--------|----|--------|
| 回答者数 | 192 | 197  | 98   | 300  | 65     | 2  | 854    |

学部の区分は、アンケート内の「どの学部・学科の説明会に参加しましたか」の問による。  
不明は、アンケート内の「どの学部・学科の説明会に参加しましたか」の問について、  
「参加しなかった」と回答した者、及び空欄だった者の数。

#### 回答率

総回答者数（854）／アンケート対象者数（2,649）×100＝ 32.2（％）



## 4 健康支援総合センター

### 4.1 はじめに

健康支援総合センターは、学生及び教職員の心身の健康の保持増進を図るため、健康診断をはじめ、事後措置と指導助言、身体的及び精神的な健康相談、健康教育、健康に係る調査及び研究を行っている。

健康支援総合センターの活動は、第1期、第2期中期計画に従い、石川健康支援総合センター長の下に着実に確実に発展をしてきているが、大学を取り巻く環境が変化していく中で、更なる進展が必要であり、配置されている医療職が絶対的に不足している。これは、第1期中期計画で改善されるべき課題であったが、第2期中期計画として引き継がれ進行中である。

今回は、平成25年度の健康支援総合センターの活動を報告する。

### 4.2 平成25年度年間業務実施概要

平成25年度に新規に実施した事項は、下記の3項目である。

- ①荒牧キャンパスにおいて、カウンセラー（学外臨床心理士）によるカウンセリング時間をさらに増やすことで学生への便宜を向上させた。
- ②発達障害の可能性のある学生への支援について、障害学生支援室との連携を深めた。
- ③特殊健診に該当する理工学部大学院生に同健診を実施した。

それぞれについて、詳しく報告したい。

#### 1) 荒牧キャンパスにおけるカウンセラーによるカウンセリング対応回数及び曜日の拡充

これまで、荒牧キャンパスでは、カウンセラー（学外臨床心理士）1名による週1日の相談日をもうけていた。しかし、希望者が増加し、かつ発達障害傾向のあることが疑われる希望者が増加しているところから、週半日、カウンセラー（学外臨床心理士）を1名追加した。

#### 2) 発達障害学生への支援策

障害学生支援室の発達障害担当教員・スタッフと当センター精神科医師が綿密な連携を取る体制が組まれた。平成26年1月には、群馬県発達障害支援センター前所長を講師として、当センターと障害学生支援室の共催で発達障害の学生への対応に関するシンポジウムを開催した。

また、その内容に関して理工学部教員への説明会を実施し、桐生キャンパスとの連携を促進した。

#### 3) 有害作業に従事する理工学部4年生及び大学院生に労働安全衛生法に基づく特殊健康診断の実施

特殊健康診断の受診対象者は、「常時使用する労働者」であり、教職員、非常勤職員であるが、当該教員の研究・実験に関わる学生も同様の環境下にあることから特殊健康診断の対象とすることが必要であると考えられた。「特殊健康診断を受診している教員の研究室に配属している学部4年生及び大学院生」、「作業環境測定結果が、第二及び第三管理区域であった研究室に配属している学部4年生及び大学院生」を対象に実施した。

その結果、受診者261名中、異常なし250名、要経過観察者1名、要精密検査者は10名であった。要精密検査の学生には、医療機関を受診し精査を受けるよう指導した。

## 4.3 学生定期健康診断

### 4.3.1 学生定期健康診断状況

平成 25 年度の学生定期健康診断は、資料 1 に示す日程で実施した。

学生定期健康診断は、医学部附属病院から延べ 32 名（桐生地区派遣の医師を含む）の医師の派遣の協力を得て実施した。また、検査及び診察補助を目的に看護師を前橋地区の健康診断に延べ 42 名、学外機関へ派遣依頼した。

### 4.3.2 学生定期健康診断受診状況

受診状況は、資料 2 に示すとおりである。学部学生の受診率は前橋地区では全体で 86.0%（数値は「内科診察」を示す。以下同様）、桐生地区では全体で 88.5%と極めて良好である。この受診率は全国的にもトップレベルである。学部別では教育学部 97.6%，社会情報学部 91.6%，医学部医学科 85.4%，医学部保健学科 97.9%，理工学部 1 年 99.4%，工学部昼間 2 年以上 90.0%，工学部夜間主 67.3%であった。

1 年生だけを見ると教育学部 98.7%，社会情報学部 99.0%，医学部医学科 100%，医学部保健学科 98.8%，理工学部 97.4%とほぼ全員が例年と同様に受診した。

大学院生の受診率は、医学系研究科が 22.1%と極端に低値であった。医学系研究科の院生は医療機関に就業している社会人が多く、所属先の医療機関で健康診断を受けているので大学での健康診断の必要を要しないなどの可能性が考えられた。

外国人留学生に対しては後の 4.4 の項で述べるようにクオンティフェロン TB ゴールド検査をして結核感染のチェックをしているが、発病に関しては胸部レントゲン検査が欠かせないので、指導教員からの受診への指導が必要である。

### 4.3.3 健康診断時における精神保健調査

#### 1) 新入生の精神保健調査

新入生については、入学時提出のメンタルヘルスチェック質問票（新入生版）を基に要面接者を抽出し、健康支援総合センター精神科医師、臨床心理士及び附属病院精神科医師 10 名による面接を行った。対象学生は、各学部入学生と同質問票（新入生版）提出者と、大学院入学生（医学部・理工学府を除く）、特別支援教育特別専攻科、編入生（社会情報学部・医学部・工学部）である。結果は資料 3 のとおり。

#### 2) 在校生の精神保健調査

在校生については、健康診断時提出のメンタルヘルスチェック質問票（在校生版）を基に要面接者を抽出し、健康支援総合センター精神科医師、臨床心理士による面接を行った。対象学生は、荒牧・昭和・桐生・太田地区のメンタルヘルスチェック質問票（在校生版）提出者である。結果は資料 3 のとおり。

#### 3) 質問内容

昨年度に改訂された新入生 37 項目、在校生 22 項目からなる Gunma University Mental-health Inventory を今年度も用い、抑うつ状態、気分変調、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴、発達障害支援希望についてスクリーニングした。

#### 4) 結果の分析

受診者数は新入生、在校生ともに大きく増加している。それに伴い受診率も増加している。

要面接者数の割合は新入生が昨年度の 4.8%から 3.0%へと減少、在校生は 2.6%から 2.0%と微減した（ただし、このうち実際に面接を受けた者は微増）。

新入生の要面接者は減少したが、スクリーニング基準は同じであり、メンタルヘルス不調の中核群の抽出は堅持されている。在校生においては医学部の陽性率が半減している。

## 4.4 外国人留学生健康診断状況

外国人留学生の特別健康診断を毎年 11 月頃に行っている。メンタルヘルスチェック質問票によるスクリーニングを継続的に実施している。平成 21 年度からは結核感染検査が加わっている。感染性結核は留学生では過去に 3 名が発見されている。ツベルクリン検査と比較してより適切に診断できるクオンティフェロン TB ゴールド検査を用いている。

受診率及び検査結果を資料 4 に示す。陽性者、擬陽性者に対しては、4 月に胸部レントゲン検査を受けて異常がなかった者については毎年必ず胸部レントゲン検査を受けるように指導し、それ以外の者については医療機関を紹介した。

## 4.5 ウイルス性疾患抗体検査

本学では附属病院での臨床実習を安全に行うための教育上の安全配慮策として医学部が主体で平成 18 年度から医学部の新入生全員に対して麻疹、風疹、水痘、ムンプス（流行性耳下腺炎）、B 型肝炎に対する抗体価を測定して陰性者にワクチンの接種を行うこととなった。具体的には、採血検査及び麻疹、風疹、水痘、ムンプスのワクチン接種は医学部附属病院感染制御部が、抗体価検査は同検査部が行っている。B 型肝炎ワクチン接種は医学部の委嘱により健康支援総合センターが行っている。資料 5 に示すようにワクチン接種前の B 型肝炎ウイルス抗体陽性者は 3.0%であった。

麻疹、風疹、水痘、ムンプスの抗体検査の結果を資料 5 に示す。抗体が陰性の者に対しては医学部附属病院感染制御部がワクチン接種を行った。

新入生に対する検査及びワクチン接種の意義の説明は医学部の判断で行っており、ワクチン接種に関わる個別指導及び副反応への対応は健康支援総合センターで行っている。

## 4.6 健康支援総合センター利用者等

健康支援総合センターで行った健康相談の人数、件数、内容について報告する。

### 4.6.1 利用者数

健康支援総合センターの利用件数を所属学部別に分類した結果を資料 6 に示す。荒牧キャンパス所属以外の学生数は荒牧キャンパスに来ている時に利用した者の数である。年間延べ 797 名の利用があり、前橋地区の学生の約 3 人に 1 人が利用したことになる。

### 4.6.2 利用件数

利用件数を健康相談、精神保健相談、健康診断書の発行の 3 つに分類し月別に集計した結果を資料 7 に示す。

この表での「健康相談」は、応急処置を含む「からだの」健康相談を指す。

健康診断書は、各キャンパスから自動発行されるようになったこと、及び就職時の提出が義務づけられなくなったことから健康支援総合センターからの発行数は激減している。

しかし、様式が決められている健康診断書については手書きで発行しており、その数は 78 通であった。学校保健安全法に定められている検査項目以外の項目について記入を求められた場合は、所属学部の担当部署を通して医療機関で作成していただくように指導している。

### 4.6.3 疾病領域別利用者数

疾病領域別利用者数を月ごとに集計した表を資料 8 に示す。精神科 305、呼吸器系 120、外科・整形外科 88、内分泌・代謝系 39、と続く。

精神科は昨年とほぼ同数であり、心理的な支援に関わる臨床心理士によるカウンセリングと、より医療的な支援に関わる精神科医師によるメンタルヘルス相談が中心である。

呼吸器系疾病はほとんどがいわゆる風邪である。

外科・整形外科 88 名は外傷、捻挫が殆どである。

風邪と外傷の利用者が約 208 名で全体の約 28%を占めている。

#### 4.6.4 医療機関紹介の診療科分類

健康支援総合センターから他の医療機関へ紹介した患者を資料 9 に示す。精神科を含めて延べ 120 回に及ぶ紹介をしている。

#### 4.6.5 薬剤別処方日数

健康支援総合センターで処方した薬剤の量を投与日数で集計し、資料 10 に示す。合計 603 日分を処方した。解熱・消炎・鎮痛剤、感冒剤が 75%を占めている。向精神薬については、該当薬品は扱っていない。

#### 4.6.6 常備薬使用数

上記の内容を使用薬剤毎に月毎に集計して資料 11 に示す。錠剤は 1 錠、軟膏等外用薬は 1 本、1 瓶を 1 単位として算定した。総合計 1,600 単位中で感冒剤である PL 顆粒が 727 単位と圧倒的に多い。次が解熱・消炎・鎮痛剤 576 単位、これらのほとんどは抗生剤と合わせて主に上気道感染症に使用したものである。次いで整腸剤、抗胃炎剤の合計が 167 単位で続く。次いで湿布剤の 31 単位となる。これら 4 種類の合計が 1,501 単位と処方の 93.8%を占めている。

### 4.7 健康相談・精神保健相談

#### 4.7.1 健康相談・精神保健相談

健康相談をからだの健康相談とこころの健康相談に分けて集計した結果を資料 12 に示す。

「健康相談」は、応急処置を含む「からだの」健康相談を指す。学校医である産科婦人科医師に定期的に予約制で「レディースクリニック」を開催しているのでその利用数も示した。婦人科受診をためらっている女子学生たちにとっては極めて大切な外来となっている。

「精神保健相談」はこころの健康相談を指す。健康支援総合センター内での利用者数（主に荒牧、昭和キャンパス）を示し、精神科医師によるものを「メンタルヘルス相談」、臨床心理士によるものを「カウンセリング」と表した。「カウンセラー紹介」は学外のカウンセリング機関への紹介を指す。

救急転送は 3 件であった。原則は前橋市の救急車による医学部附属病院への搬送であるが、場合によってはタクシーによる搬送を行っている。必要に応じて看護師が添乗することになっている。

#### 4.7.2 精神保健相談者数

精神保健相談者数を資料 13 に示す。

なお、学生支援センターで毎年 2 回行う学生の欠席状況調査後の教員との面談で、担当教員から「精神科医との面談が必要」と判断された学生に対してもセンター精神科医師がメンタルヘルス相談を行っており、本人が来所した事例ではその数を含めている。

また、表中の件数には含まれないが、1 件のケースに付随して家族や担当教員との面接、電話相談、メール相談が多数存在する。最近は家族の方から面接を希望するケースが増えてきている。

今後とも精神保健相談者数は量、質共に増加することが予測され、カウンセリング時間の



増加を検討する必要がある。

## 4.8 学外臨床心理士による心理カウンセリング数

この業務は平成 19 年度から荒牧，昭和，桐生の 3 キャンパスで開始し，その後，平成 21 年 10 月から太田も含め全 4 キャンパスで実施している。利用者数は資料 14 のとおりである。開設時間は荒牧では週 1.5 日，昭和では週 1 日，桐生では週 2.5 日，太田では隔週 3 時間である。

昨年度に比較し利用者数や利用回数は 10%～20%増加しており，対応の難しい相談が増えているという報告がある。

なお，教職員に対するメンタルヘルス相談あるいはカウンセリングは，応急的な対応に限っても年間に 18 回あった。守秘義務や適切な薬物療法提供に鑑みても現在の環境では限界があり，可能な限り外部の心療内科・精神科等の医療機関で診療を受けるように助言している。労働安全衛生法の改正（メンタルヘルスチェック法）が迫っており，今後は大学として教職員のメンタルヘルスへのシステムティックな取り組み，たとえば適切な外部機関（EPA）委嘱などを検討する必要がある。

## 4.9 教員による教養教育への参加等教育への参加状況

健康支援総合センターの教員は教養教育の講義を担当している。具体的には健康学原論の中で前期に内科医，精神科医がそれぞれ 90 分の講義を 5 回行った。

内科医は「大学生に必要な保健知識（酒の健康学，たばこへの対応，避妊と性感染症，依存症）」，精神科医は「精神の健康」をテーマに 1 年生を対象に講義を行った。

また，3 月 17 日に学務部主催の第 29 回クラブ・サークルリーダーシップ研修会において，内科医が「急性アルコール中毒はなぜ起きる，起きるとどうなる」と題して 90 分間の講演を行った。

精神科医は，医学部非常勤講師として医学科 3 年生臨床行動科学講義「心の健康を保つには」（1 コマ）を行った。また，前任校との関連で，埼玉大学教育学部非常勤講師として「公衆衛生 A」「公衆衛生 B」「精神保健」「文化と教育」（各 15 コマ）の講義を行った。その他，前橋市まちなかキャンパス講師として一般市民を対象に「家庭と Bar で楽しむカクテルの文化」の講義を計 5 回行った。

## 4.10 教員による健康管理に関する調査研究業務

I：内科医

論文発表：

- 1 保健施設内の看護職による簡単な支援を中心に据えた肥満大学生に対する減量指導の効果

大島喜八，上原 徹，八重樫聡子，小野里清美，劔持久美華

群馬大学健康支援総合センター，同理工学部保健室，同医学部学生健康支援室  
CAMPUS HEALTH 50(1): 244-246, 2013

- 2 新入生に対する摂食障害スクリーニングと早期対応の試み

上原 徹，大島喜八，八重樫聡子，小野里清美，劔持久美華，

鈴木志津，大須賀英理，諸星聡美，谷田部美佳，酒井晃洋

群馬大学健康支援総合センター CAMPUS HEALTH 51(1): 519-521, 2013

3 ; Tuberculosis screening using a T-Cell interferon-  $\gamma$  release assay in Japanese medical students and non-japanese international students  
Takayuki Ogiwara, Takao Kimura, Yutaka Tokue, Mumi Watanabe, Makoto Nara, Toshiko Obuchi, Akiko Yaegashi, Sachie Yomoda, Kihachi Ohshima, and Masami Murakami  
Tohoku J.Exp. Med. 230: 87-91, 2013

4 ; Seroprevalence of measles-and mumps-specific immunoglobulin G among Japanese healthcare students increased during 2007-2012  
Kimura T., Tsunekawa K., Ogiwara T., Tokue Y., Nara M., Inoue T., Obuchi T., Suto C., Ohshima K., Murakami M. Jpn. J. Infect Dis. 66:411-5, 2013

学会発表：

肥満学生の過半数は高インスリン，高ALT血症を示す－肥満690例での検討－  
大島喜八，竹内一夫，八重樫聡子，小野里清美，佐藤泰子  
群馬大学健康支援総合センター，同理工学部保健室，同医学部学生健康支援室  
第51回全国大学保健管理研究集会 2013年11月13-14日 岐阜

平成24-25年度文部科学省科学研究費：

「最終教育機関である大学で行うメタボリック症候群数増加阻止ストラテジーの立ち上げ」  
(課題番号24650439 挑戦的萌芽研究 研究代表者 大島喜八)

## II 精神科医

平成25-27年度文部科学省科学研究費：

「学校現場の日常的活動の中で実施できる児童生徒の自殺予防プログラムの開発と応用」  
(課題番号25350837 基盤研究(C) 研究代表者 竹内一夫)

## 4.11 健康支援総合センター主催の委員会等

下記の会議を主催した。

### 1) 第18, 19, 20回 健康支援総合センター運営委員会

議題は各健康支援総合センター運営委員会次第(資料15)のとおりである。

運営委員会の議題については，平成19年度より健康支援総合センターから審議希望事項を各学部呼びかけて募っている。なお，第19回健康支援総合センター運営委員会で決定された業務内容が平成26年度の業務として実施される。

### 2) 平成25年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会「大学生における発達障害」(講師 安田淑美 前群馬県発達障害者支援センター所長)(平成26年1月10日)

### 3) 群馬県内大学等保健管理担当者会議(9月13日，1月10日)

群馬県内の大学，高専の保健管理担当実務者及び事務担当者の出席により開催した。

#### 第10回群馬県内大学等保健管理担当者会議

9月13日に荒牧キャンパスで開催，17校21名が参加した。

全国大学保健管理研究集会等各種研究会の報告，「健康ミニガイド2014」について協議した。

情報交換：学生健康診断の検査項目について

#### 第11回群馬県内大学等保健管理担当者会議

1月10日に荒牧キャンパスで開催し，14校16名が参加した。

全国大学保健管理研究集会等各種研究会の報告，「健康ミニガイド2014」について協議した。



情報交換：学生のインフルエンザ予防接種の対応について，新入生の風疹予防接種対応について

#### 4.12 平成 25 年度健康支援総合センター運営委員会委員

平成 25 年度の健康支援総合センター運営委員会の委員は健康支援総合センター運営委員会名簿（資料 16）のとおりである。

#### 4.13 健康支援総合センターの全国会議等出席

下記の全国会議等に健康支援総合センターの教職員が出席した。全国会議等への出席は，組織の機能の維持，発展を図るための研修，情報交換として必須である。

- 1) 第 51 回 全国大学保健管理研究集会  
副センター長，看護師が出席，発表 開催地：岐阜 11 月 13 日～14 日
- 2) 平成 25 年度 国立大学法人保健管理施設協議会総会  
副センター長がセンター長の代理で出席 開催地：愛知 11 月 15 日
- 3) 第 51 回 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会  
副センター長，精神科医，看護師が出席 開催地：茨城 8 月 8 日，9 日
- 4) 平成 25 年度全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会 幹事会  
副センター長が出席 8 月 8 日：茨城
- 5) 平成 25 年度全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会  
保健・看護分科会運営委員会  
看護師 3 回出席 8 月 8 日：茨城，9 月 19 日，1 月 23 日：東京

#### 4.14 学内行事実施に伴う救護業務

下記の学内行事に教職員が救護活動を行った。

- 1) 教育学部体育大会
- 2) 社会情報学部スポーツ大会
- 3) 群馬大学オープンキャンパス
- 4) 教育学部，社会情報学部推薦入学試験
- 5) 関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
- 6) 大学入試センター試験
- 7) 個別学力検査（前期，後期）
- 8) 学位記授与式

#### 4.15 出版・広報活動

平成 25 年度は下記の出版，広報活動を行った。

- 1) 「健康ミニガイド（2013 年度ぐんま版）よりよいキャンパスライフを送るために」を発行した。  
先に示した群馬県内大学等保健管理担当者会議が編集した大学生の保健必須事項をまとめて冊子にしたもので新入生全員に（1,300 部）配布した。
- 2) 「群馬大学大学教育・学生支援機構報告書 健康支援総合センター」の平成 24 年度の原稿を作成して提出した。
- 3) 学生全員に健康支援総合センター案内と自己管理用の携帯用カードを作成し配布した。

## 4.16 社会貢献活動

健康支援総合センターの教員は、専門性を生かして下記の社会貢献活動を行った。

精神科医

外部委員やコンサルテーション、嘱託医

平成 25 年度 埼玉大学教育学部非常勤講師

平成 25 年度 群馬大学医学部非常勤講師（公衆衛生，精神医学）

群馬地方労働審議会委員

## 4.17 その他の活動

- 1) 荒牧事業場安全衛生委員会への出席  
産業医を兼務している副センター長が毎月 1 回出席した。
- 2) 若宮事業場安全衛生委員会への出席  
産業医を兼務している副センター長が年 3 回出席した。
- 3) 荒牧事業場の事務局の職場巡視  
産業医を兼務している副センター長が原則的に月 1 回（年に 10 回）行った。

## 4.18 キャンパス・ソーシャルケースワーカーの活動

キャンパス・ソーシャルケースワーカーは、平成 22 年 6 月から桐生キャンパスに配置され、担当教員からの連絡が付かない状態の学生、休学中の学生など大学との関係が取れていない学生を担当の教員に結びつける作業を行った。対象学生は担当教員及び担当カウンセラーから依頼のあった者とした。平成 25 年度は 15 名の学生への対応の要求が出された。依頼した教員からは良好な評価を得ているので、今後とも更なる介入の工夫と技術の向上を図りながら経験を蓄積することにより機能の向上をめざしたいと考えている。

## 4.19 健康維持・向上相談員の活動

本事業は、平成 23 年 10 月から開始され、昭和キャンパスに週に 19 時間（毎日正午から午後 4 時まで（金曜日は 3 時まで））看護師を健康維持・向上相談員として配置した。

病院の感染制御部が行う医学部学生へのインフルエンザワクチン接種時の医師への補佐や学生へのカウンセラーの誘導、週末に受診できる医療機関の情報提供、休養ベッドの効果的な利用について、健康維持・向上相談員は効果的に機能した。昭和キャンパスで生活をしている学生にとっては、午後の昼休みを利用して様々な医療情報を簡単に確実に得られるという新たな財産を得たことになり、今後の利用は確実に増加すると考えている。

健康支援総合センターと健康維持・向上相談員とは、電話、電子メールで常時連絡が取れているので、健康維持・向上相談員が必要な情報は健康支援総合センターの医師や看護師から即座に受けることができるようになっている。

## 4.20 健康支援総合センターの抱える問題点と改善の方向性

6 年前の平成 19 年度の報告書の中で、解決可能事項として下記の 4 項目を挙げたが、その進捗状況について報告する。

- 1) 学生の定期健康診断時の胸部レントゲン撮影経費は、健康支援総合センター経費からでなく、実費の全額を大学が直接支払う方式とする。
- 2) 工学部キャンパスでの学外臨床心理士による実施時間の増加

3) 昭和キャンパスへの医療職の配置

4) 外国人留学生の感染性肺結核対策の徹底

1) については、胸部レントゲン検査経費を含めた前年度の実績に応じた健康診断経費が健康支援総合センターの予算として配分されるようになって実質的に解決できた。

2) については、平成22年度から隔週に半日ではあるがキャンパス・ソーシャルケースワーカーを配置し、平成23年度からは毎週に拡大すること、及び平成24年度からの学外カウンセラーの時間の拡大をすることで大きな進展をした。しかし、桐生キャンパスにおけるメンタルヘルス対策は抜本的な解決には至っていない。将来的には、桐生キャンパスに常駐する精神科医を配置したい。日常的に配置が困難であれば、非常勤の精神科医を週に半日数回程度配置することを検討したい。

3) については、平成23年10月から昭和キャンパスに週に19時間（4時間4日間、3時間が1日）看護師を「健康維持・向上相談員」として配置することができ、ほぼ解決した。

4) については、平成21年度から留学生に対してクオンティフェロンTBゴールド検査を毎年行うことで解決された。

## 4.21 健康支援総合センター資料集

資料1：平成25年度前橋地区学生定期健康診断日程表

平成25年度桐生・太田地区学生定期健康診断日程表

資料2：平成25年度学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区）

平成25年度学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区）

資料3：平成25年度精神保健調査

資料4：平成25年度外国人留学生健康診断結果

資料5：平成25年度医学部1年ウイルス性疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）抗体価検査 他

資料6：平成25年度利用人数

資料7：平成25年度利用件数

資料8：平成25年度疾病領域別利用者数

資料9：平成25年度医療機関紹介の診療科分類

資料10：平成25年度薬剤別使用数（処方日数による）

資料11：平成25年度常備薬使用数

資料12：平成25年度健康相談・精神保険相談の対応内容

資料13：平成25年度精神保健相談者数

資料14：平成25年度学外臨床心理士による心理カウンセリング報告

資料15：第18回（平成25年度第1回）健康支援総合センター運営委員会次第 他

資料16：平成25年度健康支援総合センター運営委員会委員名簿

## 4.21 健康支援総合センター資料集

資料1

### 平成 25 年度 前橋地区学生定期健康診断日程表

| 受付時間<br>実施日             | 午 前                                                                  |                                    | 午 後                                       |                       | 対象数(概数)<br>3, 920人                 |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------|
|                         | 9:00～10:15<br>(75分)                                                  | 10:15～11:30<br>(75分)               | 13:00～14:15<br>(75分)                      | 14:15～16:00<br>(105分) |                                    |
| 4. 1(月)<br>※全学オリエンテーション | 医学部(医学科・保健学科)4年                                                      |                                    | 社会情報学部2年                                  | 社会情報学部3年              | 午前585人<br>午後330人<br>合計915人         |
|                         | 医学部医学科5年                                                             |                                    | 社会情報学部4年                                  |                       |                                    |
|                         | 大学院(医学系, 保健学)2～4年                                                    |                                    |                                           |                       |                                    |
| 4. 2(火)                 | 理工学部1年<br>(機械知能システム) (環境創生) (化学・生物化学) (電子情報)<br>(総合理工)               |                                    |                                           |                       | 午前260人<br>午後300人<br>合計560人         |
| 4. 3(水)                 | 医学部保健学科1年<br>(検査・理学・作業)<br>(ワクチン接種用採血あり)                             | 医学部保健学科1年<br>(看護)<br>(ワクチン接種用採血あり) | 医学部医学科1年<br>(ワクチン接種用採血あり)                 |                       | 午前235人<br>午後205人<br>合計440人<br>+ α  |
|                         | 大学院(医学系, 保健学)1年                                                      |                                    | 医学部医学科2年次編入生(ワクチン接種用採血あり)                 |                       |                                    |
|                         |                                                                      |                                    | 医学部保健学科3年次編入生(ワクチン接種用採血あり)                |                       |                                    |
|                         | 予 備 日                                                                |                                    |                                           |                       |                                    |
|                         |                                                                      |                                    |                                           |                       |                                    |
| 4. 4(木)<br>※学部オリエンテーション | 教育学部1年                                                               |                                    | 特別支援教育特別専攻科                               |                       | 午前270人<br>午後230人<br>合計500人<br>+ α  |
|                         |                                                                      |                                    | 大学院(教育学)1～2年                              |                       |                                    |
|                         |                                                                      |                                    | 社会情報学部1年                                  |                       |                                    |
|                         |                                                                      |                                    | 社会情報学部3年次編入生                              |                       |                                    |
|                         |                                                                      |                                    | 大学院(社会情報学)1～2年                            |                       |                                    |
| 予 備 日                   |                                                                      |                                    |                                           |                       |                                    |
| 4. 5(金)<br>※入学式         | 医学部(医学科・保健学科)2年                                                      |                                    | 医学部(医学科・保健学科)3年                           |                       | 午前400人<br>午後400人<br>合計800人         |
|                         | 医 学 部 医 学 科 6 年                                                      |                                    |                                           |                       |                                    |
|                         | 大学院(医学系, 保健学)2～4年                                                    |                                    |                                           |                       |                                    |
| 4. 8(月)                 | 教 育 学 部 2 年<br>(国語・社会・英語・<br>数学・理科・技術)                               |                                    | 教 育 学 部 3 年<br>(国語・社会・英語・<br>数学・理科・技術)    |                       | 午前355人<br><br>午後350人<br><br>合計705人 |
|                         | (音楽・美術・<br>家政・保健体育・<br>教育・教育心理・<br>障害児教育)                            |                                    | (音楽・美術・<br>家政・保健体育・<br>教育・教育心理・<br>障害児教育) |                       |                                    |
|                         | 教 育 学 部 4 年<br>(国語・社会・英語) (数学・理科・技術) (音楽・美術・保健体育) (家政・教育・教育心理・障害児教育) |                                    |                                           |                       |                                    |

※ 健康診断項目: 既往歴・身体計測・血圧測定・検尿・胸部X線撮影・内科診察・アンケート

※ 健康診断会場: 健康支援総合センター

- 1) 原則として割り当てられた日程で健康診断を受けてください。都合の悪い方は、予備日を利用して受けてください。
  - 2) 健康診断を受けないと健康診断書の発行はできません。
  - 3) 学部第1年次生の健康診断日程については、当該年度の教養教育授業時間割により、同一健康診断日の範囲内で変更する場合があります。
  - 4) 4/8(月)の授業は、休講としない予定ですので、学生は授業に差し支える場合は、都合の良い時間又は予備日に受けてください。
  - 5) 1年生の学籍番号は、全学オリエンテーションのときに書面で配付します。追加合格のある講座等については検討します
  - 6) 理工学部総合理工学科(フレックス制)1年生で、夜間開講科目を履修する学生は、桐生キャンパスで実施する健康診断を受けることも出来ます。
- 4/1(月)全学共通オリエンテーション(予定)
- 4/4(木)学部別オリエンテーション(予定)
- 4/5(金)入学式(予定)

## 平成 25 年度 桐生・太田地区学生定期健康診断日程表

| キャンパス                           | 検査項目      | 実施日     | 時 間                           | 対 象                                                                      | 対象数(概数)<br>2, 690人 |
|---------------------------------|-----------|---------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 桐<br>生<br>キ<br>ャ<br>ン<br>パ<br>ス | 胸部X線撮影・検尿 | 4／10(水) | 9:00～11:30<br><br>13:00～16:00 | 昼間学生<br><br>大学院生<br><br><small>総合理工学科(フレックス制)<br/>(夜間開講科目のみ履修学生)</small> | 2, 340人            |
|                                 |           | 4／11(木) |                               |                                                                          |                    |
|                                 |           | 4／12(金) |                               |                                                                          |                    |
|                                 | 内科診察・計測   | 4／17(水) | 13:00～17:00                   | 昼間学生<br><br>大学院生<br><br><small>総合理工学科(フレックス制)<br/>(夜間開講科目のみ履修学生)</small> |                    |
|                                 |           | 4／18(木) |                               |                                                                          |                    |
|                                 |           | 4／19(金) |                               |                                                                          |                    |
|                                 |           | 4／24(水) |                               |                                                                          |                    |
| 太<br>田<br>キ<br>ャ<br>ン<br>パ<br>ス | 全項目       | 5／8(水)  | 18:15～19:30                   | 夜間主学生                                                                    | 100人               |
|                                 |           | 5／9(木)  | 10:10～12:00                   | 昼間学生<br><br>大学院生                                                         | 250人               |

- ・クラスごとの実施割り振りは、平成25年度前期授業時間割表により決定する。
- ・授業の空き時間を活用し、全ての実施時間が授業と重なった場合は休講措置とする。
- ・総合理工学科(フレックス制)1年生で、昼間開講科目を履修する学生は、荒牧キャンパスで実施する健康診断を受けてください。

### 1) 健康診断項目

4月10日～12日 胸部X線撮影・検尿・アンケート  
 4月17日～24日 既往歴・身体計測・血圧測定・内科診察  
 5月 8日・9日 胸部X線撮影・検尿・既往症・身体計測・血圧測定・内科診察・アンケート

### 2) 健康診断会場

4月 桐生キャンパス体育館及び7号館  
 5月 太田キャンパス教室



## 平成 25 年度 学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区）

|               | 対象者数  | 血圧測定・尿検査・内科診察 |       | 胸部X線撮影 |       |
|---------------|-------|---------------|-------|--------|-------|
|               |       | 受検者数          | 受検率   | 受検者数   | 受検率   |
| 学 部 合 計       | 3,309 | 3,128         | 94.5% | 3,126  | 94.5% |
| 大 学 院 等 の 合 計 | 574   | 212           | 36.9% | 211    | 36.8% |
| 合 計           | 3,883 | 3,340         | 86.0% | 3,337  | 85.9% |

対象者数は平成 25 年 4 月 1 日現在の学生数とし休学者は除いた。

受検率は小数点第二位を四捨五入

上記の他に、教育学部特別聴講生 4 名，社会情報学部研究生 4 名・特別聴講生 9 名，医学部特別聴講生 1 名，工学研究科 1 年 1 名，工学部 4 年生 4 名が受検した。

### <学部学生>

|         |      | 対象者数  | 血圧測定・尿検査・内科診察 |       | 胸部X線撮影 |       |       |
|---------|------|-------|---------------|-------|--------|-------|-------|
|         |      |       | 受検者数          | 受検率   | 受検者数   | 受検率   |       |
| 教 育 学 部 |      | 1年    | 232           | 229   | 98.7%  | 229   | 98.7% |
|         |      | 2年    | 227           | 223   | 98.2%  | 223   | 98.2% |
|         |      | 3年    | 228           | 225   | 98.7%  | 225   | 98.7% |
|         |      | 4年    | 238           | 226   | 95.0%  | 225   | 94.5% |
|         |      | 合計    | 925           | 903   | 97.6%  | 902   | 97.5% |
| 社会情報学部  |      | 1年    | 104           | 103   | 99.0%  | 103   | 99.0% |
|         |      | 2年    | 103           | 90    | 87.4%  | 90    | 87.4% |
|         |      | 3年    | 128           | 122   | 95.3%  | 122   | 95.3% |
|         |      | 4年    | 139           | 119   | 85.6%  | 119   | 85.6% |
|         |      | 合計    | 474           | 434   | 91.6%  | 434   | 91.6% |
| 医 学 部   | 医学科  | 1年    | 110           | 110   | 100%   | 110   | 100%  |
|         |      | 2年    | 137           | 116   | 84.7%  | 116   | 84.7% |
|         |      | 3年    | 123           | 94    | 76.4%  | 94    | 76.4% |
|         |      | 4年    | 110           | 82    | 74.5%  | 82    | 74.5% |
|         |      | 5年    | 117           | 105   | 89.7%  | 105   | 89.7% |
|         |      | 6年    | 100           | 88    | 88.0%  | 88    | 88.0% |
|         |      | 合計    | 697           | 595   | 85.4%  | 595   | 85.4% |
|         | 保健学科 | 1年    | 169           | 167   | 98.8%  | 167   | 98.8% |
|         |      | 2年    | 165           | 165   | 100%   | 165   | 100%  |
|         |      | 3年    | 164           | 159   | 97.0%  | 159   | 97.0% |
|         |      | 4年    | 175           | 168   | 96.0%  | 168   | 96.0% |
|         | 合計   | 673   | 659           | 97.9% | 659    | 97.9% |       |
|         | 合 計  |       | 1,370         | 1,254 | 91.5%  | 1,254 | 91.5% |
| 理 工 学 部 |      | 1年    | 540           | 537   | 99.4%  | 536   | 99.3% |
| 学 部 合 計 |      | 3,309 | 3,128         | 94.5% | 3,126  | 94.5% |       |

### <大学院学生>

|                 |         |        | 対象者数 | 血圧測定・尿検査・内科診察 |       | 胸部X線撮影 |       |       |
|-----------------|---------|--------|------|---------------|-------|--------|-------|-------|
|                 |         |        |      | 受検者数          | 受検率   | 受検者数   | 受検率   |       |
| 教育学研究科          | 修士課程    | 1年     | 27   | 24            | 88.9% | 24     | 88.9% |       |
|                 |         | 2年     | 25   | 23            | 92.0% | 23     | 92.0% |       |
|                 | 専門職学位課程 | 1年     | 16   | 14            | 87.5% | 14     | 87.5% |       |
|                 |         | 2年     | 18   | 4             | 22.2% | 4      | 22.2% |       |
| 教育学部特別支援教育特別専攻科 |         |        | 17   | 17            | 100%  | 17     | 100%  |       |
| 合 計             |         |        | 103  | 82            | 79.6% | 82     | 79.6% |       |
| 社会情報学研究科        | 修士課程    | 1年     | 14   | 11            | 78.6% | 11     | 78.6% |       |
|                 |         | 2年     | 14   | 10            | 71.4% | 10     | 71.4% |       |
|                 | 合 計     |        | 28   | 21            | 75.0% | 21     | 75.0% |       |
| 医学研究科           | 医科学専攻   | 修士課程   | 1年   | 15            | 12    | 80.0%  | 12    | 80.0% |
|                 |         |        | 2年   | 12            | 8     | 66.7%  | 8     | 66.7% |
|                 |         | 博士課程   | 1年   | 61            | 20    | 32.8%  | 20    | 32.8% |
|                 |         |        | 2年   | 57            | 8     | 14.0%  | 8     | 14.0% |
|                 |         |        | 3年   | 39            | 6     | 15.4%  | 6     | 15.4% |
|                 |         |        | 4年   | 92            | 7     | 7.6%   | 6     | 6.5%  |
|                 |         | 合 計    |      | 276           | 61    | 22.1%  | 60    | 21.7% |
|                 | 保健学専攻   | 博士前期課程 | 1年   | 50            | 23    | 46.0%  | 23    | 46.0% |
|                 |         |        | 2年   | 61            | 20    | 32.8%  | 20    | 32.8% |
|                 |         | 博士後期課程 | 1年   | 12            | 1     | 8.3%   | 1     | 8.3%  |
|                 |         |        | 2年   | 13            | 1     | 7.7%   | 1     | 7.7%  |
|                 |         |        | 3年   | 31            | 3     | 9.7%   | 3     | 9.7%  |
|                 |         | 合 計    |      | 167           | 48    | 28.7%  | 48    | 28.7% |
| 合 計             |         | 443    | 109  | 24.6%         | 108   | 24.4%  |       |       |
| 大学院等の合計         |         |        | 574  | 212           | 36.9% | 211    | 36.8% |       |



## 平成 25 年度 学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区）

| 区 分         |                                                |        | 対象者数  | 内科診察・計測 |        | 胸部X線撮影・検尿 |        |
|-------------|------------------------------------------------|--------|-------|---------|--------|-----------|--------|
|             |                                                |        |       | 受検者数    | 受検率(%) | 受検者数      | 受検率(%) |
| 工<br>学<br>部 | 昼<br>間                                         | 2年     | 529   | 485     | 91.7   | 503       | 95.1   |
|             |                                                | 3年     | 611   | 514     | 84.1   | 527       | 86.3   |
|             |                                                | 4年     | 555   | 527     | 95.0   | 525       | 94.6   |
|             |                                                | 昼間計    | 1,695 | 1,526   | 90.0   | 1,555     | 91.7   |
|             | 夜<br>間<br>主                                    | 2年     | 33    | 26      | 78.8   | 26        | 78.8   |
|             |                                                | 3年     | 31    | 20      | 64.5   | 20        | 64.5   |
|             |                                                | 4年     | 40    | 24      | 60.0   | 23        | 57.5   |
|             |                                                | 夜間計    | 104   | 70      | 67.3   | 69        | 66.3   |
|             | 学部合計                                           |        | 1,799 | 1,596   | 88.7   | 1,624     | 90.3   |
|             | 理<br>工<br>学<br>府<br>・<br>工<br>学<br>研<br>究<br>科 | 修<br>士 | 1年    | 321     | 316    | 98.4      | 317    |
| 2年          |                                                |        | 344   | 313     | 91.0   | 317       | 92.2   |
| 修士計         |                                                |        | 665   | 629     | 94.6   | 634       | 95.3   |
| 博<br>士      |                                                | 1年     | 31    | 15      | 48.4   | 15        | 48.4   |
|             |                                                | 2年     | 31    | 17      | 54.8   | 19        | 61.3   |
|             |                                                | 3年     | 42    | 15      | 35.7   | 16        | 38.1   |
|             |                                                | 博士計    | 104   | 47      | 45.2   | 50        | 48.1   |
| 大学院合計       |                                                | 769    | 676   | 87.9    | 684    | 88.9      |        |
| 合 計         |                                                | 2,568  | 2,272 | 88.5    | 2,308  | 89.9      |        |

※対象者数は4月1日現在の学生数(休学者を除く)

受検率は小数点第二位を四捨五入

## 平成25年度 精神保健調査

## (1) 新入生の精神保健調査

|         | 対象学生数 | 要 面 接 |      | 面接を<br>うけた<br>学生数 | 結 果  |              |                |            |     |
|---------|-------|-------|------|-------------------|------|--------------|----------------|------------|-----|
|         |       | 人数    | %    |                   | 問題なし | 随時の相談<br>を推奨 | カウンセリング<br>継 続 | 医療機関<br>紹介 | 通院中 |
| 教 育 学 部 | 283   | 10    | 3.5% | 3                 | 1    | 1            | 0              | 1          | 0   |
| 社会情報学部  | 135   | 3     | 2.2% | 1                 | 0    | 1            | 0              | 0          | 0   |
| 医 学 部   | 283   | 6     | 2.1% | 3                 | 0    | 2            | 1              | 0          | 0   |
| 理工・工学部  | 563   | 19    | 3.4% | 11                | 6    | 4            | 0              | 0          | 1   |
| 合 計     | 1,264 | 38    | 3.0% | 18                | 7    | 8            | 1              | 1          | 1   |

※これまでに精神科, 心療内科, 神経科に通院歴あり:44名(3.5%)

## (2) 在校生の精神保健調査

|         | 対象学生数 | 要 面 接 |      | 面接を<br>うけた<br>学生数 | 結 果  |              |                |            |     |
|---------|-------|-------|------|-------------------|------|--------------|----------------|------------|-----|
|         |       | 人数    | %    |                   | 問題なし | 随時の相談<br>を推奨 | カウンセリング<br>継 続 | 医療機関<br>紹介 | 通院中 |
| 教 育 学 部 | 692   | 16(1) | 2.3% | 13                | 5    | 5            | 3              | 0          | 0   |
| 社会情報学部  | 329   | 13    | 4.0% | 13                | 7    | 3            | 3              | 0          | 0   |
| 医 学 部   | 1,056 | 12(1) | 1.1% | 6                 | 1    | 4            | 1              | 0          | 0   |
| 工 学 部   | 2,168 | 45(5) | 2.1% | 21                | 1    | 11           | 8              | 1          | 0   |
| 合 計     | 4,245 | 86(7) | 2.0% | 53                | 14   | 23           | 15             | 1          | 0   |

注：（ ）は、通院中またはカウンセリング中にて、面接除外を希望した学生数で内数

※過去1年間に精神科, 心療内科, 神経科に通院歴あり:73名(1.8%)

## 資料 4

## 平成25年度 外国人留学生健康診断結果

本学では、過去、感染性結核症の学生が3名発生し、すべて外国人留学生であった。  
そのため、第8回健康支援総合センター運営委員会（平成21年8月3日開催）において、外国人留学生に対し  
クオンティフェロンTB（結核感染診断マーカー検査）を特別健康診断項目として行うことが決定された。

## 1. 受検状況

|             | 対象者数 | 受検者 |       | 未受検者内訳   |
|-------------|------|-----|-------|----------|
|             |      | 人数  | %     |          |
| 教 育 学 部     | 14   | 14  | 100%  |          |
| 社 会 情 報 学 部 | 20   | 19  | 95.0% | ※採血できず1名 |
| 医 学 部       | 18   | 18  | 100%  |          |
| 理 工 学 部     | 51   | 51  | 100%  |          |
| 国際教育・研究センター | 0    | 0   |       |          |
| 合 計         | 103  | 102 | 99.0% |          |

対象者：学部および大学院1年生、学部3年次編入生

平成25年4月以後に入学した研究生・聴講生・特別研究学生・特別聴講学生

昨年度留学生健康診断未受検者（1名）

※交換留学生であり、1年間のみの滞在のため、翌年の健康診断を受診するよう指導した。

## 2. クオンティフェロンTBゴールド検査結果

|             | 受検者数 | 陰性（－） |        | 陽性（＋） |       | 疑陽性（±） |    |
|-------------|------|-------|--------|-------|-------|--------|----|
|             |      | 人数    | %      | 人数    | %     | 人数     | %  |
| 教 育 学 部     | 14   | 14    | 100.0% | 0     | 0.0%  | 0      | 0% |
| 社 会 情 報 学 部 | 19   | 16    | 84.2%  | 3     | 15.8% | 0      | 0% |
| 医 学 部       | 18   | 16    | 88.9%  | 2     | 11.1% | 0      | 0% |
| 理 工 学 部     | 51   | 44    | 86.3%  | 7     | 13.7% | 0      | 0% |
| 国際教育・研究センター | 0    |       |        |       |       | 0      |    |
| 合 計         | 102  | 90    | 88.2%  | 12    | 11.8% | 0      | 0% |

※今年度 医学部1年クオンティフェロンTBゴールド陽性率 0%

【参考資料：過去3年間の留学生健康診断結果】

|        | 受検者数 | 陰性（－） |       | 陽性（＋） |      | 疑陽性（±） |       | 医学部1年<br>クオンティフェロンTB<br>ゴールド検査 陽性率 |      |
|--------|------|-------|-------|-------|------|--------|-------|------------------------------------|------|
|        |      | 人数    | %     | 人数    | %    | 人数     | %     |                                    |      |
| 平成22年度 | 165  | 142   | 86.1% | 11    | 6.7% | 12     | 7.3%  | 平成<br>22年<br>度                     | 0.5% |
| 平成23年度 | 103  | 81    | 78.6% | 10    | 9.7% | 12     | 11.7% | 平成<br>23年<br>度                     | 1.6% |
| 平成24年度 | 94   | 81    | 86.2% | 9     | 9.6% | 4      | 4.3%  | 平成<br>24年<br>度                     | 0%   |

## 3. 医療機関受診結果

|             | 医療機関紹介者数 | 受診結果 |            |      |  |
|-------------|----------|------|------------|------|--|
|             |          | 正常   | 潜在性結核として治療 | 経過観察 |  |
| 教 育 学 部     | 0        | 0    | 0          | 0    |  |
| 社 会 情 報 学 部 | 3        | 2    | 1          | 0    |  |
| 医 学 部       | 2        | 1    | 1          | 0    |  |
| 理 工 学 部     | 7        | 2    | 1          | 4    |  |
| 国際教育・研究センター | 0        | 0    | 0          | 0    |  |
| 合 計         | 12       | 5    | 3          | 4    |  |

陽性者全員は、医療機関を紹介した。疑陽性者は、今年度の健康診断（胸部レントゲン検査）で異常がなければ毎年健康診断をうけるよう促し、健康診断未受検者については医療機関を紹介した。

## 4. メンタルヘルス質問票による精神保健調査

|             | 受検者数 | 問題なし |       | 要面接者数 |      |
|-------------|------|------|-------|-------|------|
|             |      | 人数   | %     | 人数    | %    |
| 教 育 学 部     | 14   | 14   | 100%  | 0     |      |
| 社 会 情 報 学 部 | 20   | 20   | 100%  | 0     |      |
| 医 学 部       | 18   | 18   | 100%  | 0     |      |
| 理 工 学 部     | 51   | 50   | 98.0% | 1     | 2.0% |
| 国際教育・研究センター | 0    | 0    |       | 0     |      |
| 合 計         | 103  | 102  | 99.0% | 1     |      |

要面接者1名は留学生担当教官が面接予定

### 平成25年度 医学部1年ウイルス性疾患(麻疹,風疹,水痘,流行性耳下腺炎)抗体価検査

| 検査項目      | 受検者数 | 陰性 |       | 陽性  |       |
|-----------|------|----|-------|-----|-------|
|           |      | 人数 | %     | 人数  | %     |
| 麻疹抗体      | 271  | 9  | 3.3%  | 262 | 96.7% |
| 風疹抗体      | 271  | 12 | 4.4%  | 259 | 95.6% |
| 水痘抗体      | 271  | 13 | 4.8%  | 258 | 95.2% |
| 流行性耳下腺炎抗体 | 271  | 55 | 20.3% | 216 | 79.7% |

～備考～

- ・1種のウイルスに対して抗体価陰性者は67名(24.7%)
- ・2種のウイルスに対して抗体価陰性者は8名(3.0%)
- ・3種のウイルスに対して抗体価陰性者は2名(0.7%)

\* 学科別内訳

| 学 科  | 検査項目      | 受検者数 | 陰性 |       | 陽性  |       |
|------|-----------|------|----|-------|-----|-------|
|      |           |      | 人数 | %     | 人数  | %     |
| 医学科  | 麻疹抗体      | 107  | 4  | 3.7%  | 103 | 96.3% |
|      | 風疹抗体      | 107  | 9  | 8.4%  | 98  | 91.6% |
|      | 水痘抗体      | 107  | 5  | 4.7%  | 102 | 95.3% |
|      | 流行性耳下腺炎抗体 | 107  | 15 | 14.0% | 92  | 86.0% |
| 保健学科 | 麻疹抗体      | 164  | 5  | 3.0%  | 159 | 97.0% |
|      | 風疹抗体      | 164  | 3  | 1.8%  | 161 | 98.2% |
|      | 水痘抗体      | 164  | 8  | 4.9%  | 156 | 95.1% |
|      | 流行性耳下腺炎抗体 | 164  | 40 | 24.4% | 124 | 75.6% |

### 平成25年度 医学部1年クオンティフェロンTBゴールド検査

| 受検者数 | 陰性  |       | 陽性 |      | 判定不能 |      |
|------|-----|-------|----|------|------|------|
|      | 人数  | %     | 人数 | %    | 人数   | %    |
| 271  | 270 | 99.6% | 0  | 0.0% | 1    | 0.4% |

### 平成25年度 医学部1年B型肝炎ワクチン接種状況

(1) B型肝炎抗体価検査結果(4月)

| 受検者数 | 結果  |       |    |      |
|------|-----|-------|----|------|
|      | 陰性  |       | 陽性 |      |
|      | 人数  | %     | 人数 | %    |
| 271  | 263 | 97.0% | 8  | 3.0% |

(2) B型肝炎ワクチン接種

| 接種対象者数 | 接種人数    |         |          | 副作用 |    |
|--------|---------|---------|----------|-----|----|
|        | 1回目(6月) | 2回目(7月) | 3回目(12月) | 人数  | 症状 |
| 258    | 258     | 258     | 257      | 0   |    |

## 平成25年度 利用人数

| 所属学部等      |             | 4月  | 5月  | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------------|-------------|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 荒牧キャンパス    | 教育学部        | 40  | 36  | 29 | 22 | 5  | 5  | 36  | 41  | 19  | 9  | 13 | 8  | 263 |
|            | 社会情報学部      | 23  | 22  | 18 | 11 | 8  | 11 | 18  | 11  | 13  | 8  | 3  | 3  | 149 |
|            | 医学部         | 9   | 31  | 20 | 16 | 2  | 1  | 10  | 8   | 6   | 2  | 4  | 6  | 115 |
|            | 理工学部        | 21  | 23  | 13 | 20 | 5  | 5  | 15  | 25  | 14  | 9  | 3  | 4  | 157 |
|            | 国際教育・研究センター | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 昭和キャンパス    | 医学部         | 22  | 11  | 12 | 8  | 3  | 3  | 8   | 9   | 10  | 8  | 3  | 3  | 100 |
| 桐生・太田キャンパス | 理工学部        | 1   | 1   | 0  | 3  | 2  | 2  | 0   | 1   | 0   | 2  | 0  | 1  | 13  |
| 合 計        |             | 116 | 124 | 92 | 80 | 25 | 27 | 87  | 95  | 62  | 38 | 26 | 25 | 797 |

## 資料7

**平成25年度 利用件数**

|             | 4月  | 5月  | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|-------------|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 健 康 相 談     | 81  | 85  | 46 | 50 | 9  | 9  | 36  | 47  | 34  | 21 | 9  | 6  | 433 |
| 精 神 保 健 相 談 | 29  | 38  | 41 | 29 | 12 | 17 | 26  | 25  | 24  | 16 | 14 | 15 | 286 |
| 健康診断書発行     | 6   | 1   | 5  | 1  | 4  | 1  | 25  | 23  | 4   | 1  | 3  | 4  | 78  |
| 合 計         | 116 | 124 | 92 | 80 | 25 | 27 | 87  | 95  | 62  | 38 | 26 | 25 | 797 |



# 平成25年度 疾病領域別利用者数

|         |         | 4月  | 5月  | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|---------|---------|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 内科      | 循環器系    | 10  | 2   | 0  | 2  | 0  | 1  | 1   | 1   | 0   | 1  | 0  | 0  | 18  |
|         | 呼吸器系    | 30  | 16  | 6  | 15 | 2  | 3  | 14  | 13  | 8   | 8  | 3  | 2  | 120 |
|         | 消化器系    | 2   | 5   | 4  | 3  | 1  | 0  | 4   | 1   | 2   | 4  | 1  | 0  | 27  |
|         | 腎臓系     | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 0  | 1   |
|         | 内分泌・代謝系 | 1   | 12  | 9  | 0  | 2  | 1  | 0   | 8   | 6   | 0  | 0  | 0  | 39  |
|         | その他     | 16  | 15  | 6  | 12 | 4  | 1  | 7   | 8   | 5   | 4  | 2  | 2  | 82  |
| 精神科     |         | 29  | 38  | 42 | 30 | 13 | 17 | 26  | 29  | 32  | 17 | 15 | 17 | 305 |
| 外科・整形外科 |         | 13  | 24  | 8  | 7  | 2  | 3  | 4   | 11  | 9   | 2  | 3  | 2  | 88  |
| 脳神経外科   |         | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 泌尿器科    |         | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 耳鼻咽喉科   |         | 1   | 1   | 1  | 3  | 0  | 0  | 1   | 3   | 0   | 0  | 0  | 0  | 10  |
| 眼科      |         | 1   | 2   | 6  | 0  | 0  | 0  | 1   | 2   | 0   | 0  | 1  | 0  | 13  |
| 皮膚科     |         | 7   | 4   | 7  | 8  | 0  | 2  | 4   | 0   | 3   | 2  | 0  | 0  | 37  |
| 歯科・口腔外科 |         | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 3   |
| 産婦人科    |         | 1   | 3   | 1  | 1  | 0  | 0  | 1   | 1   | 1   | 0  | 0  | 0  | 9   |
| 合 計     |         | 111 | 124 | 90 | 81 | 24 | 28 | 64  | 78  | 67  | 38 | 25 | 23 | 753 |

# 平成25年度 医療機関紹介の診療科分類

|         |         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|---------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 内科      | 循環器系    | 10 | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 12  |
|         | 呼吸器系    | 2  | 3  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 7   |
|         | 消化器系    | 1  | 2  | 2  | 1  | 1  | 0  | 1   | 1   | 0   | 1  | 1  | 0  | 11  |
|         | 腎臓系     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
|         | 内分泌・代謝系 | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
|         | その他     | 8  | 3  | 1  | 3  | 1  | 1  | 0   | 3   | 1   | 2  | 1  | 1  | 25  |
| 精神科     |         | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0  | 2   | 0   | 1   | 0  | 0  | 1  | 9   |
| 外科・整形外科 |         | 5  | 6  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1   | 5   | 4   | 0  | 1  | 1  | 25  |
| 脳神経外科   |         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 泌尿器科    |         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 耳鼻咽喉科   |         | 1  | 0  | 1  | 1  | 1  | 0  | 1   | 3   | 0   | 0  | 0  | 0  | 8   |
| 眼科      |         | 0  | 0  | 3  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 4   |
| 皮膚科     |         | 3  | 1  | 3  | 2  | 0  | 2  | 3   | 0   | 2   | 1  | 0  | 0  | 17  |
| 歯科・口腔外科 |         | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 産婦人科    |         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 合 計     |         | 32 | 18 | 11 | 9  | 5  | 4  | 11  | 12  | 8   | 4  | 3  | 3  | 120 |

# 平成25年度 薬剤別使用数（処方日数による）

|                   | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合 計 |
|-------------------|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 抗 生 剤             | 8   | 10 | 6  | 0  | 0  | 0  | 6   | 3   | 0   | 0  | 0  | 3  | 36  |
| 解 熱 ・ 消 炎 ・ 鎮 痛 剤 | 30  | 28 | 11 | 17 | 4  | 3  | 22  | 31  | 25  | 18 | 6  | 6  | 201 |
| 感 冒 剤             | 48  | 26 | 17 | 33 | 6  | 7  | 27  | 35  | 18  | 21 | 7  | 6  | 251 |
| 健 胃 剤 ・ 抗 潰 瘍 剤   | 7   | 4  | 3  | 0  | 1  | 0  | 2   | 0   | 3   | 3  | 0  | 0  | 23  |
| 整 腸 剤             | 1   | 0  | 3  | 9  | 0  | 1  | 5   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 19  |
| 止 瀉 剤             | 0   | 0  | 0  |    | 0  | 0  | 0   | 2   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2   |
| 鎮 吐 剤             | 0   | 6  | 3  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 3  | 0  | 0  | 12  |
| 抗 ヒ ス タ ミ ン 剤     | 0   | 0  | 0  | 3  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 3   |
| 精 神 安 定 剤         | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 口 腔 内 塗 布 剤       | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 外用副腎皮質ホルモン剤       | 1   | 0  | 3  | 3  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 7   |
| 外 用 抗 生 剤         | 1   | 1  | 1  | 1  | 0  | 1  | 1   | 2   | 2   | 0  | 0  | 0  | 10  |
| 外 用 抗 ウ イ ル ス 剤   | 1   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 外 用 抗 ヒ ス タ ミ ン 剤 | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 外 用 消 炎 剤         | 3   | 8  | 4  | 3  | 0  | 2  | 2   | 1   | 2   | 2  | 1  | 1  | 29  |
| 点 眼 薬             | 0   | 1  | 4  | 0  | 0  | 0  | 0   | 2   | 0   | 0  | 1  | 0  | 8   |
| 補 液               | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 合 計               | 100 | 84 | 55 | 69 | 11 | 14 | 65  | 76  | 51  | 47 | 15 | 16 | 603 |

## 平成25年度 常備薬使用数

|             |              | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 | 合計    |
|-------------|--------------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|
| 抗 生 剤       | ケ フ レ ッ ク ス  | 18  | 24  | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 42    |
|             | ク ラ ビ ッ ト    | 5   | 4   | 6   | 0   | 0  | 0  | 6   | 3   | 0   | 0   | 0  | 3  | 27    |
|             | ス パ ラ        | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0     |
| 解熱・消炎・鎮痛薬   | ボ ル タ レ ン    | 90  | 72  | 27  | 27  | 3  | 9  | 51  | 90  | 45  | 48  | 18 | 18 | 498   |
|             | カ ロ ナ ー ル    | 0   | 9   | 6   | 21  | 1  | 0  | 9   | 3   | 21  | 0   | 0  | 0  | 70    |
|             | イ ン テ バ ン sp | 0   | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 2   | 0   | 3   | 0   | 0  | 0  | 6     |
|             | S G 顆 粒      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0     |
|             | イ ブ 錠（市販）    | 0   | 0   | 0   | 2   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 2     |
| 感 冒 剤       | P L 顆 粒      | 124 | 78  | 51  | 99  | 18 | 21 | 81  | 99  | 54  | 63  | 21 | 18 | 727   |
| 整腸剤，抗胃炎剤    | セ ル ベ ッ ク ス  | 19  | 10  | 9   | 0   | 1  | 0  | 2   | 0   | 9   | 9   | 0  | 0  | 59    |
|             | ラックビー微粒N     | 3   | 0   | 9   | 27  | 0  | 3  | 15  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 57    |
|             | ロ ペ ミ ン      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 6   | 0   | 0   | 0  | 0  | 6     |
|             | ブ リ ン ペ ラ ン  | 0   | 27  | 9   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 9   | 0  | 0  | 45    |
|             | ジ ル テ ッ ク    | 0   | 0   | 0   | 3   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 3     |
| 精 神 安 定 剤   | セ ル シ ン      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0     |
| 口 腔 内 塗 布 剤 | デ ス パ        | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 1     |
| 外用副腎皮質ホルモン剤 | リンデロンVG      | 1   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 1     |
|             | デルモベートクリーム   | 0   | 0   | 3   | 3   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 6     |
| 外 用 抗 生 剤   | ゲンタシン軟膏      | 1   | 1   | 1   | 0   | 0  | 1  | /   | /   | /   | /   | /  | /  | 4     |
|             | アクチアム軟膏      | /   | /   | /   | /   | /  | 0  | 1   | 2   | 2   | 0   | 0  | 0  | 5     |
| 外用抗ウイルス剤    | アラセナーA軟膏     | 1   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 1     |
| 外用抗ヒスタミン剤   | レスタミン        | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 2   | 0  | 0  | 2     |
| 外 用 消 炎 剤   | ヤクバンテープ      | 3   | 8   | 4   | 3   | 0  | 6  | 2   | 1   | 2   | 0   | 1  | 1  | 31    |
| 点 眼 薬       | タリビット点眼薬     | 0   | 0   | 4   | 0   | 0  | 0  | 0   | 2   | 0   | 0   | 1  | 0  | 7     |
| 補 液         | 生 理 食 塩 水    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0     |
| 合 計         |              | 265 | 234 | 129 | 185 | 23 | 40 | 169 | 206 | 137 | 131 | 41 | 40 | 1,600 |

# 平成25年度 健康相談・精神保健相談の対応内容

|        |                 |       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|--------|-----------------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 健康相談   | 肥 満 指 導         |       | 0  | 12 | 5  | 0  | 0  | 0  | 0   | 7   | 6   | 0  | 0  | 0  | 30  |
|        | レディースクリニック      |       | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 3   |
|        | 外 傷 処 置         |       | 7  | 6  | 1  | 2  | 1  | 1  | 1   | 1   | 5   | 0  | 0  | 1  | 26  |
|        | 検 査             |       | 0  | 1  | 1  | 2  | 0  | 1  | 2   | 8   | 0   | 0  | 0  | 0  | 15  |
|        | 投 薬             |       | 33 | 28 | 23 | 29 | 2  | 4  | 21  | 20  | 13  | 10 | 4  | 3  | 190 |
|        | 休 養 ベ ッ ド 使 用   |       | 8  | 11 | 1  | 6  | 1  | 0  | 1   | 1   | 1   | 0  | 1  | 0  | 31  |
|        | 健康・保健用器具貸し出し    |       | 1  | 14 | 9  | 0  | 1  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 26  |
|        | 医 療 機 関 紹 介     |       | 31 | 17 | 9  | 8  | 2  | 3  | 9   | 11  | 7   | 4  | 3  | 2  | 106 |
|        | 救 急 転 送         |       | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 3   |
| 精神健康相談 | メンタルヘルス相談       | 精神科医師 | 3  | 6  | 2  | 4  | 0  | 2  | 1   | 4   | 1   | 1  | 0  | 2  | 26  |
|        | カウンセリング         | 臨床心理士 | 26 | 32 | 39 | 25 | 12 | 15 | 25  | 21  | 23  | 15 | 14 | 13 | 260 |
|        | カ ウ ン セ ラ ー 紹 介 |       | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 1  | 3   |
|        | 医 療 機 関 紹 介     |       | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0  | 2   | 0   | 1   | 0  | 0  | 1  | 9   |

### 平成25年度 精神保健相談者数

|         |             | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|---------|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 荒牧キャンパス | 教 育 学 部     | 5  | 14 | 12 | 9  | 4  | 3  | 8   | 3   | 5   | 2  | 4  | 1  | 70  |
|         | 社 会 情 報 学 部 | 11 | 8  | 10 | 4  | 2  | 6  | 7   | 5   | 4   | 2  | 2  | 2  | 63  |
|         | 医 学 部       | 3  | 5  | 10 | 3  | 2  | 0  | 0   | 3   | 0   | 0  | 1  | 4  | 31  |
|         | 理 工 学 部     | 0  | 3  | 1  | 5  | 1  | 4  | 4   | 6   | 5   | 3  | 2  | 3  | 37  |
|         | 国際教育・研究センター | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 昭和キャンパス | 医 学 部       | 10 | 7  | 8  | 5  | 1  | 2  | 7   | 8   | 10  | 7  | 5  | 4  | 74  |
| 桐生キャンパス | 理 工 学 部     | 0  | 1  | 0  | 3  | 2  | 2  | 0   | 0   | 0   | 2  | 0  | 1  | 11  |
| 合 計     |             | 29 | 38 | 41 | 29 | 12 | 17 | 26  | 25  | 24  | 16 | 14 | 15 | 286 |

ほかに教職員の総数19名に対して応急対応としての精神保健相談を行った。



平成25年度 学外臨床心理士による心理カウンセリング報告

～学生～

カウンセリング人数

|         | 4月 |                | 5月 |                | 6月 |                | 7月 |                | 8月 |                | 9月 |                | 10月 |                | 11月 |                | 12月 |                | 1月 |                | 2月 |                | 3月 |                | 合計  |                |
|---------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|-----|----------------|
|         | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 |
| 実施キャンパス |    |                |    |                |    |                |    |                |    |                |    |                |     |                |     |                |     |                |    |                |    |                |    |                |     |                |
| 荒 牧 地 区 | 12 | 2              | 14 | 3              | 19 | 4              | 15 | 2              | 10 | 1              | 8  | 1              | 10  | 2              | 10  | 1              | 9   | 0              | 7  | 0              | 5  | 1              | 6  | 0              | 125 | 17             |
| 昭 和 地 区 | 4  | 0              | 9  | 4              | 7  | 0              | 2  | 0              | 1  | 0              | 2  | 0              | 5   | 2              | 5   | 0              | 5   | 2              | 3  | 0              | 6  | 3              | 5  | 0              | 54  | 11             |
| 桐 生 地 区 | 5  | 3              | 10 | 4              | 13 | 7              | 13 | 6              | 4  | 1              | 7  | 2              | 6   | 2              | 5   | 1              | 5   | 0              | 9  | 5              | 8  | 4              | 10 | 0              | 95  | 35             |
| 太 田 地 区 | 0  | 0              | 0  | 0              | 1  | 1              | 2  | 0              | 1  | 0              | 1  | 0              | 2   | 0              | 1   | 0              | 0   | 0              | 0  | 0              | 0  | 0              | 0  | 0              | 8   | 1              |
| 合 計     | 21 | 5              | 33 | 11             | 40 | 12             | 32 | 8              | 16 | 2              | 18 | 3              | 23  | 6              | 21  | 2              | 19  | 2              | 19 | 5              | 19 | 8              | 21 | 0              | 282 | 64             |

新規受付者数は内数

カウンセリング回数

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
| 実施キャンパス |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
| 荒 牧 地 区 | 20 | 21 | 30 | 22 | 12 | 13 | 18  | 13  | 14  | 8  | 7  | 8  | 186 |
| 昭 和 地 区 | 6  | 11 | 9  | 3  | 1  | 2  | 7   | 8   | 9   | 7  | 7  | 5  | 75  |
| 桐 生 地 区 | 9  | 15 | 20 | 22 | 6  | 10 | 11  | 10  | 9   | 18 | 15 | 19 | 164 |
| 太 田 地 区 | 0  | 0  | 2  | 3  | 2  | 2  | 3   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 13  |
| 合 計     | 35 | 47 | 61 | 50 | 21 | 27 | 39  | 32  | 32  | 33 | 29 | 32 | 438 |

カウンセリング動機内訳

|           | 4月 |                | 5月 |                | 6月 |                | 7月 |                | 8月 |                | 9月 |                | 10月 |                | 11月 |                | 12月 |                | 1月 |                | 2月 |                | 3月 |                | 合計  |                |
|-----------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----------------|-----|----------------|
|           | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数 | 新規<br>受付者<br>数 | 人数  | 新規<br>受付者<br>数 |
| 心 理 性 格   | 0  | 0              | 5  | 2              | 5  | 2              | 7  | 1              | 7  | 2              | 7  | 0              | 10  | 0              | 4   | 0              | 6   | 0              | 5  | 0              | 7  | 1              | 3  | 0              | 66  | 8              |
| 対 人 関 係   | 7  | 2              | 10 | 4              | 12 | 4              | 11 | 2              | 5  | 0              | 7  | 2              | 5   | 3              | 12  | 1              | 7   | 1              | 9  | 2              | 10 | 2              | 9  | 0              | 104 | 23             |
| 心 体 の 不 調 | 17 | 2              | 21 | 3              | 26 | 2              | 21 | 4              | 5  | 0              | 7  | 1              | 15  | 2              | 11  | 1              | 13  | 1              | 14 | 3              | 7  | 2              | 15 | 0              | 172 | 21             |
| 修学影響心理等   | 11 | 1              | 9  | 2              | 17 | 3              | 12 | 0              | 3  | 0              | 5  | 0              | 8   | 0              | 6   | 0              | 5   | 0              | 6  | 0              | 4  | 2              | 2  | 0              | 88  | 8              |
| そ の 他     | 1  | 0              | 2  | 0              | 3  | 2              | 1  | 1              | 0  | 0              | 2  | 0              | 1   | 1              | 0   | 0              | 1   | 0              | 0  | 0              | 1  | 1              | 3  | 0              | 15  | 5              |
| 合 計       | 36 | 5              | 47 | 11             | 63 | 13             | 52 | 8              | 20 | 2              | 28 | 3              | 39  | 6              | 33  | 2              | 32  | 2              | 34 | 5              | 29 | 8              | 32 | 0              | 445 | 65             |

新規受付者数は内数

カウンセリング動機内訳は複数の場合あり

～職員～

カウンセリング人数

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |
| 実施キャンパス |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |
| 荒 牧 地 区 | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 4  |
| 昭 和 地 区 | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 桐 生 地 区 | 3  | 1  | 2  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 1   | 1  | 1  | 0  | 10 |
| 太 田 地 区 | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 合 計     | 4  | 2  | 3  | 1  | 1  | 0  | 1   | 1   | 3   | 1  | 1  | 0  | 18 |

カウンセリング回数

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |
| 実施キャンパス |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |    |
| 荒 牧 地 区 | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 4  |
| 昭 和 地 区 | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 桐 生 地 区 | 3  | 1  | 2  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 1   | 1  | 1  | 0  | 10 |
| 太 田 地 区 | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 合 計     | 4  | 2  | 3  | 1  | 1  | 0  | 1   | 1   | 3   | 1  | 1  | 0  | 18 |

カウンセリング動機内訳

|           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 心 理 性 格   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 対 人 関 係   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 心 体 の 不 調 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 修学影響心理等   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| そ の 他     | 4  | 2  | 3  | 1  | 1  | 0  | 1   | 1   | 3   | 1  | 1  | 0  | 18 |
| 合 計       | 4  | 2  | 3  | 1  | 1  | 0  | 1   | 1   | 3   | 1  | 1  | 0  | 18 |

カウンセリング動機内訳は複数の場合あり

第 18 回（平成 25 年度第 1 回）健康支援総合センター運営委員会次第

1 日 時 平成 25 年 7 月 8 日（月） 13 時 30 分 ～

2 場 所 学務部会議室（大学会館 1 階）

3 議 題

○ 協議事項

- （1）平成 26 年度学生定期健康診断日程（案）について 【資料 1】
- （2）各学部等提出の協議事項について
- （3）その他

○ 報告事項

- （1）健康支援総合センターの教授（精神保健管理担当）の就任について
- （2）平成 25 年度学生定期健康診断結果について 【資料 2】
- （3）学外カウンセラーの増員について 【資料 3】
- （4）食行動問題，摂食障害に関する相談会の実施について 【資料 4】
- （5）平成 25 年度学外カウンセラー及びキャンパスソーシャル・ケースワーカーの勤務時間について 【資料 5】
- （6）平成 24 年度工学部桐生地区キャンパスソーシャル・ケースワーカーの業務実施概要結果について 【資料 6】
- （7）平成 24 年度健康支援総合センター業務実施データについて 【資料 7】
- （8）大学教育・学生支援機構報告書における健康支援総合センターの業務報告について 【資料 8】
- （9）その他

第19回（平成25年度第2回）健康支援総合センター運営委員会次第

1 日 時 平成25年12月2日（月）14時30分～

2 場 所 大学会館1階会議室

3 議 題

○ 協議事項

- （1）平成26年度健康支援総合センター業務計画（案）について 【資料1】
- （2）平成26年度中期計画実施計画について 【資料2】
- （3）各学部等提出の協議事項について
- （4）その他

○ 報告事項

- （1）平成26年度学生定期健康診断担当附属病院医師の派遣依頼について 【資料3】
- （2）平成25年度中期計画実施報告について 【資料4】
- （3）平成25年度外国人留学生特別健康診断実施結果について 【資料5】
- （4）平成25年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会開催について 【資料6】
- （5）平成25年度国立大学法人保健管理施設協議会報告及び第51回全国大学保健管理研究集会について 【資料7】
- （6）第10回群馬県内大学等保健管理担当者会議及び全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会保健・看護分科会運営委員会報告について 【資料8】
- （7）平成25年度カウンセラー、キャンパスソーシャル・ケースワーカーと理工学部国際交流・学生支援委員会委員長等の懇談会について 【資料9】
- （8）その他

平成 26 年 2 月 5 日

各健康支援総合センター運営委員 殿

健康支援総合センター運営委員会  
委員長 石 川 治

第 20 回（平成 25 年度第 3 回）健康支援総合センター運営委員会  
（メール会議）の開催について（通知）

下記議題について、メールにより運営委員会を開催いたしますので、審議の上、承認の可否を別紙「第 20 回（平成 25 年度第 3 回）健康支援総合センター運営委員会（メール会議）審議結果書」により平成 26 年 2 月 17 日（月）までに学生支援課へ回答願います。

記

【協議事項】

○群馬大学大学教育・学生支援機構健康支援総合センター規程及び同健康支援総合センター運営委員会内規の一部改正(案)について  
《改正理由》

運営体制の見直しにより、教員の所属を学術研究員とし、各学部やセンターへは主担当を命じて派遣するもので、これに伴い諸規則を改正するものです。  
その他、字句の整理を行うものです。

【添付資料】

- |                                                        |     |
|--------------------------------------------------------|-----|
| 1. 群馬大学の運営体制の見直しにかかるポンチ絵、改正内容等                         | 1 部 |
| 2. 各規程等の新旧対照表(案)                                       | 1 部 |
| 3. 第 20 回（平成 25 年度第 3）回健康支援総合センター運営委員会<br>（メール会議）審議結果書 | 1 部 |

## 平成25年度 健康支援総合センター運営委員会委員名簿

平成25年4月1日現在

| 部 局 等       | 職 名                  | 氏 名     | 備 考                      | 規程第3条 |
|-------------|----------------------|---------|--------------------------|-------|
| センター長・委員長   | 理事<br>副学長(教育・国際交流担当) | 石 川 治   | 7112<br>osamuish@med.    | 1号委員  |
| 副 セ ン タ ー 長 | 健康支援総合センター専任教員       | 大 島 喜 八 | 7160<br>kihachi@aramaki. | 2号委員  |
| 健康支援総合センター  | 健康支援総合センター専任教員       | 竹 内 一 夫 | 7162<br>ktakeuchi@       | 3号委員  |
| 教 育 学 部     | 学生支援委員長              | 上 條 隆   | 7328<br>kamijo@edu.      | 4号委員  |
| 社 会 情 報 学 部 | 学生委員長                | 杉 山 学   | 7522<br>sugi@si.         | 4号委員  |
| 医 学 系 研 究 科 | 教務部会長                | 小 山 徹 也 | 7980<br>oyama@med.       | 4号委員  |
| 保 健 学 研 究 科 | 厚生補導専門委員長            | 山 崎 恒 夫 | 8975<br>tsuneoy@med.     | 4号委員  |
| 理 工 学 府     | 国際交流・学生支援委員会委員長      | 山 田 功   | 1563<br>yamada@.         | 4号委員  |
| 事 務 局       | 総務部長                 | 下 敷 領 強 | 7002<br>tssr@jimu.       | 5号委員  |
| 事 務 局       | 学務部長                 | 池 田 三喜男 | 7121<br>mikedata25@jimu. | 5号委員  |

## 関係職員

| 部 局 等         | 職 名       | 氏 名     | 備 考                 |
|---------------|-----------|---------|---------------------|
| 健康支援総合センター    | 看護師       | 八重樫 聡 子 | yaegashi@jimu. 7161 |
| 教 育 学 部       | 教務係長      | 石 森 正 二 | ishimori@jimu 7223  |
| 社 会 情 報 学 部   | 教務係長      | 鈴 木 透   | t-suzu48@jimu 7404  |
| 昭 和 地 区 事 務 部 | 学事・学生支援係長 | 楯 正 樹   | m-tate@jimu 7796    |
| 理 工 学 部       | 学生支援係長    | 船 田 博   | fun@jimu 1023       |
| 理 工 学 部       | 看護師       | 小野里 清 美 | konozato@jimu. 1044 |
| 総 務 部         | 人事労務課     | 平 井 大 介 | dhirai@jimu. 7023   |
| 学 務 部         | 学生支援課長    | 戸 澤 勲   | tozawa-i@jimu. 7135 |
| 学 務 部         | 学生支援副課長   | 後 藤 孝 一 | koichi-g@jimu 7136  |
| 学 務 部         | 学生支援係長    | 吉 田 潔   | k-yosida@jimu 7138  |